

平針住宅集会所建設工事

| 番号 | 図面名称 | 縮尺 | 番号 | 図面名称 | 縮尺 | 番号 | 図面名称 | 縮尺 | 番号 | 図面名称 | 縮尺 |
|-----|-------------|--------------------------|-----|-----------|---------------------------------|-----|--------------|---|-----|------------------|------------------------|
| A00 | 表紙、図面目録 | | S01 | 木工事標準仕様書1 | | G01 | 外構工事特記仕様書1 | | E01 | 電気設備工事特記仕様書1 | |
| A01 | 木造工事特記仕様書1 | | S02 | 木工事標準仕様書2 | | G02 | 外構工事特記仕様書2 | | E02 | 電気設備工事特記仕様書2 | |
| A02 | 木造工事特記仕様書2 | | S03 | 木工事標準仕様書3 | | G03 | 外構工事特記仕様書3 | | E03 | 電気設備工事特記仕様書3 | |
| A03 | 木造工事特記仕様書3 | | S04 | 基礎伏図 | A1: 1/20、1/50 A3: 1/40、1/100 | G04 | 外構工事特記仕様書4 | | E04 | 電気設備工事特記仕様書4 | |
| A04 | 木造工事特記仕様書4 | | S05 | 土台伏図 | A1: 1/50 A3: 1/100 | G05 | 外構工事特記仕様書5 | | E05 | 電気設備工事特記仕様書5 | |
| A05 | 木造工事特記仕様書5 | | S06 | 小屋伏図 | A1: 1/20、1/50 A3: 1/40、1/100 | G06 | 外構配置図(施設) | A1: 1/200 A3: 1/400 | E06 | 電気設備配置図 | A1: 1/200 A3: 1/400 |
| A06 | 木造工事特記仕様書6 | | S07 | 屋根伏図、小屋伏図 | A1: 1/50 A3: 1/100 | G07 | 外構配置図(舗装) | A1: 1/200 A3: 1/400 | E07 | 電気設備機器姿図、分電盤図 | |
| A07 | 木造工事特記仕様書7 | | S08 | 屋根伏図 | A1: 1/50 A3: 1/100 | G08 | 外構配置図(排水) | A1: 1/200 A3: 1/400 | E08 | 幹線・コンセント設備図 | A1: 1/100 A3: 1/200 |
| A08 | 木造工事特記仕様書8 | | S09 | 軸組図1 | A1: 1/50 A3: 1/100 | G09 | 外構詳細図1 | A1: 1/10、1/20 A3: 1/20、1/40 | E09 | 電灯設備図 | A1: 1/100 A3: 1/200 |
| A09 | 木造工事特記仕様書9 | | S10 | 軸組図2 | A1: 1/50 A3: 1/100 | G10 | 外構詳細図2 | A1: 1/30、1/50 A3: 1/60、1/100 | E10 | 弱電設備平面図 | A1: 1/100 A3: 1/200 |
| A10 | 木造工事特記仕様書10 | | S11 | 軸組図3 | A1: 1/50 A3: 1/100 | G11 | 外構詳細図3 | A1: 1/30、1/50、1/100 A3: 1/60、1/100、1/200 | E11 | 自動火災報知設備平面図 | A1: 1/100 A3: 1/200 |
| A11 | 木造工事特記仕様書11 | | S12 | 軸組図4 | A1: 1/50 A3: 1/100 | G12 | 側溝・樹詳細図、樹リスト | A1: 1/10、1/20 A3: 1/20、1/40 | | | |
| A12 | 全体配置図、附近見取図 | A1: 1/500 A3: 1/1,000 | S13 | 軸組図5 | A1: 1/50 A3: 1/100 | G13 | 現況配置図・仮設計画図 | A1: 1/200 A3: 1/400 | | | |
| A13 | 配置図、建物概要 | A1: 1/200 A3: 1/400 | | | | G14 | 承認工事 外構図 | A1: 1/200 A3: 1/400 | | | |
| A14 | 仕上表 | | | | | G15 | 承認工事 外構詳細図 | A1: 1/30、1/50 A3: 1/60、1/100 | | | |
| A15 | 平面図、屋根伏図 | A1: 1/100 A3: 1/200 | | | | G16 | 承認工事 標準図 | | M01 | 給排水・ガス設備工事特記仕様書1 | |
| A16 | 求精図 | A1: 1/50 A3: 1/100 | | | | | | | M02 | 給排水・ガス設備工事特記仕様書2 | |
| A17 | 立面図 | A1: 1/100 A3: 1/200 | | | | | | | M03 | 給排水・ガス設備工事特記仕様書3 | |
| A18 | 断面図 | A1: 1/100 A3: 1/200 | | | | | | | M04 | 給排水・ガス設備工事特記仕様書4 | |
| A19 | 矩計図 部分詳細図 | A1: 1/30 A3: 1/60 | | | | | | | M05 | 給排水・ガス設備工事特記仕様書5 | |
| A20 | 平面詳細図 | A1: 1/50 A3: 1/100 | | | | | | | M06 | 給排水・ガス設備工事特記仕様書6 | |
| A21 | 展開図1 | A1: 1/50 A3: 1/100 | | | | | | | M07 | 衛生設備配置図 | A1: 1/200 A3: 1/400 |
| A22 | 展開図2 | A1: 1/50 A3: 1/100 | | | | | | | M08 | 衛生設備平面図・衛生器具表 | A1: 1/50 A3: 1/100 |
| A23 | 展開図3 | A1: 1/50 A3: 1/100 | | | | | | | M09 | 換気設備平面図・換気機器表 | A1: 1/50 A3: 1/100 |
| A24 | 建具表 | A1: 1/50 A3: 1/100 | | | | | | | M10 | ガス設備平面図 | A1: 1/50 A3: 1/100 |
| A25 | 天井伏図、雑詳細図 | A1: 1/100 A3: 1/200 | | | | | | | M11 | 衛生設備 樹標準図 | A1: 1/20 A3: 1/40 |
| A26 | 雑詳細図(1) | A1: 1/30 A3: 1/60 | | | | | | | | | |
| A27 | 雑詳細図(2) | A1: 1/10 A3: 1/20 | | | | | | | | | |
| A28 | 雑詳細図(3) | A1: 1/20 A3: 1/40 | | | | | | | | | |

愛知県建設部建築局公営住宅課

工事(積算)番号H30Q12J00490

| 課長 | 主幹 | 課長補佐 | 主査 | 担当 |
|----|----|------|----|----|
| | | | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|-------------------------------|--|---|----|
| 1.5.5 | 施工の検査等 | * 見本施工 ・ 行う ※ 行わない | |
| | 1.5.9 化学物質の濃度測定 | * 下記の室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告すること。 * 測定する室/測定箇所 (集会室(1) / 集会室(2)) (業務所 / 湯沸室(1)) (ホール /) * 測定方法 ※ バッポン型採取法 ・ 文部科学省「学校環境衛生の基準」による ・ () * 対象物質 ※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ・ () | |
| 6節 | 工事検査及び技術検査 | | |
| 1.6.2 | 技術検査 | * 中間技術検査 ○ 行わない ・ 行う (実施回数: 、実施時期:) | |
| 7節 | 完成図等 | | |
| 1.7.1 | 完成時の提出図書 | * 工事完了前に次の図書を作成し監督職員に提出する。 1) 完成原図(施工図を除く) 1部 2) 完成図(施工図を除く)の2つ折り製本 1部 3) 完成図(施工図を除く)及び契約図のA3版2つ折り製本(合本作成) 2部 4) 契約図の2つ折り製本 1部 5) 保全に関する資料 1部 6) 施設台帳の作成又は整備(高等学校及び特別支援学校を除く) 7) その他必要書類 1部 8) 契約図・完成図(施工図を除く)のPDFファイル(公共建築課PDFファイル作成が「ドライン」による) CD-RまたはDVD-R 2部 | |
| 1.7.2 | 完成図 | * 完成図の種類は下記とする。 1. 配置図 2. 平面図・求積図 3. 仕上表 4. 施工図 5. その他監督職員の指示するもの * 原図作成方法 ※ CAD作成し紙出力 紙の種類 ※ PPC用ホリエステルサント和紙 同等品 ・ トレーシングペーパー・サイズ ※ 設計原図と同じ ・ () CADデータ ・ 提出しない ○ 提出する(・ 愛知県電子納品運用が「ドライン」に基づく ・ 監督職員との協議による) CAD図面の作成にあたっては国土交通省「建築CAD図面作成要領(案)」に基づいて作成する。 | |
| 1 | その他 | | |
| 章 | * 光熱水費 | * 建物引き渡しまでの電気、水道、ガス等の料金(基本料金、電気主任技術者委託料を含む)は、協議の上、各工事受注者が負担する。 | |
| | * 現場代理人 | * 現場代理人においては、受注者との直接的な雇用関係があること。 | |
| | * 火災保険等加入方法等 | * 建築工事又は建設工事の保険の種類は、建設工事保険とする。期間は、工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。(特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後14日間とする。) 保険金受取人(被保険者)は、受注者とする。 | |
| | * 事故報告 | * 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 | |
| | * 工事中の安全管理 | * 南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった旨の「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」が発表された場合、受注者は、継続的に地震関連情報の収集に努め、工事中の建築物等及び仮設物に対し、必要な安全対策措置が実施されているかの確認、及び作業員や必要に応じ第三者に対する安全の再確認を行うなど、有事に際しての備えを行うこと。 | |
| | * 工事の下請負 | * 受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 2) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 3) 下請負者は、建設業法に基づく営業停止の期間中でないこと。 4) 下請負者が愛知県の競争入札参加資格者である場合には、愛知県建設工事等指名停止取扱要領に基づく指名停止期間中でないこと。 5) 下請負者は、「愛知県が行う調達契約からの暴力団排除に関する事務取扱要領」に掲げる排除措置の措置要件に該当しない者であること。 | |
| | * 施工体制 | * 施工体制については「施工体制の適正化に向けての現場点検の手引き(案)」によること。 | |
| | * 施工体制台帳 | * 建設業法第24条の7第1項の規定により作成した施工体制台帳(同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。)の写しを監督職員に提出すること。 (公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条) | |
| | * 施工体系図 | * 下請契約を締結する場合においては、下請金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者及び公衆が見やすい場所(仮囲いなど)に掲示する。 | |
| | * 各種調査への協力 | * 本工事が、公共事業労務費調査、共通費実態調査等の対象工事になった場合は必要な協力をすること。 * 本工事における木材利用状況に関する調査に協力すること。 | |
| * 工事コスト調査の協力 | * 本工事が低入札価格調査制度の対象工事となった場合は、工事完了時等に愛知県が行う工事コスト調査に協力しなければならない。なお、コスト調査における作業内容等については別途、監督職員の指示によること。 また、本工事の一部を下請けする場合は、下請負者についても工事コスト調査等の協力を得ること。 | | |
| * 工事費内訳明細書等 | * 契約約款第3条第1項の規定による「工事費内訳明細書及び工程表」は、発注者から請求があった時に提出すること。 | | |
| * 騒音・振動対策 | * 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針(建設大臣官房技術審議官通達)」及び関連法規の規定を厳守し施工する。また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業(特定建設作業)及び下記に指定した建設機械については、「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程(建設大臣告示)」により指定された建設機械を使用する。 作業名: 建設機械名: 作業名: 建設機械名: | | |
| * 排出ガス対策型建設機械 | * 排出ガス対策型建設機械の適用 ※ 有り ・ なし (対象機種: バックホウ、車輪式トラクター・ショベル、ブルドーザー、発電発電機、空気圧縮機、油圧ユニット、ローラー類、ホイールクレーン(いずれもディーゼルエンジン出力7.5~260KW)) (対象規制値: 排出ガス対策型建設機械指定要領(国土交通省総合政策局)の別表1(1次基準値)) | | |
| * 貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱 | * 工場場所が「自動車NOx・PM法」の規制対象地域内においては、「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」(愛知県: http://www.pref.aichi.jp/kankyo/taiki-ka/car/yoko/)に基づき、対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めるものとする。 | | |
| * 特定特殊自動車の燃料 | * 受注者は、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたって、燃料を購入して使用するときは、当該特定特殊自動車の製作等に関する事業者または団体が推奨する軽油(ガソリンスタンド等で販売されている軽油をいう)を選択しなければならない。また、監督職員から特定特殊自動車に使用した燃料の購入伝票を求められた場合、提示しなければならない。なお、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたっては、下請負者等に関係法令等を遵守させるものとする。 | | |
| * 薬液注入工法 | * 薬液注入工法により地盤の改良を行う場合は、「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」(建設省事務次官通達)による。 | | |
| * 石綿含有仕上塗材の除去・補修、既存壁等への作業 | * 既存の壁等に対して作業(仕上塗材の除去・補修、コア抜きやアンカーボルト打設作業など仕上塗材の破断を伴う全ての作業)をする場合は、既存壁等の石綿含有仕上塗材使用の有無を確認し、石綿が含有されている場合は、除去工法、作業方法等について関係法令所管部局及び監督職員と協議の上、適切な石綿飛散防止措置を講じること。 | | |
| 2節 | 縄張り、遣方、足場その他 | | |
| 2.2.4 | 足場その他 | * 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(平成21年4月24日厚生労働省労働基準局長 基発第0424002号)に規定する「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は2の(3)手すり先行専用足場方式により行う。 * 屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971(屋根工事用足場及び施工方法)に基づき、建方作業台、渡り廊下、墜落防護さく等の足場及び装備機材を設置する。 | |
| 3節 | 仮設物 | | |
| 2.3.1 | 監督職員事務所、受注者事務所等 | * 監督職員事務所 ・ 設ける ()m程度 ※ 設けない * 標準仕上げ (床) 合板張り又はビニル床シート張り (内壁・天井) 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り(屋根) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り * 標準備品 机、いす、書棚、行事予定表、ゴム長靴、雨合羽、保護帽、懐中電灯、寒暖計、安全帯、衣類ロッカー、受注者加入の電話子機、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具 | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|-------|-----------------------------|--|---|
| 2 | * 受注者事務所、材料置場その他仮設物の設置場所 | * 選択備品 ・ パソコン ・ プリンター ・ FAX ・ 複写機 * 受注者事務所(設ける場合) ※ 構内(従業員宿舍除く) ・ 構外 材料置場 ※ 構内 ・ 構外 その他仮設物 ※ 構内(従業員宿舍除く) ・ 構外 * 建設工事名称板及び建設現場標識の設置 * 建設現場標識 ※ 設ける ・ 設けない ・ 他工事と共同設置 | |
| | | 900以上 1,200以上 | |
| 仮設工事 | [〇 〇 〇 セ ン 夕 一 建 設 工 事] " | [〇 〇 〇 セ ン タ ー 建 設 工 事] 工 期 平 成 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日 発 注 者 愛 知 県 建 設 部 建 築 局 公 共 建 築 課 工 事 監 理 者 〇 〇 建 設 設 計 事 務 所 工 事 施 工 者 〇 〇 建 設 株 式 有 限 公 司 〇 〇 電 気 設 備 株 式 有 限 公 司 | T100011 建設現場標識(例) 工事名 ○〇センター建設工事 工 期 平成〇〇年〇〇月〇〇日まで 発 注 者 愛知県建設部建築局公共建築課 工 事 監 理 者 ○〇建設設計事務所 工 事 施 工 者 ○〇建設株式会社 〇〇電気設備(株) |
| | | | |
| 2節 | 土工事 | | |
| 2節 | 【建築工事標準仕様書 3章による】 | | |
| 3.2.3 | 根切り及び埋戻し | | |
| 3.2.3 | 埋戻し及び盛土 | * 埋戻し及び盛土 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 [表3.2.1] * 建設発生土の利用指定 ○ 無 ・ 有 ()からの建設発生土を利用するものとする。 * 処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。 | |
| 3.2.5 | 建設発生土の処理 | * 処分地の指定 ※ 無(自由処分) ・ 有 ()に搬出し、利用するものとする。 * 山留めの存置 ※ 無 ・ 有 | |
| 3節 | 山留め | | |
| 3節 | 地業工事 | | |
| 2節 | 【建築工事標準仕様書 4章による】 | | |
| 2節 | 試験及び報告書 | | |
| 4.2.1 | 一般事項 | * この節に示す試験によらない試験 ※ 行わない ・ 行う() | |
| 4.2.2 | 試験杭 | * 位置 ※ 図示による 本数 ※ 図示による ・ ()本 寸法 ()m | |
| 4.2.3 | 杭の載荷試験 | * 杭の載荷試験 ・ 水平載荷試験 ・ 鉛直載荷試験 ・ しない 試験位置 ※ 図示による 本数 ※ 図示による ・ ()本 載荷荷重 ()kN 試験の方法() 報告書の記載事項 ※ 4.2.5(a)(b)による ・ () | |
| 4.2.4 | 地盤の載荷試験 | * 平板載荷試験 ○ 行う ・ 行わない 載荷荷重()kN 試験位置 ※ 図示による ・ () 試験の方法() 報告書の記載事項 ※ 4.2.5(a)による ・ () | |
| 3節 | 既製コンクリート杭地業 | | |
| 4.3.1 | 適用範囲 | * 工法 ・ 打込み工法 ・ セメントミルク工法 ・ 特定埋込杭工法 | |
| 4.3.2 | 材 料 | * 杭の種類 ・ PHC杭 ・ SC杭 ・ PRC杭 ・ () * 杭の寸法、継ぎ手の箇所数、杭先端部の形状 ※ 図示による ・ () * 設計支持力()kN/本 | |
| 4.3.3 | 打込み工法 | * 施工法の種類 ・ 打撃工法 ・ プレポーリング併用打撃工法 プレポーリングの掘削深さ() プレポーリングの掘削径() * 推定支持力の算定方法 ※ 図示による ・ () * 水平方向の位置ずれの精度 X方向()mm Y方向()mm * 支持地盤 位置() 種類() * アースオーガーの支持地盤への掘削深さ()m * 杭の支持地盤への根入れ深さ()m * 水平方向の位置ずれの精度 X方向()mm Y方向()mm | |
| 4.3.5 | 特定埋込杭工法 | * 工法 () * 水平方向の位置ずれの精度 X方向()mm Y方向()mm * 支持地盤 位置() 種類() * 杭の継手の工法 ・ アーク溶接 ※ 無溶接継手(工法) * 杭頭処理の方法(切断する場合) ・ 外圧方式 ・ ダイヤモンドカッター方式 ・ () | |
| 4.3.6 | 杭の継手の工法 | | |
| 4.3.7 | 杭頭の処理 | | |
| 6節 | 砂利、砂及び捨コンクリート地業等 | | |
| 4.6.3 | 砂利及び砂地業 | * 厚さ ○ 60mm ・ ()mm | |
| 4.6.4 | 捨てコンクリート地業 | * 捨コンクリート厚さ ○ 50mm ・ ()mm * 強度 ○ 18N/mm ² ・ ()N/mm ² スランプ ・ 15 ・ 18 * 床下防湿層 ○ 適用しない ・ 適用する 範囲() | |
| 4.6.5 | 床下防湿層 | | |
| 4節 | 基礎工事 | | |
| 2節 | 材 料 | | |
| 5.2.1 | 鉄 筋 | * 鉄筋 ※ JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼) ・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたせん断補強筋 * 種類の記号 ・ SR235 ・ SR295 ○ SD295A ・ SD295B ・ SD345 ・ SD390 [表5.2.1] * JIS G 3551(溶接金網)の規格品 網目の形状() 寸法() 鉄線の径() | |
| 5.2.2 | 溶接金網 | | |
| 3節 | 加工及び組立 | | |
| 5.3.2 | 加工 | * 90° 未満の折曲げの内法直径 () | |
| 5.3.4 | 継手及び定着 | * 種類 ○ 重ね継手 ・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 * 継手位置 ※ 図示による ・ () * 鉄筋の重ね継手長さ ※ 表5.3.2による ※ 図示による ・ () * 鉄筋の定着工法及び長さ ※ 表5.3.4による ※ 図示による ・ () * 土に接する部分の軽量コンクリートのかぶり厚さ () * 耐久性上不利な箇所(塩害を受けるおそれのある部分等)のかぶり厚さ () * 機械式継手及び溶接継手の場合のあき () * 基礎及び基礎梁の配筋(直接基礎、基礎接合部の補強、基礎梁主筋の継手、定着及び余長、基礎梁のあばら筋等) ・ 各部配筋参考図による ・ 図示による | |
| 5.3.5 | 鉄筋のかぶり厚さ・間隔 | | |
| 5.3.7 | 各部配筋 | | |
| | | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 |
| | | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 縮尺 No.A02 |
| 検 図 | 製 図 | 設 計 H29年3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 | |
|--|---|--|--|--|
| 3章 | 4節 ガス圧接 5.4.9 圧接完了後抜取試験 5.5.2 機械式継手 5.5.3 溶接継手 | * ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 * 種類 () 工法 () * 機械式継手の工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等 ※ 1.2.2[施工計画書]による品質管理で定める () * 溶接継手の工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等 ※ 1.2.2[施工計画書]による品質管理で定める () | | |
| | 【6章 コンクリート工事】 1節 一般事項 6.1.2 基本要品 | 受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 (1) JISマーク表示認証製品を製造している工場(工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場)で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる。全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場(以下「 ◎ マークを取得した工場」という。)から選定し、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)に適合するものを用いなければならない。 (2) JISマーク表示認証製品を製造し、 ◎ マークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえで、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。 | | |
| | 2節 コンクリートの種類及び品質 6.2.1 コンクリートの種類 | * 気乾単位容積質量による種類 ◎ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート * 適用箇所及び施工時期 寒中コンクリート 適用箇所 ※ 図示による () 施工時期 ※ 監督職員と協議 () 暑中コンクリート 適用箇所 ※ 図示による () 施工時期 ※ 監督職員と協議 () 無筋コンクリート 適用箇所 ※ 図示による () 施工時期 ※ 監督職員と協議 () | | |
| | 6.2.2 コンクリートの強度 6.2.4 ワークリティー及びスランプ 6.2.5 構造体コンクリートの仕上り | * コンクリートの種別 ※ I類 ・ II類 [表6.2.1] * 大臣認定コンクリート(建築基準法第37条第2号) () * 設計基準強度(Fc) ◎ 普通コンクリート(24)N/mm ² ・ 軽量コンクリート()N/mm ² ・ 図示による * コンクリートの荷卸し地点におけるスランプ ※ 表6.2.1による () * 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ・ A種 ◎ B種 ・ C種 [表6.2.4] | | |
| | 3節 コンクリートの材料及び割合 6.3.1 コンクリートの材料 | * セメント ※普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント(A種) ・ シリカセメント(A種) ・ フライアッシュセメント(A種) * 適用箇所 高炉セメントB種 () フライアッシュセメントB種 () * 骨材 フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 使用する ※ 使用しない 銅スラグ細骨材 ・ 使用する ※ 使用しない 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 使用する ※ 使用しない 再生骨材H ・ 使用する ※ 使用しない | | |
| | 6.3.2 コンクリートの割合 | * 砕石、砕砂、細骨材、骨材のアルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B * 混和剤 種類 ◎ AE剤 ・ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤 ・ 使用しない () 混和剤 種類 ・ フライッシュ(I種) ・ フライッシュ(II種) ・ フライッシュ(IV種) ・ 高炉スラグ微粉末 ・ シリカフェム ・ 膨張剤 * 6.3.2(2)(vi)①～③以外の混和剤 種類 () 使用方法 () 使用量 () | | |
| | 5節 普通コンクリートの品質管理 6.6.3 打継ぎ 6.6.4 打込み | * アルカリ総量 3.0kg/m ³ 以下とする。 * 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上(9.7.3による) () * 上記以外の箇所の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上(9.7.3による) () * コンクリートの打込みは、監督職員の立会いを受ける。ただし、監督職員の指示により報告にかえることができる。 | | |
| | 8節 型枠 6.8.3 材料 | * せき板の種別 材料 ※ 合板 () 塗装 ◎ 有 ・ 無 合板を用いる場合 厚さ ※ 12mm ()mm * 断熱材を兼用した型枠材 ・ 使用する(使用箇所:()) ◎ 使用しない * 配管等スリーブの材種及び規格等 ※ 6.8.3(i)(2)(i)～(iv)による () * 適用期間 ※ JASS5による「打込み日を含む旬の平均気温が4℃以下の期間」 () * 積算温度を元に定める場合 () * 構造体強度補正值(S) ※ 6N/mm ² () * 設計基準強度 ※ 18N/mm ² () * スランプ ※ 15cm ※ 18cm () * 適用箇所 ※ 6.14.1(e)(1)～(5) ※ 捨コンクリート () | | |
| | 11節 寒中コンクリート 6.11.2 材料及び割合 12節 暑中コンクリート 14節 無筋コンクリート | | | |
| | 4章 | 1節 一般事項 4.1.1 総則 2節 防汚・防蟻処理 4.2.1 防汚・防蟻処理 | * 複数の構工法を適用する場合の部位ごとの構・工法 ※ 図示による () * 適用部位及び処理の種類 ◎ 図示による 適用部位 処理の種類 | |
| | | 4.2.2 地盤に接するRCによる床下の防蟻処理 | 処理の種類 (1) 防汚・防蟻処理が不要な樹種による製材 (2) 薬剤の加圧注入による防汚・防蟻処理 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 インサイジング ・ する ・ しない (3) 薬剤の塗布等による防汚・防蟻処理 処理の方法 ※ 4.2.1(3)(ii)による () (4) ボード原料接着剤への薬剤混入による防汚・防蟻処理 * 最下階の床下に床組を行う場合の地盤に接する床下 ◎ RC造のべた基礎 ・ 基礎梁と配筋により一体とした厚さ100mm以上の土間コンクリート | |
| 4.2.3 地盤土壌の防蟻処理 4.2.4 防汚措置 | | 配筋 ※ 図示による () * 地盤の土壌への薬剤による防蟻処理 ◎ 行わない ・ 行う(薬剤: 、使用量:) * 床下換気方法 ◎ ねこ土台 ・ 換気孔 * 小屋裏換気方法(4.2.4(c)) ・ (i) ・ (ii) ・ (iii) ・ (iv) ・ (v) 換気口の大きさ ※ 図示による () | | |
| 3節 防火被覆処理 4.3.1 適用範囲 4.3.2 防火被覆材 4.3.3 接合部等 | | * 耐火被覆処理 ・ 行う ・ 行わない ◎ 図示による * 耐火被覆材料 (石こうボード) 耐火被覆材厚さ (21+21) * 柱若しくは梁を接合する継手又は仕口の接合金物の被覆処理 (行う) ボルト、ドリフトピン等の接合具の防火被覆処理 ◎ 行う () ・ 行わない | | |
| 5～8章 | | 9枚目以降 適用する工法による | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 | | |
|----|---------------------------------|--|--|--------------|-------------|
| 5章 | 1節 一般事項 9.1.3 表面仕上げ | * 機械加工の適用箇所及び種別 ◎ 図示による 施工箇所 種別 ※ B種 [表9.1.1] | | | |
| | 2節 材料 9.2.1 一般事項 9.2.2 木材 | * 含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 * 製材「製材のJAS」による製材 ◎ 図示による 造作材 ※ A種 ・ B種 「製材のJAS」以外の製材 ◎ 図示による | | | |
| | 9章 | * 造作用集成材「集成材のJAS」による造作用集成材 ◎ 図示による | 箇所 樹種 寸法 見付材面の等級 化粧薄板の厚さ | | |
| | | * 集成材のJAS以外の造作用集成材 ◎ 図示による | 箇所 樹種 寸法 材面の品質 乾燥処理 防虫処理 難燃処理 含水率 ※15%以下 | | |
| | 木 | * 造作用単板積層材「単板積層材のJAS」による造作用単板積層材 ・ 図示による | 箇所 厚さ 表面の品質 防虫処理 | | |
| | | * 単板積層材のJAS以外の造作用単板積層材 ・ 図示による | 箇所 厚さ 表面の品質 含水率 防虫処理 ※14%以下 | | |
| | 工 | 9.2.3 合板等 | * 下地用合板 普通合板 厚さ ※ 5.5mm ()mm 接着の程度 ※ 1類 () ◎ 図示による 板面の品質 ※ 2等以上(広葉樹) ※ C-D以上(針葉樹) () 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない 構造用合板 厚さ ※ 12mm ()mm 接着の程度 ※ 1類(湿潤箇所を除く) () ◎ 図示による 表板の樹種 () 等級 ※ 2級以上 () 強度等級 () 板面の品質 ※ C-D以上 () 防虫処理 ・ 行う () ・ 行わない * 化粧張り構造用合板 厚さ ()mm 接着の程度(湿潤箇所を除く) () ・ 図示による 化粧単板の樹種名 () 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない * 天然木化粧合板 厚さ ()mm 接着の程度 () ・ 図示による 化粧単板の樹種名 () 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない * 特殊加工化粧合板 厚さ ()mm 接着の程度 () 表面性能及び化粧加工方法 () ・ 図示による 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない * パーティクルボード 厚さ ※ 15mm ()mm 表裏面の状態による区分 () ・ 図示による 曲げ強さによる区分、接着剤による区分 ※ 13Pタイプ ※ 13Mタイプ () 難燃性による区分 () * 構造用パネル 等級 () 厚さ ()mm | | |
| | | 9.2.4 接合具等 | * 釘 ※ JIS A5508による表面処理された鉄又はステンレス鋼の釘 ・ 左記以外の釘 () 釘打ち工法 下張材に対する釘の打込み本数 () 斜めに釘を打ち込む場所 () 造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し * 木ねじ ※ JIS B 1112又はJIS B 1135によるステンレス製の木ねじ ・ 左記以外の木ねじ () | | |
| | | 3節 耐候性・防汚・防蟻・防虫処理 9.3.1 耐候性処理 9.3.2 防虫処理 | * 屋外に使用する仕上げ木材への木材保護塗料塗り 種別 ・ A種 ※ B種 【建築工事標準仕様書 表18.14.1】 * 防虫処理 ◎ 行う ・ 行わない | | |
| | | 4節 屋根回り 9.4.1 軒先・けらば回り | * 部材名 鼻隠し 破風板 広小舞・登りよど 面戸板 樹種 寸法 | | |
| | | | | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 |
| | | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 木造工事特記仕様書 3 | 縮尺 No.A03 | |
| | | 検 製 設 図 図 計 H29年3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|--------------------------|--|---|----|
| 9 | 9.4.2 屋根下地 | * 部材名 瓦棒葺屋根用心木 屋根通気垂木 *屋根の構造用面材の上部に通気層を設ける場合 樹種 部材名 断熱材 下地用合板 寸法 厚さ 種類 | |
| | 9.4.3 軒天井下地 | * 部材名 野縁 野縁受け 下地板 樹種 寸法 | |
| | 5節 外部開口部回り | * 部材名 窓取付け下地材 窓取付け受材 出入口取付け下地材 出入口取付け受材 樹種 寸法 | |
| | 9.5.1 建具回り | | |
| | 9.5.2 建具回り木製枠 | * 部材名 枠材 額縁材 樹種 寸法 下枠の材料 種類 ・ ステンレス ・ 花こう岩による石材() 寸法 形状 | |
| | 9.5.3 外部額縁 | | |
| | 6節 内部開口部回り | * 部材名 出入口枠材 窓枠材 樹種 寸法 箇所 | |
| | 9.6.1 建具回り木製枠 | | |
| | 9.6.2 内部窓回り | | |
| | 7節 内部床回り | | |
| 9.7.1 内部床下地 | * 下地用床材 [・ 下地用合板 (厚さ ※ 12mm ※ 図面による ・ ()) ・ パーティクルボード (強度及び接着剤による区分 ・ 13Pタイプ ・ 13Mタイプ ・ ()) (厚さ ※ 15mm ※ 図示による ・ ())] * 仕上げ用下地用床材(下地用合板) 厚さ ※ 図示による ・ () | | |
| 9.7.2 内部床板張り | * 部材名 床板用製材 上がりがまち材 樹種 寸法 厚さ 箇所 | | |
| 9.7.3 上がりがまち | | | |
| ※ フローリングは本工事特記仕様書18章による。 | | | |
| 8節 外壁回り | * 部材名 胴縁 ラス下地板 通気胴縁 通気胴縁(仕上材継目、出入口) | | |
| 9.8.1 外壁下地材料 | 樹種 杉 ※杉 寸法 21×42 ※厚さ12mm、幅75mm 間隔 455 防腐、防蟻処理の適用 | | |
| 9.8.2 外壁通気工下地 | * ラス下地板 釘の種類及び寸法 ※ 9.8.1(b)(1)③による ・ 図示による ・ () * 下地用合板 釘の種類、寸法及び留付け間隔 ※ 図示による ・ () * 通気金物 材質、形状及び寸法 ※ 図示による ・ () * 通気胴縁工法 特殊な場合の接合部と留め付け間隔 ※ 図示による ・ () 補強胴縁の方法及び高さ(積雪地域) ※ 9.8.2(3)(viii)③による ・ () 横通気胴縁 胴縁の間隔 ※ 図示による ・ () | | |
| 9.8.3 外壁板張り | * 工法 押縁下見板張り 南京下見板張り 横羽目板張り・縦羽目板張り 目板付縦羽目板張り 敷目板張り 部材名 押縁、下見板 下見板 羽目板 目板、羽目板 敷目板 樹種 寸法 | | |
| 9.8.4 外壁造作 | * 部材名 付け土台 雨押え 見切り縁 笠木 外部回り縁 樹種 寸法 | | |
| 9.8.5 ひさし | * 部材名 陸ひさし 霧除けひさし 腕木ひさし(しころひさし) 樹種 寸法 *霧除けひさし 持ち送り板の形 ※ 図示による ・ () *腕木ひさし(しころひさし) えぶり板の線形 ※ 図示による ・ () | | |
| 9節 内部壁 | * 内壁に木下地を設ける場合 樹種 寸法 間隔 胴縁 杉 21×42 | | |
| 9.9.1 内壁下地 | | | |
| 9.9.2 内壁板張り | * 工法 横羽目板張り・縦羽目板張り 目板付縦羽目板張り 敷目板張り 部材名 羽目板 目板、羽目板 敷目板 樹種 寸法 | | |
| 9.9.3 内部造作 | * 部材名 幅木 回り縁 樹種 タモ集成材 杉 寸法 12×100 箇所 図示 | | |
| 9.9.4 天井下地 | * 部材名 吊木受け 吊木 野縁 野縁受け 板野縁 樹種 杉 杉 杉 杉 杉 寸法 45×45 30×36 45×45 45×45 | | |
| 9.9.5 天井板張り | * 工法 敷目天井板張り 打ち上げ天井板張り 部材名 敷目板 天井板 樹種 寸法 | | |
| 10節 和室の造作 | * 部材名 柱 敷居 かもい 塗込め貫 樹種 寸法 | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|--------------------|---|--|----------------|
| 9 | 9.10.1 柱 | * 背割不要の処理を行った製材 ※ 使用しない ・ 図示による ・ () | |
| | 9.10.5 天井回り | * 格縁天井板張り 格縁の面 ※ 大面取り ※ 図示による ・ () 特殊吊金具 ・ 使用しない ・ 使用する () ※ 図示による | |
| | 9.10.7 床の間回り | * 床の間 製材等 樹種及び寸法 ※ 図示による ・ () 掛軸用金物 ※ 図示による ・ () * 床脇棚 製材等 樹種及び寸法 ※ 図示による ・ () | |
| | 2節 FRP系塗膜防水 | | |
| | 10.2.2 材料 | * ルーフドレン ・ FRP系塗膜防水用ルーフドレン ・ 鋳鉄製 | |
| | 10.2.4 施工 | * 下地の構造 根太掛 樹種、寸法及び防腐・防蟻処理 ※ 図示による ・ () 根太 樹種、寸法及び防腐・防蟻処理 ※ 杉45×55@300、K2 ・ 図示による ・ () 構造用合板 厚さ、防虫処理、表板の樹種等 ・ 図示による ・ () 下地用合板 厚さ、防虫処理、表板の樹種等 ・ 図示による ・ () 釘の留付け間隔 ※ 150mm間隔 ・ 図示による ・ () 木ねじの留付け間隔 ※ 150mm間隔 ・ 図示による ・ () 防火板の設置 ・ 設置しない ・ 設置する (※ ケイ酸カルシウム板 10mm ※ 図示による ・ ()) | |
| | * 防水層の下地 | 平場の勾配 ※ 1/100以上 ・ 図示による ・ () | |
| | * 水張り試験 | ・ 行う ・ 行わない | |
| | 3節 シーリング | * 種類 ※ 被着体に応じたもの(表10.3.1) ・ () 施工箇所 ※ 図示による ・ () | |
| | 10.3.2 材料 | | |
| 10.3.3 目地寸法 | * 目地寸法 ※ 10.3.3(a)(1)~(3)による ・ () | | |
| 10.3.5 シーリング材の試験 | * 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 | | |
| 4節 透湿防水シート等工事 | | | |
| 10.4.2 防水テープ | * 防水テープ 両面粘着防水テープ 幅 ※ 50mm幅以上のもの ・ 図示による ・ () | | |
| 10.4.3 施工 | * バルコニー手すりの工法 ※ 10.4.3(b)(9)①~⑤による ・ 図示による ・ () 笠木の固定方法、材料及び仕上げ ※ 図示による ・ () | | |
| 5節 ケイ酸質系塗布防水 | | | |
| 10.5.1 適用範囲 | * 【建築工事標準仕様書 9章6節による】 表9.6.1以外の適用部位 () 防水層の種類及び工程 ※ C-UI ・ C-UP [表9.6.2] 9.6.4(1)~(3)以外の下地処理 () | | |
| 11章 石工事 | | | |
| 【建築工事標準仕様書 10章による】 | | | |
| 1節 一般事項 | | | |
| 10.1.3 施工一般 | * 石材の割付 ※ 10.1.3(a)(1)、(2) ・ () * 粗面仕上げの場合の合端の見え隠れ部分の仕上げ () * 粗面仕上げの場合の地中その他の材料等のみ込みとなる部分の仕上げ () * ワックス(床用) ・ 使用する ・ 使用しない ・ () | | |
| 10.1.5 清掃 | | | |
| 2節 材料 | | | |
| 10.2.1 石材 *天然石 | * 品質 床用 ・ 1等品 ※ 2等品 ・ 3等品 その他 ※ 1等品 ・ 2等品 ・ 3等品 * 種類 () * 形状、寸法 ・ () ※ 正方形に近い矩形(0.8㎡/枚以下) * 表面仕上げ (表10.2.1及び表10.2.2) 適用箇所 仕上げの種類 ジェットバーナーの場合のパフ仕上げ ・ 有 ・ 無 | | |
| * テラゾ | * 種石の種類 ※ 大理石 ・ () 種石の大きさ ※ 1.5~12mm ・ () * テラゾブロック 形状区分 ※ 図示による 仕上げ面区分及び寸法 ※ 図示による * テラゾタイル 寸法区分 ※ 図示による * 表面仕上げ ・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き | | |
| 10.2.2 取付け金物 | * 外壁湿式工法及び内壁空積工法用受金物 材質 ※ SS400 ・ () 形状、寸法 ※ L=75×75×6、L=100又は150 ・ () * 乾式工法用金物 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 * 特殊部位用金物 引金物、だぼ、かすがい、受金物 ※ 10.2.2(a) ・ () ファスナー ※ 10.2.2(b)に準ずるスライド式(通しだぼ) ・ () 吊金物 ※ SUS304 径6mm L=80mmの加工物 ・ () 化粧吊ボルト ※ SUS304 M10 化粧ナット付 ・ () アンカー ※ 10.2.2(d)(1)、(2) ・ () | | |
| 10.2.3 その他の材料 | * あと施工アンカー 材質 () 寸法 () その他 () * 10.2.2(a)~(e)以外の金物 ※ 監督職員と協議(見本又は証明となる資料等を提出) ・ () * 取付け用モルタル、既調合の目地用モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物固定に使用する充填材等 ※ 石材施工業者指定製品(実績等の資料を監督職員に提出) ・ () * ドレンパイプ(外壁湿式工法) 材質 () | | |
| 3節 外壁湿式工法 | | | |
| 10.3.2 材料 | * 石材の厚さ ※ 有効25mm以上 ・ ()mm * 石裏面処理 ・ する ・ しない 裏打ち処理 ・ する ・ しない | | |
| 10.3.3 施工 | * 下地ごしらえ ※ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ あと施工アンカー・横筋流し工法 * 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 ・ ()mm シーリング材 ・ 用いる ・ 用いない * 伸縮調整目地の位置 ※ 表11.1.1による ・ () * 伸縮調整目地のシーリング材の目地寸法 ※ 9.7.3(a)(3)による ・ () | | |
| 4節 内壁空積工法 | | | |
| 10.4.2 材料 | * 石材の厚さ ※ 有効20mm以上 ・ ()mm * 石裏面処理 ・ する ・ しない 裏打ち処理 ・ する ・ しない | | |
| 10.4.3 施工 | * 下地ごしらえ ・ あと施工アンカー工法 ※ あと施工アンカー・横筋流し工法 * 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 ・ ()mm シーリング材 ・ 用いる ・ 用いない * 伸縮調整目地の位置 ※ 6m程度ごと ・ () * 伸縮調整目地のシーリング材の目地寸法 ※ 9.7.3(a)(3)による ・ () | | |
| | | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 |
| | | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 縮尺 No.A04 |
| 検図 | 製図 | 設計 H29年3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|----|--|---|----|
| 11 | 5節 乾式工法 | | |
| | 10.5.2 材料 | *石材の厚さ 外壁 ※有効30mm以上 ()mm 内壁 ※有効25mm以上 ()mm *だぼ用穴の位置 ※10.5.2(b)(1) *石裏面処理 ・する ・しない 裏打ち処理 ・する ・しない *建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 () *目地幅 ※8mm以上 ()mm 目地のシーリング仕上げ ※9章7節[シーリング]による () | |
| 石 | 6節 床及び階段の石張り | | |
| | 10.6.2 床の石張り | *石材の厚さ ()mm 石裏面処理 ・する ・しない *一般目地幅 屋外 ※4mm以上 () 屋内 ※3~6mm () *目地にシーリング材 ・用いる ・用いない *伸縮調整目地の位置 ※10.6.2(e)(2)(i)による () *石材の厚さ ()mm 石裏面処理 ・する ・しない *一般目地幅 屋外 ※4mm以上 () 屋内 ※3~6mm () *伸縮調整目地の位置 ※10.6.2(e)(2)(i)による () | |
| 工 | 7節 特殊部位の石張り | | |
| | 10.7.1 適用範囲 | *取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 *石材の厚さ ()mm 石裏面処理 ・する ・しない *裏打ち処理 ・する ・しない 一般目地幅 ※6mm以上 () *伸縮調整目地の位置 ※他の部位との取合い部 () *石材の厚さ ()mm 石裏面処理 ・する ・しない *取付け代(乾式工法) ※10.5.3(b) *石裏補強用モルタル(乾式工法) ・する ・しない *石材の厚さ ()mm ※40mm | |
| 12 | 12章 タイル工事 | | |
| | 【建築工事標準仕様書 11章による】 1節 一般事項 2節 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り | *伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 目地の位置 ※表11.1.1による () *適用箇所 形状・寸法 工法 耐凍害性の有無 耐滑り性 標準色・特別色の別 玄関床 300×300 有 有 標準色 | |
| タ | 11.2.2 材料 | | |
| | 11.2.7 施工 | *役物 ・有 ○無 試験張り ・有 ※無 見本焼き ・有 ※無 *モルタル塗りのコンクリート素地面 ・MCR工法 ・目荒し工法 () *壁タイル張り工法 外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り [表11.2.3] 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り | |
| イ | 3節 接着剤による陶磁器質タイル張り | | |
| | 11.3.2 材料 | *適用箇所 形状・寸法 工法 耐凍害性の有無 耐滑り性 標準色・特別色の別 | |
| ル | 11.3.4 シーリング材 | *役物 ・有 ・無 試験張り ・有 ※無 見本焼き ・有 ※無 *種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウタン系 () 伸縮調整目地、その他の目地 ※変成シリコン系 () | |
| | 11.3.7 施工 | *モルタル塗りのコンクリート素地面 ・MCR工法 ・目荒し工法 () *工法 ・内装壁タイル接着剤張り ・外装壁タイル接着剤張り ・図示による [表11.3.2] | |
| 工 | 4節 陶磁器質タイル型枠先付 | | |
| | 11.4.2 材料 | *適用箇所 形状・寸法 工法 標準色・特別色の別 | |
| 事 | 11.4.3 タイル型枠先付けの種類 | *役物 ・有 ・無 試験張り ・有 ※無 見本焼き ・有 ※無 *タイル型枠先付け面のせき板 ※6.8.3(b)(2) ※金属製タイル先付け用パネル () *種類 ・タイルシート法 ・目地樹法 ・棧木法 *雪止め ・設ける ・設けない ※図示による | |
| | 2節 下地及び下葺 | | |
| 13 | 13.2.2 材料 | | |
| | 13.2.3 工法 | *下葺材料 ○アスファルト・フィング940 ・改質アスファルト・フィング下葺材 *下地材料の種類、形状等(壁面に下葺材張りに必要な下地材) ※図示による () | |
| 屋 | 3節 金属板葺 | | |
| | 13.3.2 材料 | *金属板、板及びコイルの種類 ※JIS G 3322の屋根用コイル(種類: 、記号:) () 塗膜の耐久性の種類 () めっき付着量 () 厚さ () *固定釘等 固定釘 13.3.2(b)(2)(ii)によらない釘 ・図示による () 木ねじ 13.3.2(b)(2)(i)によらない木ねじ ・図示による () 固定釘等の材質 ・図示による () 固定釘の形状及び寸法 心木なし瓦葺葺(母屋に固定の場合) () 横葺 () 心木 樹種及び防腐・防蟻処理 ※図示による () | |
| 根 | 13.3.3 加工 | *通し吊子の各部分の寸法 ※図示による () 釘留め間隔 () | |
| | 13.3.4 平葺(一文字葺)工法 | *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *加工 はぜのつくり方 ※図示による () *一般部の葺き方 吊子の間隔 ※図示による () *各部工法 吊子及び釘の留付け間隔 ※図示による () 軒先及びげらば 唐草の留付け間隔 ※図示による () | |
| 及 | 13.3.5 心木あり瓦葺工法 | *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *一般部の葺き方 銅板以外 瓦葺及び釘の留付け間隔 ※図示による () 溝板及びキャップの留付け方法 ※13.3.5(c)(1)(iii)による () 銅板 瓦葺、吊子及び釘の留付け間隔 ※図示による () *各部工法 棟覆い 銅板以外 棟板の材質及び留付け釘の間隔 ※図示による () 銅板 通し付け子 留付け釘の間隔 ※図示による () 軒先 唐草の留め付け間隔 ※図示による () | |
| | 13.3.6 心木なし瓦葺工法 | *特殊工法 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *一般部の葺き方 釘打ちの間隔 ※図示による () *各部工法 棟覆い 取付け釘の間隔 ※図示による () 軒先 唐草の留め付け釘の間隔 ※図示による () 屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部 ・雨押えを付ける ・雨押えを付けない ※図示による 留め付け釘または吊子の間隔 ※図示による () | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|---------------|---|--|----------------|
| 13 | 13.3.7 横葺の工法 | *特殊工法 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *特殊工法 ※図示による () | |
| | 13.3.8 立平葺の工法 | *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *吊子の工法 ※図示による () 特殊工法 ※図示による () | |
| 4 | 4節 折板葺 | | |
| | 13.4.2 材料 | *折板 形式 ※重ね型 ※はぜ締め型 () 山高 () 山ピッチ () 厚さ () 耐力 ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 材料 ※鋼板製(表13.2.1による) () *軒先面戸板 ・有 ・無 *断熱材張り 種類 () 厚さ () 防火性能 () *タイルフレームを留め付ける下地材の材質、形状及び寸法 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () | |
| 13 | 13.4.3 工法 | | |
| | 5節 粘土瓦葺 | | |
| 13 | 13.5.2 材料 | *粘土瓦 製法による区分 (釉薬かわら) 形状による区分 (棧かわら) 寸法による区分 (F型) 産地 ※愛知県産 () 役物瓦の種類 (片流れ棟瓦、軒先瓦、袖瓦) | |
| | 13.5.3 工法 | *瓦棧木 材質 ※杉 ※ひのき () 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 () *防腐処理の方法 ・図示による (塗布) () *棟補強用心材 材質 ※杉 ※ひのき () 寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上 () *防腐処理の方法 ・図示による (塗布) () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *木材以外の野地板の材料及び瓦棧木の留付け工法 ※図示による () *瓦の取付け ※13.5.3(d)(1)、(2)による () ※図示による () 棟の工法 ○(片流れ棟 ・冠瓦伏せ棟(13.5.3(1)) ・のし一体棟(13.5.3(2)) ・のし積み棟(13.5.3(3)) | |
| 屋 | 6節 スレート葺 | | |
| | 13.6.2 材料 | *屋根スレート 種類、寸法及び形状、棟・げらば等の役物並びに色彩等 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () | |
| 根 | 7節 アスファルトシングル葺 | | |
| | 13.7.2 材料 | *アスファルトシングル 品質、形状、色調及び寸法 ※図示による () *建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 () *軒先及びげらば等に曲面を設ける場合 ※図示による | |
| 及 | 8節 とい | | |
| | 13.8.2 材料 | *といの材料 金属板 といに用いる金属板の種類及び板厚 ※図示による () [表13.8.1] (耐酸被覆鋼板の場合の材質その他 ※図示による ()) 谷どいの種類及び板厚 ※図示による () 銅板 板厚 谷どい ※0.4mm ※図示による () その他い ※0.35mm ※図示による () 硬質塩化ビニル樹脂 種類、外形、厚さ、長さ ※図示による () *集水器、あんこう 硬質塩化ビニル製集水器及びあんこうの形等 ※図示による () | |
| 14 | 14章 金属工事 | | |
| | 【建築工事標準仕様書 14章 節～3節による】 1節 一般事項 14.1.3 工法 | * (b)あと施工アンカー 引抜耐力の確認試験 ※行う(14.1.3(b)(4)(i)～(v)) 設計用引張強度() ・行わない | |
| 金 | 2節 表面処理 | | |
| | 14.2.1 ステンレスの表面仕上げ | *種類 ※HL仕上げ () | |
| 属 | 14.2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 | *種別 ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 ・D種 [表14.2.1] 常温乾燥形の塗装 () | |
| | 14.2.3 鉄鋼の亜鉛めっき | *陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 () 色合等 () *熔融亜鉛めっき種別 ・A種 ・B種 ○C種 [表14.2.2] *電気亜鉛めっき種別 ・D種 ・E種 ○F種 | |
| 章 | 2節 下地 | | |
| | 15.2.3 ラス系下地 | *ラス系下地の種類 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシート下地 ・通気構法単層下地 ・通気構法二層下地 ラス下地板 樹種 ※図示による () 寸法 ※厚さ12mm、幅75mm ・図示による () 防腐・防蟻処理 ※図示による () 釘の種類及び寸法 ※9.8.1(b)(1)(3)による ※図示による () 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定 ※図示による () *材料 ラス 素材による区分、種類及び単位面積当たりの質量 ※図示による () ステープル 形状及び寸法 ※L925T-S以上(リプラス) ※L1019J-S以上(波形ラス) () *通気構法二層下地 ラス 素材による区分、種類及び単位面積当たりの質量 ※2種波形ラス700 ・2種 () *通気構法単層下地 ラス 素材による区分、種類及び単位面積当たりの質量 ※2種リラス800 ※2種防水紙付きリラス800 外張り断熱工法で断熱材の上に胴縁を施工する形式の通気構法を行う場 ※図示による () 換気口部の防水処置 ※10.4.3(b)(8)に準じる ・図示による () | |
| 左 | 15.2.4 木質系セメント板 | *木質系セメント板 種類 ※図示による () | |
| | 15.2.6 小舞下地 | *建築基準法に基づく耐力壁の指定 ※図示による () | |
| 官 | 15.2.7 木ずり下地 | *木ずり用小幅板 樹種 ※杉の心去り材 ・図示による () | |
| | 3節 モルタル塗り | | |
| 工 | 15.3.2 材料 | *セメント(床のモルタルにて仕上げ及び寒冷期の外部モルタル塗を除く) ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメント(A種) ・シリカセメント(A種) ・フライアッシュセメント(A種) *既調合モルタル ○使用する (形状:) ・使用しない *既製目地材 ・使用する (形状:) ○使用しない | |
| | 15.3.4 工法 | *コンクリート面等への下地モルタル塗り 床塗りの目地の設置及び工法 ※15.3.4(b)(3)(iii)による () *タイル張り下地等の均しモルタル塗り 外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着剤試験 ・行う ・行わない | |
| 事 | 4節 せっこうプラスター塗り | | |
| | 15.4.3 調合及び塗厚 | *上塗り ・既調合プラスター(上塗り用) ・しっくい塗り | |
| 15 | 15.6.2 材料 | *既調合しっくい 製造所及び種類 ・図示による () ・使用しない | |
| | 15.6.3 下地 | *下地 ・木ずり ・小舞土壁塗り ・せっこうラスボード ・せっこうボード ・図示による () | |
| 15.6.4 調合及び塗厚 | *調合及び各層の塗厚 ※表15.6.1及び表15.6.2による(木ずり下地) ※図示による () | | |
| | | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 |
| | | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 縮尺 No.A05 |
| | | 検 図 製 図 設 計 H29年3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 | |
|------------------|---|---|----|--|
| 15 | 7節 小舞壁塗り | <ul style="list-style-type: none"> *のり 土壁用 ・ふのり ※ つのまた ・ぎんなんそう ・() 砂壁用 ・つのまた ※ ふのり ・こんにやくのり ・にかわ ・合成樹脂系混和剤 ・() *色土 土物仕上げ用 種類 ※ 図示による ・() 大津仕上げ用 種類 ※ 図示による ・() *色砂 種類 ※ 図示による ・() *塗厚 ※ 表15.7.8による ※ 図示による ・() *小舞壁の工程種別 ※ A種 ・ B種 [表15.7.9] *工法の種類 ・ 土物仕上げ工法(・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法) ・ 砂壁仕上げ工法 ・ 切返し仕上げ工法 *工法の種類 ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みがき仕上げ工法 | | |
| | 15.7.2 材料 | | | |
| | 15.7.4 塗厚 | | | |
| | 15.7.5 工程 | | | |
| | 15.7.7 土物仕上げ | | | |
| | 15.7.8 大津仕上げ | | | |
| | 8節 仕上塗材仕上げ | | | <ul style="list-style-type: none"> *仕上塗材の種類、仕上げの形状、工法 ※ 図示による ・() [表15.8.1] 内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材 ・ 使用しない ・ 図示による 複層仕上塗材の耐候性 ※ 耐候形3種 ・() ・ 図示による 複層仕上塗材の上塗材 種類 ※ 水系アクリルのつやあり ・() ・ 図示による [表15.8.2] 防火材料の指定 ・ 有() ・ 無し() ・ 図示による *外装厚塗材Si、外装厚塗材Eの上塗材 ・ 適用する() ・ 適用しない() *外装厚塗材Cの上塗材(セメント系以外の場合) () |
| | 15.8.2 材料 | | | |
| 15.8.4 下地処理 | <ul style="list-style-type: none"> *その他の下地の場合 ・() ・ 図示による *所要量等の確認 ※ 表15.8.4による ・() ・ 図示による | | | |
| 15.8.7 所要量等の確認 | | | | |
| 9節 床コンクリート直均し仕上げ | <ul style="list-style-type: none"> *適用箇所 ※ 図示による ・() *種類及び品質 ・ せっこう系 ・ セメント系 【建築工事標準仕様書 表15.4.1】 | | | |
| 15.9.1 適用範囲 | | | | |
| 15.10.1 適用範囲 | | | | |
| 16 | 1節 一般事項 | <ul style="list-style-type: none"> *防火戸の指定 ※ 図示による *自動閉鎖機構及び防火戸と連動させるもの ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器 *建具見本の製作 ・ 有 ※ 無 特殊な建具の仮組 ・ 実施する ・ 実施しない *防犯建物部品 ・ 適用する() ・ 適用しない() *外部に面するアルミニウム製建具の種類 ・ A種 ・ B種 ・() 枠見込み寸法 (70) [表16.2.1] 外部に面さない建具 ・ (耐風圧性: 気密性: 水密性:) ・ 図示による *防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(遮音性等級:) ・ 適用しない() ・ 図示による *断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(断熱性等級:) ・ 適用しない() ・ 図示による *網戸 ○設置する ※ 設置しない() ・ 図示による 防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス製 *シャッター ・ 建具一体型 ・ 後付け ○図示による ・() スラット ・ アルミ製 ・ 塗装鋼板 ・ 図示による *雨戸 ・ アルミ製 ・ 塗装鋼板 ・ 図示による 断熱性能 ・ 有() ・ 無() *雨掛り部分の建具枠回りのシーリング材 目地の寸法 ※ 幅10mm、深さ10mm以上 ・ 図示による ・() *建具の枠の形状 ○図示による ・() *構造 外部に面するアルミ製建具に取付けるもの ○シャッター ○網戸 ・ 図示による *アルミニウムの表面処理 塗膜の種類() 色 ○標準色 ・ 特注色 *結露水の処理方法 (下枠排水) *水切り板 () ぜん板 () その他 () *内付け建具の止水 ※ 図示による ・() *外部に面する建具 ・ A種 ・ B種 ・() ・ 図示による [表16.3.1] 外部に面さない建具 ・ (耐風圧性: 気密性: 水密性:) ・ 図示による 枠の見込み寸法 ・()mm ・ 図示による *防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(・ T-A ・ T-B) ・ 適用しない() ・ 図示による ・() [表16.3.2] *断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(・ H-A ・ H-B ・ H-C) ・ 適用しない() ・ 図示による ・() [表16.3.3] *シャッター ・ 設置する() ・ 設置しない() ※ 図示による スラット ・ アルミ製 ・ 塗装鋼板 ・ 図示による *ガラス ・ 複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三重ガラス ・() ※ 図示による *雨掛り部分の建具枠回りのシーリング材 目地の寸法 ※ 幅10mm、深さ10mm以上 ・ 図示による ・() *建具の枠の見込み寸法 ・()mm ・ 図示による 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 *水切り板 () ぜん板 () その他 () *簡易気密型ドアセットの性能等級 ※ 表16.4.1による ・() ・ 図示による 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-2 ・ S-3 ・() ・ 図示による *防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(遮音性等級:) ・ 適用しない() ・ 図示による *断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(断熱性等級:) ・ 適用しない() ・ 図示による *鋼板の適用 ・ JIS G 3302による(めっき付着量 ※Z12またはF12 ・()) ・ JIS G 3317による(めっき付着量 ※Y08 ・()) *鋼板類の厚さ ※ 表16.4.2による ・(区分・使用箇所・厚さ:) ・ 図示による *簡易気密型ドアセット(気密性:A-2) ・ 適用する() ○適用しない() ・ 図示による ・() *防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(遮音性等級:) ・ 適用しない() ・ 図示による *断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(断熱性等級:) ・ 適用しない() ・ 図示による *ビニル被覆鋼板 ・ 適用する() ・ 適用しない() ・ 図示による ・() *カラー鋼板 ・ 適用する() ・ 適用しない() ・ 図示による ・() *召合せ、縦小口包み板等 ※ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金 *鋼板類の厚さ ※ 表16.5.1による ・(区分・使用箇所・厚さ:) ・ 図示による *ステンレス鋼板 ※ SUS304 ※ SUS430J1L ※ SUS443J1 ※ SUS430 ・() *表面仕上げ ※ HL ・() *曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ | | |
| | 16.1.3 防火戸 | | | |
| | 16.1.4 建具見本の製作 | | | |
| | 16.1.6 その他 | | | |
| | 2節 アルミニウム製建具 | | | |
| | 16.2.2 性能及び構造 | | | |
| | 16.2.3 材料 | | | |
| | 16.2.4 形状及び仕上げ | | | |
| | 16.2.5 工法 | | | |
| | 3節 樹脂製サッシ | | | |
| | 16.3.2 性能及び構造 | | | |
| | 16.3.3 材料 | | | |
| | 16.3.4 形状及び仕上げ | | | |
| | 16.3.5 工法 | | | |
| | 4節 鋼製建具 | | | |
| | 16.4.2 性能及び構造 | | | |
| 16.4.3 材料 | | | | |
| 16.4.4 形状及び仕上げ | | | | |
| 5節 鋼製軽量建具 | | | | |
| 16.5.2 性能及び構造 | | | | |
| 16.5.3 材料 | | | | |
| 16.5.4 形状及び仕上げ | | | | |
| 6節 ステンレス製建具 | | | | |
| 16.6.3 材料 | | | | |
| 16.6.4 形状及び仕上げ | | | | |
| 16.6.5 工法 | | | | |
| 7節 木製建具 | | | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|----------------------------------|------------------|---|----------------|
| 16 | 16.7.2 材料 | <ul style="list-style-type: none"> *含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 [表16.7.1] *フラッシュ戸の表面材の合板の種類及び品質等 ※ 16.7.2(b)(i)~(iii) ・() *かまち戸の樹種 かまち() 鏡板の樹種 () *ふすまの上張りの種類 () *フラッシュ戸 表面板の厚さ ※ 表16.7.6による ・()mm ・ 図示による *かまち戸の見込み寸法 ※ 36mm ・()mm ・ 図示による *ふすまの見込み寸法 ※ 19.5mm ・()mm ・ 図示による *戸ふすまの見込み寸法 ※ 30mm ・()mm ・ 図示による *紙張り障子の見込み寸法 ※ 30mm ・()mm ・ 図示による *フラッシュ戸の定規線(引戸)の召合わせ枠の形状 ・ 図示による ・ いんろう付き ・() [表16.7.7] *ふすま 縁の仕上げ () *金物の種類及び見え掛り部の材質 ※ 表16.8.1による ・() 表16.8.1中の *印の適用並びに備考中の特記について ○図示による ・() *樹脂製建具用丁番 ※ 表16.8.3による ・() *握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 ○図示による ・() *マスターキー ○製作する() ・ 製作しない() *鍵 ※ 3本1組とし、室名札を付ける ・() 鍵箱 ・ 要 ・ 不要 *スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 ※ 表16.9.1による ・() *スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値 ※ 表16.9.2による ・() *戸の開閉方法 ※ 図示による ・() *センサーの種類 ・() ・ 図示による [表16.9.3] 凍結防止措置 ・ 要 ※ 不要 *自動式上吊り引戸装置の性能 ※ 表16.10.1による ・() *シャッター種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター ・ 図示による *耐風圧強度(管理用シャッター、外壁用防火シャッター) () *開閉機能による種類 ※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 *シャッターケース(外壁用防火シャッター、屋内用防火シャッター及び防煙シャッター以外の場合) ・ 設置する ・ 設置しない *スラット及びシャッターケース用鋼板 種類 ※ 図示による ・() めっき付着量 ※Z12またはF12を満たす ・() *開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) [表16.12.1] 耐風圧強度 ・() *スラットの材質及びめっき付着量 [・ JIS G 3312 (付着量 ※Z06又はF06 ・()) ・ JIS G 3322 (付着量 ※AZ90 ・()) *スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 *セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ *耐風圧性能(JIS A 4715) () 開閉方式 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 *収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 *ガイドレールの材料 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 *板ガラス フロート板ガラス 厚さによる種類 () 型板ガラス 品種 () 厚さによる種類 () 網入板ガラス 品種 () 厚さによる種類 () 線入板ガラス 品種 () 厚さによる種類 () 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに合計厚さ () 強化ガラス 特性による種類 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 材料板ガラスの種類による名称 () 特性による種類 ・ I類 ・ III類 性能による種類 ・ 1種 ・ 2種 複層ガラス 材料板ガラスの種類 (Low-E) 厚さの組み合わせ並びに複層ガラス厚さ (18 21.8) 断熱性、日射遮蔽性区分 [・ 1種(U1) ・ 2種(U2) ・ 3種(U3-1) ・ 3種(U3-2) ・ 4種(E4) ・ 5種(E5) 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類 () 厚さによる種類 () 日射遮蔽性区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性区分 ・ A類 ・ B類 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類 () 厚さによる種類 () *ガラス留め材 ○シーリング材 ・ ガスケット(・ グレイジングチャンネル形 ・ グレイジングビード形) *溝の大きさ ※ 表16.14.1による(アルミニウム・鋼・ステンレス製建具) ・() ・ 図示による *材料 ガラスブロック 表面形状 () 呼び寸法 () 厚さ () 壁用金属枠 () 補強材 () 力骨 材質 ※ ステンレス鋼(SUS304) ・() 寸法 ※ 径5.5mm ・() 形状 ※ はしご形複筋及び単筋 ・() 化粧目地モルタルの色 () シーリング材の種類 () 金属製化粧カバー 材質 () 寸法 () 形状 () *工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 () 目地幅 平積み ()mm 曲面積み ()mm 伸縮調整目地 幅: ()mm 位置: @ ()m以下ごと 壁用金属枠 間隔: ()mm 目地部の力骨の補強方法 ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による ・() | |
| | 16.7.3 形状及び仕上げ | | |
| | 16.7.4 工法 | | |
| | 8節 建具用金物 | | |
| | 16.8.2 材質、形状及び寸法 | | |
| | 16.8.3 取付け施工 | | |
| | 16.8.4 鍵 | | |
| | 9節 自動ドア開閉装置 | | |
| | 16.9.2 性能 | | |
| | 16.9.3 機構 | | |
| | 10節 自動式上吊り引戸装置 | | |
| | 16.10.3 性能等 | | |
| | 11節 重量シャッター | | |
| | 16.11.2 形式及び機構 | | |
| | 16.11.3 材料 | | |
| | 12節 軽量シャッター | | |
| 16.12.2 形式及び機構 | | | |
| 16.12.3 材料 | | | |
| 16.12.4 形状及び仕上げ | | | |
| 13節 オーバーヘッドドア | | | |
| 16.13.2 形式及び機構 | | | |
| 16.13.3 材料 | | | |
| 14節 ガラス | | | |
| 16.14.2 材料 | | | |
| 16.14.3 ガラス溝の寸法、形状等 | | | |
| 16.14.5 ガラスブロック積み | | | |
| 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | |
| 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | | 木造工事特記仕様書 6 縮尺 No.A06 | |
| 検図 | 製図 | 設計 H29年3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|----|---|---|----|
| 17 | 17章 塗装工事 【建築工事標準仕様書 18章による】 1節 一般事項 18.1.3 材料 2節 素地ごしらえ 18.2.2 木部 18.2.3 鉄鋼面 18.2.4 亜鉛めっき鋼面 18.2.5 モルタル面、プaster面 18.2.6 コンクリート面、ALC面等 18.2.7 せっこうボード面等 3節 錆止め塗料塗り 18.3.2 塗料種別 18.3.3 錆止め塗料塗り 4節 合成樹脂調合ペイント塗り 18.4.2 塗料の種類 18.4.3 木部 18.4.4 鉄鋼面 5節 クリヤラッカー塗り(OL) 6節 NAD塗り 7節 耐候性塗料塗り(DP) 18.7.2 鉄鋼面DP塗り 18.7.3 亜鉛めっき鋼面DP 18.7.4 コンクリート面等DP塗り 8節 EP-G塗り 18.8.2 コンクリート面等EP-G塗 18.8.4 鉄鋼面EP-G塗 9節 EP塗り 10節 EP-T塗り 11節 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 12節 ラッカーエナル塗り(LE) 14節 木材保護塗料塗り(WP) | <p>* 防火材料の指定 ・有() ・無</p> <p>* 種別 ※ A種(不透明塗料塗り) ※ B種(透明塗料塗り) ・() * 種別 ・A種 ・B種 ※ C種 * 種別 ・A種 ・B種 * 種別 ・A種 ※ B種 * 種別 ・A種 ※ B種(下地:コンクリート、ALCパネル面) (ただし耐候性塗料塗りの場合は表18.2.6による) * 種別 ・A種 ・B種(下地:コンクリート、押出成型セメント板面) * 種別 ※ A種(継目処理工法の場合) ※ B種(その他) ・()</p> <p>* 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料 ※ A種 ・B種 ※ C種(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの場合) [表18.3.2] * 鉄鋼面錆止め塗料塗り 見え掛り部 ※ A種 ・B種 見え隠れ部 ・A種 ※ B種 [表18.3.3] * 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り 鋼製建具 ※ A種 ・B種 その他 ・A種 ※ B種 [表18.3.4]</p> <p>* 塗料の種類 ※ 1種 ・2種 * 種別 屋外 ※ A種 ・B種 屋内 ・A種 ※ B種 [表18.4.1] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.4.2] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.5.1] * アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.6.1]</p> <p>* 鉄鋼面耐候性塗料塗り 上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 [表18.7.1] * 亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り 上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 [表18.7.2] * コンクリート面及び押出成型セメント板面耐候性塗料塗り 種別 ・A種 ・B種 ・C種 [表18.7.3]</p> <p>* コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面等つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.8.1] * 鉄鋼面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.8.3] * 合成樹脂エマルジョンペイント塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.9.1] * コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面等合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り 種別 ・A種 ※ B種 [表18.10.1] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.11.1] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.12.1] * 種別 ・A種 ※ B種 [表18.14.1]</p> | |
| 18 | 18章 内装工事 【建築工事標準仕様書 19章による】 2節 ビニル床シート等張り 19.2.2 材料 3節 カーペット敷き 19.3.3 材料 4節 合成樹脂塗床 19.4.3 工法 5節 フローリング張り 19.5.2 材料 19.5.3 工法一般 19.5.4 釘留め工法 19.5.5 接着工法 19.5.6 現場塗装仕上げ 6節 畳敷き 19.6.2 材料 7節 せっこうボード等張り 19.7.2 材料 | <p>(ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り) * ビニル床シート 種類 ※ FS ・() 色柄 () 厚さ ※ 2.0mm () * ビニル床タイル 種類 (木目調) 厚さ ※ 2.0mm (3.0) * 特殊機能床材 帯電防止床シート 種類 () 厚さ () 帯電防止床タイル 種類 () 厚さ () 視覚障害者用床タイル 種類 () 形状 () 耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ () 防滑性床シート、床タイル 種類 () 厚さ () * ビニル幅木 厚さ ※ 1.5mm ・() 高さ ※ 60mm ・() * ゴム床タイル 種類 () 厚さ () * 接着剤(施工箇所の下地がセメント系及び木質系以外の場合) ・() * 19.2.3(a)(1)~(3)以外の下地の工法 () * 熱溶接工法 ・適用する () ○適用しない</p> <p>* 織じゅうたん 種別 ・A種 ・B種 ・C種 織り方 () [表19.3.1] パイルの形状 () 帯電性 ※ 人体帯電圧3kV以下 ・() * タフテッドカーペット パイルの形状 () パイル長 () * ニードルパンチカーペット 厚さ () * タイルカーペット 種類 ※ 第一種 ・第二種 パイルの形状 ※ ループパイル ・() 寸法 ※ 500mm角 ・() 総厚さ ※ 6.5mm ・() * 下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号、呼び厚さ8mm ・() * 取付け用付属品 見切り材 材質 () 種類 () 形状 () 押え金物 材質 () 種類 () 形状 () * タフテッドカーペットの工法 ・グリッパ工法 ・全面接着工法 * タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・() 階段 ※ 模様流し ・()</p> <p>* 仕上げの種類(弾性ウレタン樹脂系) ※ 平滑 ・防滑 ・つや消し [表19.4.4] * 仕上げの種類(エポキシ樹脂系) (・平滑 ・防滑) ・薄膜流し展べ ・厚膜流し展べ ・樹脂モルタル</p> <p>* 単層フローリング ・フローリングボード1等 ・フローリングブロック1等 ・モザイクパーケット1等 ・複合フローリング</p> <p>* 工法 ・釘留め(根太張り)工法 ・釘留め(直張り)工法 ・接着工法 * 樹種 ※ なら ・() 複合フローリングの種別 ・A種 ・B種 ※ C種(根太張り工法の防湿処理 ・有 ・無) * 樹種 ※ なら ・() * モザイクパーケット 樹種 () 厚さ () 大きさ () * 裏面の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ・()</p> <p>* 塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステンの上ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p> <p>* 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床の記号:) [表19.6.1] * 種類 () 厚さ () その他 () * 普通合板 表面の樹種 生地そのまままたは透明塗料塗りの場合 ※ ラウン程度 ・() 不透明塗料塗りの場合 ※ しな程度 ・() 板面の品質 () 厚さ () 接着の程度 () 防虫処理 ・行う() ・行わない * 天然木化粧合板 化粧板の樹種名 () 接着の程度 () 厚さ () 防虫処理 ・行う() ・行わない</p> | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|----|---|---|----|
| 18 | 18章 内装工事 8節 壁紙張り 19.8.2 材料 19.8.3 施工 9節 断熱・防露 19.9.2 断熱材打込み工法 19.9.3 断熱材現場発泡工法 | <p>* 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・() 表面性能 () 接着の程度 () 防虫処理 ・行う() ・行わない * 遮音シール材(軽鉄下地ボード・遮音壁) ・アクリル系 ・ウレタン系 ・ジョイントコンパウンド(JIS A 6914) * 下地 ・軽量鉄骨下地 ・木造下地 ・() * 合板類の張付け種別 ・A種 ※ B種 [表19.7.3] * せっこうボードの目地工法の種類 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法 [表19.7.5]</p> <p>* 種類 (ビニル) 防火性能 (準不燃) * 素地ごしらえ モルタル及びプaster面 ・A種 ※ B種 コンクリート面 ・A種 ※ B種 せっこうボード面 ・A種 ※ B種</p> <p>* 材料(JIS A 9521 建築用断熱材) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 種類() 厚さ() ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) 種類() 厚さ() ・硬質ウレタンフォーム断熱材 種類() 厚さ() ・フェノールフォーム断熱材 種類() 厚さ() (JIS A 9511 発泡プラスチック保温材) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 厚さ() (・特号 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号) ・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし) 厚さ() (・1種 ・2種 ・3種) (・a ・b) ・A種硬質ウレタンフォーム保温材 厚さ() (・1種 ・2種) (・1号 ・2号 ・3号 ・4号) ・フェノールフォーム保温材 厚さ() (・1種 ・2種) (・1号 ・2号) 19.9.3 断熱材現場発泡工法 * 種類(建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム(難燃性)) ※ A種1 ・A種2 ・A種3 ・B種 * 吹付け厚さ () mm</p> | |
| 19 | 19章 断熱・防露 19.1.2 材料 19.1.3 施工部位 19.1.4 断熱材、防湿層の施工 19.1.5 各部位の工法 2節 ユニット工事等 20.2.2 フリーアクセスフロア 20.2.3 可動間仕切り 20.2.4 移動間仕切り 20.2.5 トイレブース 20.2.6 階段滑り止め 20.2.8 黒板及びホワイトボード 20.2.9 鏡 20.2.10 表示 20.2.11 煙突ライニング | <p>* 断熱材の種類、厚さ、使用量 ※ 図示による ・() [表19.1.1] * 防湿材 種類 厚さ [・JIS A6930によるもの ・JIS Z 1702によるもの(0.05mm厚以上) ・() ・JIS K 6781によるもの(0.05mm厚以上) ・()] * 気密材 種類 厚さ ※ 図示による ・() * 防風材 材料 ※ JIS A 6111による透湿防水シートB ※ 図示による ・()</p> <p>* 断熱工事の施工部位及び外気等に接する開口部を断熱構造とする部位 ※ 図示による ・() * 断熱材の取付け 充填断熱工法 19.1.4(c)(1)(i)~(iii)以外の取付けを行う場合 ※ 図示による ・() 外張断熱工法 19.1.4(c)(2)(i)~(iii)以外の取付けを行う場合 ※ 図示による ・() " 外張断熱材に防蟻処理を施す場合の処理の種類 ※ 図示による ・()</p> <p>* 防湿層の施工 防湿層の省略 ・有 ※ 無 開口部等まわりの施工 断熱構造部分の床下及び小屋裏点検口 ※ 図示による ・() 設備配管まわりの施工 ・19.1.4(d)(10)(ii)による ・19.1.4(d)(10)(ii)による ※ 図示による ・() ※ 19.1.5(1)による(床に防湿フィルム・張る ・張らない) ※ 図示による ・()</p> <p>* 天井の施工 [※ 19.1.5(3)による (天井断熱で天井点検口を設ける場合 ※ 図示による ・()) ※ 図示による ・()] * 屋根の施工 ※ 19.1.5(4)による ・() * 気流止めの施工 ※ 19.1.5(5)による (気密材の材料及び工法 ※ 図示による ・()) ※ 図示による * 気密措置 ※ 19.1.5(6)による (工法 ※ 図示による ・()) ※ 図示による ・() * 床下防湿 ※ 19.1.5(7)による ※ 図示による ・() * 床下換気 ※ 19.1.5(8)による ※ 図示による ・() * 小屋裏換気 ※ 19.1.5(9)による ※ 図示による ・() * 養生 ※ 19.1.5(10)による ※ 図示による ・()</p> <p>* 材料等 フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材 寸法 ※ 図示による ・() フリーアクセスフロア高さ () 耐震性能 () 所定荷重 () 帯電防止性能 () 漏えい抵抗 () 試験方法 耐荷重性能 ※ 20.2.2(b)(2)(i) ・() 耐衝撃性能 ※ 20.2.2(b)(2)(ii) ・() ローリングロード性能 ※ 20.2.2(b)(2)(iii) ・() 耐燃焼性能 ※ 20.2.2(b)(2)(iv) ・() 寸法精度 ※ 20.2.2(b)(5)による ・()</p> <p>* 材料等 構造形式による種類 () 構成基材の種類 () 遮音性 () パネル表面仕上げ () パネル内に取り付ける建具 ・寸法() 形状() ・図示による</p> <p>* 材料等 パネルの操作方法による種類 (平行方向移動式) パネル表面材 ・(材質 MDF 仕上げ クロス貼り) * 性能等 パネル圧接装置の操作方法 (メーカー仕様) 遮音性 (一般タイプ) ハンガーレール取付け下地の補強 ※ 20.2.4(c)(3)による (図示による)</p> <p>* 工法 あと施工アンカー 材質 () 寸法 () その他 () * 材料 パネル表面材 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ※ 幅木タイプ ・()</p> <p>* 材種 () 形状 () 寸法 () * 取付け工法 ※ 接着工法 ・埋込み工法</p> <p>* 黒板 種類 ※ 焼付け ・() 色 ※ 緑 ・() * 厚さ ※ 5mm * 衝突防止表示 対人衝突防止表示(ガラスクリーン) 形状 () 寸法 () 材質 () * 非常用進入口等 ・表示する ・表示しない ・図示による</p> <p>* 室名札、ヒケグラム、案内板等の形状、材質、寸法、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示による * 材料 煙突用成形ライニング材 ・ゾラト系つけい酸カルシウムライニング材 ・心材付き繊維積層ライニング材 適用安全使用温度 () °C</p> | |

| | | | | |
|----------------------------------|--------|------------------|----------------|----------------------|
| 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 縮尺 No.A07 |
| 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | | 木造工事特記仕様書 7 | | |
| 検 図 | 製 図 | 設 計 H29年3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|-------------------------|-----------------------|---|----|
| 19章 断熱・防露、ユツト及びその他工事 | 20.2.12 ブラインド | *材料 形式・横型・縦型 横型ブラインド 種類 ※ギヤ式・() 幅() 高さ() スラット幅 ※25mm・() スラットの材質 ※アルミニウム合金・() ヘッドボックス及びボトムレールの材質 ※鋼製・() 縦型ブラインド 幅() 高さ() 開閉方式() スラット幅()mm 操作方法 ※2本操作コード方式・() スラット・アルミスラット(焼付け塗装仕上げ)・クロススラット(防炎性能の特殊樹脂加工) | |
| | 20.2.13 ローラスクリーン | *操作方式() 幅()mm 高さ()mm *材料() 品質() その他() *巻取りパイプ、ウエイトバー、操作コード、又は操作チェーンその他材料 ※製造所の仕様による・() | |
| | 20.2.14 カーテン及びカーテンレール | *形式、付属金物等 種類 ○シングル・ダブル 形式・片引き ○両引き・() 開閉操作方法(手動) *きれ地 種別(シャーカーテン 品質(プリント) 特殊加工() その他() レール、ブラケット 強さによる区分 ※10-90・() カーテンレール 材料による区分 ※アルミニウム ※アルミニウム合金の押出し成型材 仕上げ ※アルマイト・() 形状 ※角形・() *工法 ひだの種類・フランスひだ・箱ひだ・つまひだ ○アブレーションひだ・片ひだ 暗幕用カーテンの重なり 両端 ※300mm以上・() 上部 ※300mm以上・() 召合せ ※300mm以上・() | |
| | 3節 ブレキャストコンクリート工事 | *補強鉄線の径 ※3.2mm以上・()mm | |
| | 20.3.2 材料 | *調合 コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満たす調合強度 | |
| | 20.3.3 製作 | *鉄筋の組立 配筋 ※配筋を定めた計算書による(監督職員へ提出する)・() *取付け方法 ※図示による・() | |
| | 20.3.4 養生その他 | | |
| | 4節 間知石、コンクリート間知B積 | *間知石 材質() | |
| | 20.4.2 材料 | *コンクリート間知ブロック 種類() 質量区分() *間知石積み 積み方 ※谷積み・布積み 目塗り() 伸縮調整目地 材質() 厚さ()mm | |
| | 20.4.3 工法 | *コンクリート間知ブロック積み 積み方 ※谷積み・布積み 目塗り() 伸縮調整目地 材質() 厚さ()mm | |
| | 3節 サイディング工事 | | |
| | 19.3.2 窯業系サイディング工事 | *材料 サイディング材 種類、形状、働き長さ・働き幅、厚さ、表面仕上げ、耐凍害性能及び防火・耐火性能 ※図示による・() 通気胴縁 樹種 ※杉 ※図示による・() 寸法 ※図示による・() 防腐処理 ○行う・行わない ○図示による *窯業系サイディングの張り方 ・縦張り・横張り ○図示による サイディングの取付け 建具上部で雨水の排水路を設ける箇所 ※図示による・() 換気口部の防水処理 ※19.3.2(c)(iii)①～④による ※図示による・() 換気口、接続パイプ及びパイプ受け ※19.3.2(c)(iii)④による ※図示による・() 金具留め工法の場合でVoが42m/sを超える地域での補強方法 ※図示による・() 現場塗装用サイディングで現場塗装を行う場合の下地処理及び仕上げ ※図示による・() シーリング材の目地寸法 ※幅10mm、深さ5mm(60分準耐火の場合は10mm以下) ※図示による・() | |
| | 19.3.3 複合金属サイディング工事 | *材料 サイディング 種類、形状、有効幅、長さ、厚さ、表面材・しん材の種類及び防火・耐火性能 ※図示による・() 通気胴縁 樹種 ※杉 ※図示による・() 寸法 ※図示による・() 防腐処理 ・行う・行わない ○図示による *複合金属サイディングの張り方 ・縦張り・横張り ○図示による | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|----------------------------------|--|--|----------------|
| 21章 舗装工事 | 3節 路盤 | | |
| | 22.3.2 路盤の構成及び仕上り | *路盤厚さ (100~200) | |
| | 22.3.3 材料 | *路盤材料 ※RC-40(透水性舗装除く)・C-40・CS-40・() | [表22.3.2] |
| | 4節 アスファルト舗装 | | |
| | 22.4.2 舗装の構成及び仕上り | *構成及び厚さ ※図示による・() *平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度・() | |
| | 22.4.4 配合その他 | *加熱アスファルト混合物等の種類(表層) ○密粒度アスファルト混合物(13)・細粒度アスファルト混合物(13) | [表22.4.4] |
| | 22.4.5 施工 | *シールコートの施工 ・行う ○行わない | |
| | 22.4.6 試験 | *アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない | |
| | 5節 コンクリート舗装 | | |
| | 22.5.2 舗装の構成及び仕上り | *構成及び厚さ ※図示による・() | |
| | 22.5.3 材料 | *設計基準強度、スランプ及び粗骨材の最大寸法 ※表22.5.1による・() *寒冷期の早強セメントの使用 ・する・しない 注入目地材 ※低弾性タイプ ¹⁾ ・高弾性タイプ ²⁾ [表22.5.2] | |
| | 22.5.4 施工 | *コンクリート版の目地の種類及び間隔 ※表22.5.3による・() 目地の構造 ※図22.5.1による・() | |
| | 6節 カラー舗装 | | |
| | 22.6.2 舗装の構成及び仕上り | *種類 ○加熱系・常温系 *加熱系カラー舗装 構成() 厚さ() 結合材の種類 ○アスファルト混合物・石油樹脂系混合物 *常温系カラー舗装 着色部の下部 ○アスファルト舗装・コンクリート舗装 | |
| | 22.6.3 材料 | *加熱系混合物に添加する材料 ○着色骨材()・自然石() | |
| | 22.6.4 配合その他 | *加熱系結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量() *ニート工法及び塗布工法の配合 () その他() | |
| | 22.6.5 施工 | *シールコートの施工 ・行う ○行わない | |
| | 22.6.6 試験 | *アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない | |
| | 7節 透水性アスファルト舗装 | | |
| 22.7.2 舗装の構成及び仕上り | *舗装構成 ※図示による・() 平坦性 ※著しい不陸がないこと・() | | |
| 22.7.5 施工 | *シールコートの施工 ・行う ○行わない | | |
| 8節 ブロック系舗装 | | | |
| 22.8.2 舗装の構成及び仕上り | *コンクリート平板舗装の目地材 ※砂・モルタル *舗石舗装の基層 ・アスファルト混合物 厚さ ※50mm・() ・コンクリート版 厚さ ※70mm・() | | |
| 22.8.3 材料 | *平坦性 ※平板等間の段差3mm以内・() *コンクリート平板 種類 ※N300・() 寸法・() *インターロッキングブロックの種類、形状、寸法、表面加工等 車道部 ※曲げ強度5.0N/mm ² の普通ブロック、厚さ80mm・() 歩道部 ※曲げ強度3.0N/mm ² の普通ブロック、厚さ60mm・() *舗装に用いる石材の種類、形状、寸法 *ジオテキスタイル ・適用する(品質) ・適用しない | | |
| 10節 砂利敷き | | | |
| 22.9.2 材料 | *種別 通路 ※A種・B種 建物周囲その他・A種 ※B種 | [表22.9.1] | |
| 22章 植栽工事 | | | |
| 【建築工事標準仕様書 23章による】 | | | |
| 1節 一般事項 | | | |
| 23.1.3 植栽地の確認等 | *土壌 水素イオン濃度試験 ・行う・行わない 電気伝導度試験 ・行う・行わない | | |
| 2節 植栽基盤 | | | |
| 23.2.2 植栽基盤一般 | *植栽基盤整備工法(芝及び地被類の植栽以外) ・適用する・適用しない *有効土層 整備面積 ※図示による・() 厚さ ※表23.2.1による・() *暗きよ、開きよ、排水層、縦穴排水等 ※設置しない・設置する(図示による) *植栽基盤整備工法の種別 樹木 ※A種・B種・C種・D種 芝、地被類 ・A種 ※B種・C種・D種 | [表23.2.2] | |
| 23.2.3 材料 | *土壌改良材の適用 ・有() ・無() *植込み用土 ・客土 ※現場発生土の良質土 *客土の材料(1m ² 当たり) さば土 0.84m ³ 雑物を含まない山さば土の良品 人工肥料 150kg 有機物(樹木の皮葉等)のものを換気発酵 固形肥料 1kg 窒素、りん酸、カリ肥料を6:4:3の割合としたもの | | |
| 3節 植樹 | | | |
| 23.3.2 材料 | *樹木の樹種、寸法、株立数、及び刈込みものの適用並びに数量 ※図示による・() *支柱材 ※丸太・() 丸太の防腐処理方法 ※加圧式防腐処理・() *幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら、こも | | |
| 23.3.3 新植の工法 | *支柱 ・添え柱形・鳥居形・ハツ掛け形・布掛け形・ワイヤ掛け形・地下埋設形 | | |
| 23.3.4 新植樹木の枯補償 | *新植樹木の枯補償期間 ※引渡日から1年間・() | | |
| 23.3.6 移植樹木の枯損処置 | *移植樹木の枯損処置期間 ※引渡日から1年間・() | | |
| 4節 芝張、吹付けは種、地被類 | | | |
| 23.4.2 材料 | *芝の種類 ※コウライシバの類・ノシバの類 *吹付けは種用種子 種類 ※洋芝類(23.4.2(c)(1)(ii)による)・() 量・() *地被類 樹種・() 芽立数・() コンテナ径・() コンテナ数・()/m ² | | |
| 23.4.3 芝張りの工法 | *芝張り工法 平地 ※目地張り・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り | | |
| 23.4.7 芝張等の枯補償 | *芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間 ※引渡日から1年間・() | | |
| 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | |
| | | 図面番号 | |
| 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | | 縮尺 | |
| | | No.A08 | |
| 検図 | 製図 | 設計 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |
| | | H29年3月 | |

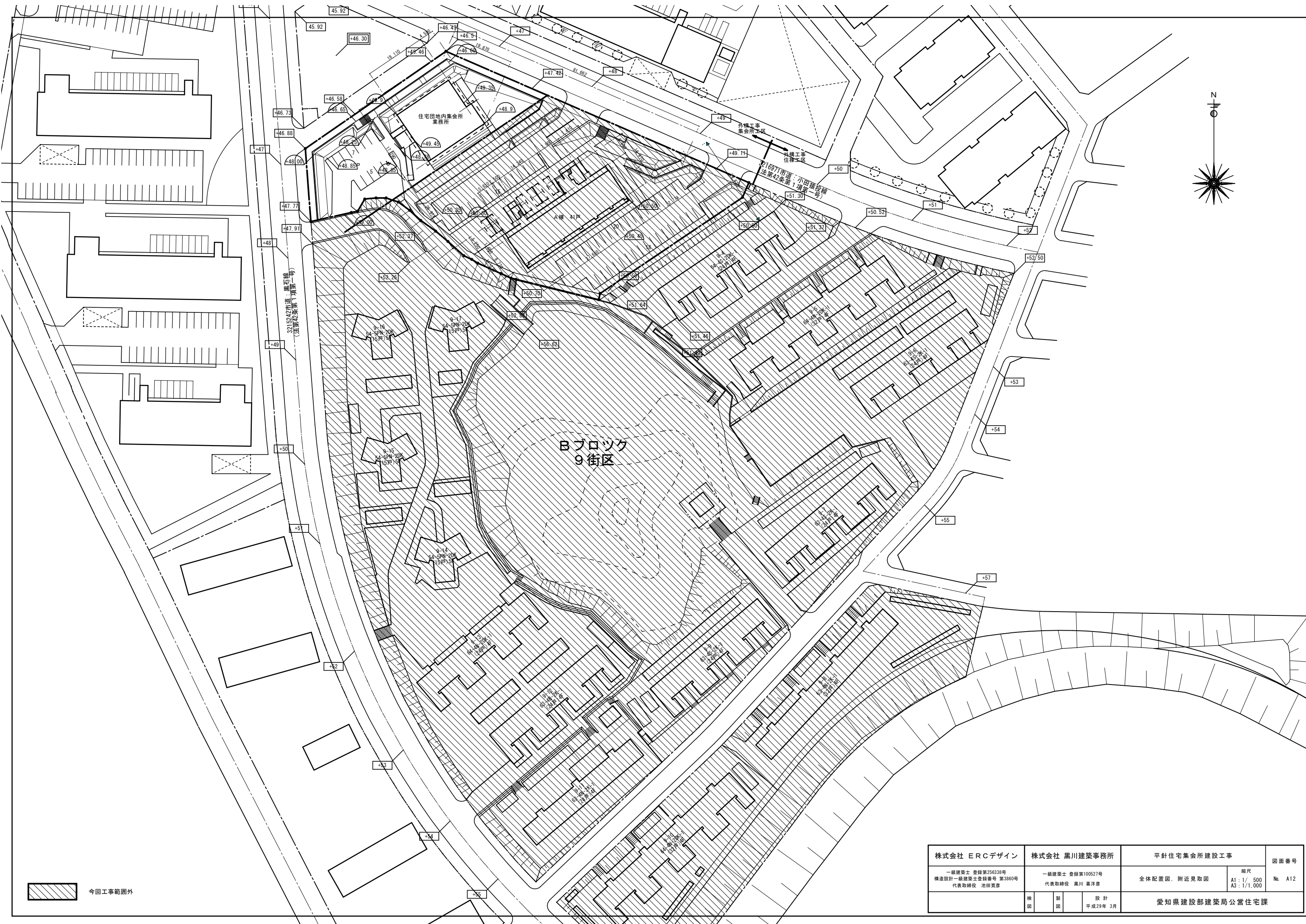
| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---------------|--|--|---------------------|--|-----------|----------------------------------|------|--|---------------------------------------|---|---------------|------|-------------|-----|--------|---------------|---------------|---------|---------------------------------------|-------------------------------|------|-------|---------------|---------------|-------------------|---|--------------|---------|----------|--|---------------|--|--------|-----------|-----|-------|---------------|---------------|---|---------|----------|-----|-------|---------------|---------------|---|----------|---------------------------------|--|--|---------------|---|------|--------------------------|--|--------|-------|-----|----------|------------|------------------------|---------------------|------------|------------------------|---------------|------------|------------------------|---------------|------------|------------------------|-----------|-----|-----|-------|---------------|---|---|-------------|-----|-----|-------|---------------|---|---|------|-----|-----|-------|---------------|---|---|------------|-----|-----|-------|---------------|---|---|-------------|-----|-----|-------|---------------|---|---|--|--|
| そ | 工事で使用する資材・機材 | <p>本工事に使用する資材・機材は、平成28年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各標準仕様書、本特記仕様書、並びに図面で指定された品質、性能を有するもののほか、以下のものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」により評価を受けた建築材料・設備機材等(以下「評価名簿掲載品」という)。ただし、評価書の「納入地区及びアフターサービス地区」に当該建築場所が含まれる場合に限る。 (一財)ベターリビングが認定した優良住宅部品(BL部品)。ただし、現場においてBLマーク表示が確認できるものに限る。 その他、各標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することが証明書等で確認でき、監督職員の承認を得られたもの。(定期的なメンテナンスが必要になる機材については、メンテナンス(アフターサービス)の体制についても監督職員に承諾が得られること。) <p>なお「評価名簿掲載品」は、(一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」の評価書の写しを提出することにより、その評価を受けたこと及びメンテナンスの体制があることについて証明することができる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 東洋ゴム化工品(株)及びニッタ化工品(株)で製造された製品・材料を用いる場合 | <p>受注者は、東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料(以下、ゴム製品等とする。)を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して請負者が指定した第三者(東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)と資本面・人事面で関係がない者)によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。</p> <p>なお必要な品質証明書は、以下の試験及び検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験名</th> <th>計測項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常状態での試験(常態試験)</td> <td>硬さ、比重、引張強度、伸び</td> </tr> <tr> <td>熱老化試験</td> <td>熱老化前後での変化率(硬さ、比重、引張強度、伸び)</td> </tr> <tr> <td>圧縮永久ひずみ試験</td> <td>圧縮による残留歪み</td> </tr> <tr> <td>製品検査</td> <td>外観、寸法、性能</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、第三者による品質証明書類を提出し監督職員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。</p> | 試験名 | 計測項目 | 通常状態での試験(常態試験) | 硬さ、比重、引張強度、伸び | 熱老化試験 | 熱老化前後での変化率(硬さ、比重、引張強度、伸び) | 圧縮永久ひずみ試験 | 圧縮による残留歪み | 製品検査 | 外観、寸法、性能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 試験名 | 計測項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通常状態での試験(常態試験) | 硬さ、比重、引張強度、伸び | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 熱老化試験 | 熱老化前後での変化率(硬さ、比重、引張強度、伸び) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 圧縮永久ひずみ試験 | 圧縮による残留歪み | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 製品検査 | 外観、寸法、性能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建築札 視覚障害者誘導ブロック | <p>* 設置する(材種 ※ 石類 ・ () 寸法 ・ 標準300×450 ・ ()) ・ 設置しない</p> <p>* 屋内 ※ 塩化ビニル製 ・ 磁器又はせり器質タイル ・ レジンコンクリート製 ・ ()</p> <p>* 屋外 ※ 磁器又はせり器質タイル、レジンコンクリート製 ・ ()</p> <p>* 突起の形状・寸法及び配列はJIS T 9251による。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| の | 化学物質を発生する建築材料等の使用制限の原則 | <p>本工事に使用する資材は、次の建築材料等の適正な選択による対策を講じること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレン(以下「ホルムアルデヒド等」という。)を発生する建築材料等の使用制限の原則 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材</td> <td>ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>② 家具、書架、実験台、その他の什器等</td> <td>①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</td> </tr> <tr> <td>③ ユリア樹脂板</td> <td>ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</td> </tr> <tr> <td>④ 壁紙</td> <td>ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥ 保温材、緩衝材、断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦ 塗料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧ 仕上塗材</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> トルエン、キシレン及びエチルベンゼン(以下「トルエン等」という。)を含有する塗料及び接着剤の使用制限の原則 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤</td> <td>トルエン等の含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>② 塗料</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノカルブ(以下「クロルピリホス等」という。)を含有する防腐・防蟻剤の使用制限 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤</td> <td>クロルピリホス等を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 可塑剤を使用している建築材料等の使用制限の原則 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 壁紙用接着剤</td> <td>フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>② 木工用接着剤</td> <td>フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。</td> </tr> </tbody> </table> | 対策をとる建築材料等 | 使用制限の原則 | ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材 | ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。 | ② 家具、書架、実験台、その他の什器等 | ①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。 | ③ ユリア樹脂板 | ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。 | ④ 壁紙 | ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。 | ⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤 | | ⑥ 保温材、緩衝材、断熱材 | | ⑦ 塗料 | | ⑧ 仕上塗材 | | 対策をとる建築材料等 | 使用制限の原則 | ① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤 | トルエン等の含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。 | ② 塗料 | | 対策をとる建築材料等 | 使用制限 | 木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤 | クロルピリホス等を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。 | 対策をとる建築材料等 | 使用制限の原則 | ① 壁紙用接着剤 | フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。 | ② 木工用接着剤 | フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 対策をとる建築材料等 | 使用制限の原則 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材 | ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 家具、書架、実験台、その他の什器等 | ①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ ユリア樹脂板 | ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 壁紙 | ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑥ 保温材、緩衝材、断熱材 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ 塗料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧ 仕上塗材 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対策をとる建築材料等 | 使用制限の原則 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤 | トルエン等の含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 塗料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対策をとる建築材料等 | 使用制限 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤 | クロルピリホス等を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対策をとる建築材料等 | 使用制限の原則 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 壁紙用接着剤 | フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 木工用接着剤 | フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| * 特定建設資材の再資源化等 | <p>建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「7解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等、受注者の責によるものではない事項については、この限りでない。また、受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。「再資源化等報告書」は、建設企画課のホームページhttp://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikakuから入手(注)別表4については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 他 | * 別表1 建築物に係る解体工事 | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内工 容程 方及毎 法 の 解 体 作 業 方 法 内</th> <th colspan="2">工 程</th> <th colspan="2">作業内容</th> <th colspan="2">分別・解体等の方法</th> </tr> <tr> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">・</td> <td>・ 建築設備、内装材等</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根ふき材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 外装材、上部構造部材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎、基礎ぐい</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ その他()</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> | 内工 容程 方及毎 法 の 解 体 作 業 方 法 内 | 工 程 | | 作業内容 | | 分別・解体等の方法 | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ 建築設備、内装材等 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 屋根ふき材 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 外装材、上部構造部材 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 基礎、基礎ぐい | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ その他() | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | * 別表2 建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替) | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 容程 及 び こ の 解 体 作 業 方 法 内</th> <th colspan="2">工 程</th> <th colspan="2">作業内容</th> <th colspan="2">分別・解体等の方法</th> </tr> <tr> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">・</td> <td>・ 造成等</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎、基礎ぐい</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 上部構造部分、外装</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 建築設備、内装等</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ その他(外構)</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> | 工 容程 及 び こ の 解 体 作 業 方 法 内 | 工 程 | | 作業内容 | | 分別・解体等の方法 | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ 造成等 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 基礎、基礎ぐい | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 上部構造部分、外装 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 屋根 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 建築設備、内装等 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ その他(外構) | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | |
| | 内工 容程 方及毎 法 の 解 体 作 業 方 法 内 | 工 程 | | 作業内容 | | 分別・解体等の方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ 建築設備、内装材等 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 屋根ふき材 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 外装材、上部構造部材 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 基礎、基礎ぐい | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ その他() | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工 容程 及 び こ の 解 体 作 業 方 法 内 | 工 程 | | 作業内容 | | 分別・解体等の方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ 造成等 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 基礎、基礎ぐい | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 上部構造部分、外装 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 屋根 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 建築設備、内装等 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ その他(外構) | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| * 別表3 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(外構・工作物等) | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">容工 及程 解の 体作 業方 法内</th> <th colspan="2">工 程</th> <th colspan="2">作業内容</th> <th colspan="2">分別・解体等の方法</th> </tr> <tr> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> <th>・</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">・</td> <td>・ 仮設</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 土工</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 本体工事</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 本体付属品</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ その他()</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td>・ 手作業と機械作業の併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> | 容工 及程 解の 体作 業方 法内 | 工 程 | | 作業内容 | | 分別・解体等の方法 | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ 仮設 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 土工 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 基礎 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 本体工事 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ 本体付属品 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | ・ その他() | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | * 別表4 再資源化等をする施設の名称及び所在地 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>廃棄物の種類</th> <th>施設の名称</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ コンクリート</td> <td>サンケン起工株式会社</td> <td>愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄及びコンクリートから成る建設資材</td> <td>サンケン起工株式会社</td> <td>愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393</td> </tr> <tr> <td>・ スラット・コンクリート</td> <td>サンケン起工株式会社</td> <td>愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393</td> </tr> <tr> <td>・ 木材</td> <td>サンケン起工株式会社</td> <td>愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393</td> </tr> </tbody> </table> | 廃棄物の種類 | 施設の名称 | 所在地 | ・ コンクリート | サンケン起工株式会社 | 愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393 | ・ 鉄及びコンクリートから成る建設資材 | サンケン起工株式会社 | 愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393 | ・ スラット・コンクリート | サンケン起工株式会社 | 愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393 | ・ 木材 | サンケン起工株式会社 | 愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 容工 及程 解の 体作 業方 法内 | 工 程 | | 作業内容 | | 分別・解体等の方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ 仮設 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 土工 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 基礎 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 本体工事 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 本体付属品 | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ その他() | ・ 有 | ・ 無 | ・ 手作業 | ・ 手作業と機械作業の併用 | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 廃棄物の種類 | 施設の名称 | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ コンクリート | サンケン起工株式会社 | 愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 鉄及びコンクリートから成る建設資材 | サンケン起工株式会社 | 愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ スラット・コンクリート | サンケン起工株式会社 | 愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 木材 | サンケン起工株式会社 | 愛知県東郷町大字春木字新地3922番地393 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 |
|---|---------------------------------|-------------|------------------|
| 他 | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | 図面番号 |
| | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜彦 | 木造工事特記仕様書 9 | 縮尺 No.A09 |
| | 検 図 | 製 図 | 設 計 H29年3月 |

(選択)

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 | | |
|---|---|--|-----------------------------------|------------|--|
| 6章 | 軸組構法(軸構造系)工事 2節 材料 6.2.2 木材 *集成材 | * 構造材の種類 適用箇所 | | | |
| | | 構造用集成材 | | | |
| | | 化粧ばり構造用集成材 | | | |
| | | 構造材の種類 樹種 寸法 強度等級 材面品質 接着性能 化粧薄板厚さ | | | |
| | | 構造用集成材 | | | |
| | | 化粧ばり構造用集成材 | | | |
| | | * 構造用単板積層材 | * 単板積層材のJAS 第4条「構造用単板積層材の規格」による製材 | | |
| | | 使用箇所 等級 接着性能 樹種 寸法 厚さ 曲げヤング係数 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 6章 | * 製材 | * 製材の種類 適用箇所 | | | |
| | | 目視等級区分構造用製材 | | | |
| | | 機械等級区分構造用製材 | | | |
| | | 大臣指定の基準強度指定製材 | | | |
| | | 広葉樹製材 | | | |
| | | 無等級材 | | | |
| | | 製材の種類 樹種 寸法 含水率 等級 (構造材種類、材面品質等) | | | |
| | | 目視等級区分構造用製材 | 桧 | | |
| | | 機械等級区分構造用製材 | 桧 | (曲げ) | |
| | | 大臣指定の基準強度指定製材 | — | — | |
| 広葉樹製材 | | | | | |
| 無等級材 | 桧 | — | | | |
| 基準強度測定の対象部材(広葉樹製材、無等級材) | () | | | | |
| 機械等級区分構造用製材 | 見え掛り部に用いる場合 節、丸身、貫通割れ、曲がりの規定、等級等 ※ 機械等級区分構造用製材の規格による 適用しない () | | | | |
| 6章 | * 枠組壁工法 構造用製材 | * 枠組壁工法構造用製材 #JASは「枠組壁工法構造用製材の日本農林規格」 | | | |
| | | 製材の種類 適用箇所 | | | |
| | | 甲種枠組材 | | | |
| | | 乙種枠組材 | | | |
| | | MSR枠組材 | | | |
| | | 大臣指定の基準強度指定MSR枠組材 | | | |
| | | 製材の種類 樹種又は樹種群 寸法型式 等級 含水率 | | | |
| | | 甲種枠組材 | | — | |
| | | 乙種枠組材 | | — | |
| | | MSR枠組材 | | — | |
| 大臣指定の基準強度指定MSR枠組材 | — | — | | | |
| 6章 | * 枠組壁工法 構造用たて継ぎ材 | * 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 #JASは「枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」 | | | |
| | | 製材の種類 適用箇所 | | | |
| | | 甲種たて継ぎ材 | | | |
| | | 乙種たて継ぎ材 | | | |
| | | 大臣指定の基準強度指定たて継ぎ材 | | | |
| | | 製材の種類 樹種又は樹種群 寸法型式 等級 含水率 | | | |
| | | 甲種たて継ぎ材 | | — | |
| | | 乙種たて継ぎ材 | | — | |
| | | 大臣指定の基準強度指定たて継ぎ材 | — | — | |
| | | | | | |
| 6章 | * その他 | * 木質接着成形軸材料、木質複合軸材料、木質断熱複合パネル、木質接着複合パネル | | | |
| | | 材料名 適用箇所 形状 寸法 含水率 | | | |
| | | 木質接着成形軸材料 | | | |
| | | 木質複合軸材料 | | | |
| | | 木質断熱複合パネル | | | |
| | | 木質接着複合パネル | | | |
| | | 6章 | 6.2.3 構造用面材 | * 構造用面材 | |
| | | | | 面材の種類 適用箇所 | |
| | | | | 構造用合板 | |
| | | | | パーティクルボード | |
| 構造用パネル | | | | | |
| 面材の種類 等級 接着の程度 表板の樹種 板面の品質 厚さ 防虫処理 強度等級 | | | | | |
| 構造用合板 | | | | | |
| 面材の種類 表裏面状態区分 曲げ強さ区分 接着剤区分 難燃性区分 厚さ | | | | | |
| パーティクルボード | | | | | |
| 面材の種類 等級 厚さ | | | | | |
| 構造用パネル | | | | | |
| 6章 | 6.2.4 接合金物・接合具等 | * 接合金物 | | | |
| | | 接合金物の種類 適用箇所 | | | |
| | | 6.2.4(a)(i)によるもの | | | |
| | | 6.2.4(a)(ii)によるもの | | | |
| | | 6.2.4(a)(iii)によるもの | | | |
| | | 6.2.4(a)(i)による場合 製作接合金物の寸法、形状、鋼材の材質、表面処理 ※ 図示による () | | | |
| | | 直接雨にさらされる接合金物の材質 ※ ステンレス () | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 備考 | |
|--------------|--|---|---|--------------|
| 6章 | * 釘及び木ねじ | 適用箇所 材質 寸法 形状 | | |
| | | 6.2.4(b)(1)~(3)以外のコンクリート用釘 | | |
| | | 6.2.4(b)(1)~(3)以外のその他の特殊な釘 | | |
| | | 6.2.4(b)(1)~(3)以外のその他の木ねじ | | |
| | | * ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 [※ 6.2.4(a)(ii)又は(iii)による () 図示による () ・ 6.2.4(c)(ii)による (ボルト、ナットの材料 ※表6.2.2 ()) (座金の種別 ※ 図示による ()) | | |
| | | * 6.2.4(a)(ii)又は(iii)以外のラグスクリュー 形状 () 図示による 寸法等 () 図示による | | |
| | | * ドリフトピン 形状 () 図示による 寸法等 () 図示による | | |
| | | * 木栓及び木だぼ 樹種 () 図示による 形状、長さ等 () 図示による | | |
| | | * 接着剤 床鳴り防止用接着剤 適用する(種類:) 適用しない () 接着剤による接合及び接着剤を併用した接合 適用する(種類:) 適用しない () | | |
| | | 4節 木材の加工 | | |
| 6.4.2 現寸図 | * 床書き現寸図の作成 ・行う ※ 行わない () 図示による () | | | |
| 6.4.5 孔あけ加工 | * ボルト孔の径 ※ 表6.4.1による () | | | |
| 6.4.6 表面の仕上げ | * ドリフトピンの孔径 ※ ピン径と同径 () * 集成材 見え掛り面の仕上げ程度 ・ A種 ※ B種 [表6.4.2] * 製材 見え掛り面の表面仕上げ程度 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.4.3] 手加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.4.4] * 木材保護塗料塗り 適用種別 ・ A種 ※ B種 ・ 適用しない [建築工事標準仕様書 表18.14.1] | | | |
| 6章 | 5節 搬入及び建方 | 6.5.3 アンカーボルトの埋込み | * アンカーボルトの埋込み深さ () 図示による () * アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・ A種 ・ B種 [表6.5.1] アンカーボルトの埋込み位置の許容誤差 ※ ±5mm () | |
| | | 6.5.4 基礎天端 均しモルタルの仕上げ | * 基礎天端及び柱底均しモルタル 無収縮モルタル () 使用する () 使用しない () モルタルの厚さ (10) 図示による () 柱底均しモルタルの工法 ・ A種 ※ B種 [表6.5.2] | |
| | | 6.5.7 建方精度 | * 建入れ直し後の建方精度の許容値 ※ 垂直、水平の誤差の範囲 1/1000以下 () | |
| | | 6.5.8 接合部の工法 | * 構造材を接合する釘及び木ねじの種類、本数、間隔 ※ 図示による | |
| | | 釘 | 適用箇所 本数 間隔 | |
| | | 木ねじ | | |
| | | 6.5.10 釘及び木ねじの工法 | * 部位ごとの釘の種類及び釘打ちの間隔 ※ 図示による | |
| | | 部位 | 種類 間隔 | |
| | | | | |
| | | | | |
| 6章 | 6.5.11 各種ボルトの工法 | * 構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち方法 ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し | | |
| | | * ボルトの種類、径、本数、間隔及びボルトに応じた座金の大きさ等 ※ 図示による | | |
| | | 箇所 ボルト種類 径 本数 間隔 座金の大きさ | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 6章 | 6.5.12 ラグスクリューの工法 | * ラグスクリュー 形状 () ※ 図示による 寸法 () ※ 図示による | | |
| | | 6.5.13 ドリフトピンの工法 | * ドリフトピン 径 () ※ 図示による | |
| | | 6.5.14 木だぼの工法 | * 木だぼ 径 () ※ 図示による | |
| | | 6.5.15 輪型ジベル接合 | | |
| | | 6.5.16 圧入型ジベル接合 | | |
| | | 種類 材質 形状 寸法 その他 | | |
| | | 輪型ジベル | | |
| | | 圧入型ジベル | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 6章 | 6節 軸組 * 部材の種類等 | * ※ 図示による | | |
| | | 部材の種類 土台 火打土台(木製) | | |
| | | 樹種 | | |
| | | 断面寸法 | | |
| | | 部材の種類 柱 隅柱 通し柱 | | |
| | | 樹種 | | |
| | | 断面寸法 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 6章 | 6.6.1 土台 6.6.2 火打土台 | * 仕口及び継手の形状並びに位置 () ※ 図示による | | |
| | | * 火打土台の材種 () 鋼製 () 図示による | | |
| | | 木材の場合 土台と仕口の形状 () ※ 図示による | | |
| | | 留付け釘の種類及び留付け方法 () ※ 図示による | | |
| | | 6.6.3 柱 | * 仕口の形状 ※ 図示による () | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | 図面番号 |
| | | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 木造工事特記仕様書 10 | 縮尺 No.A10 |
| 検 図 | 製 図 | 設 計 H29年3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |



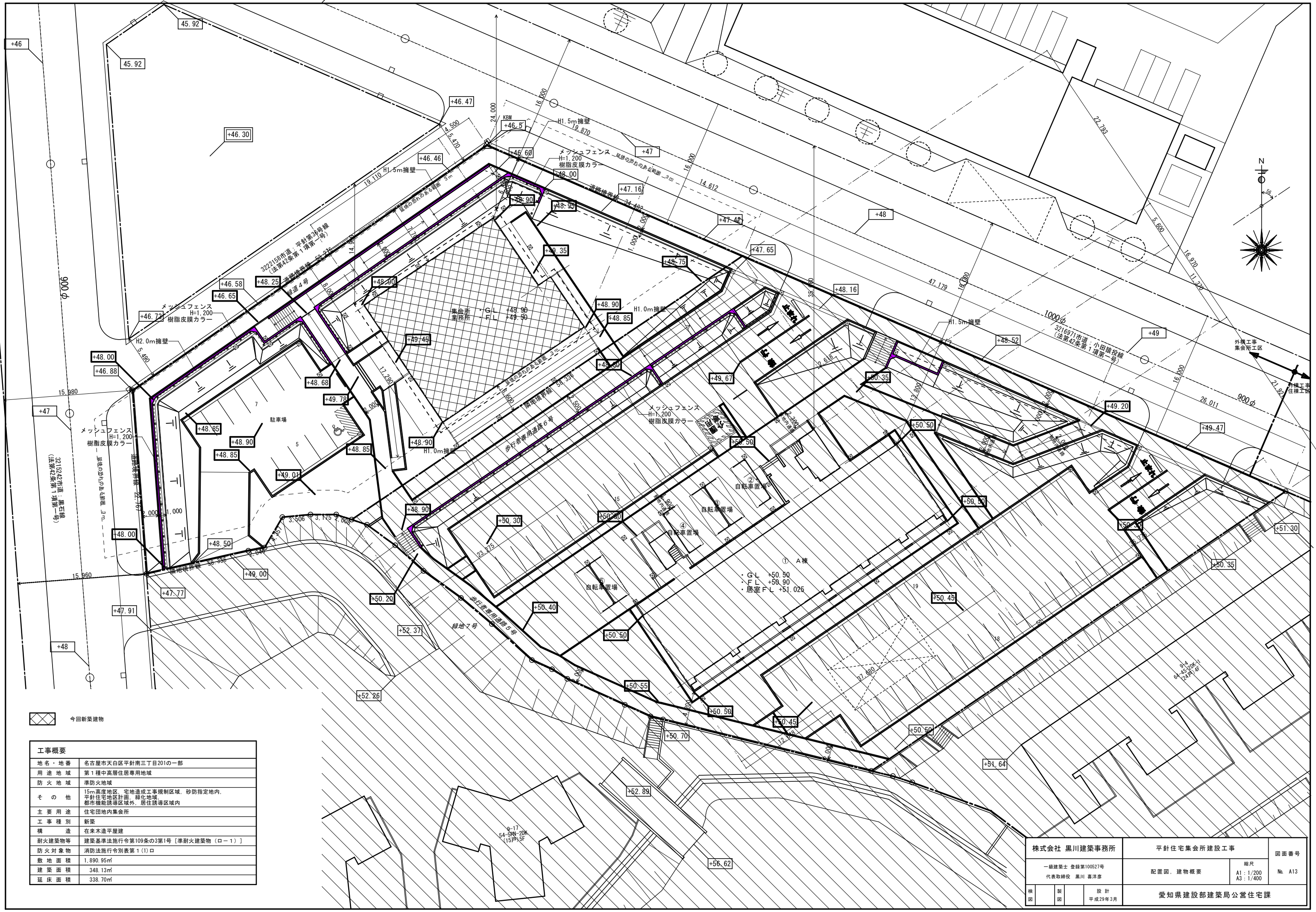
3215242市道：黒石線
(法第42条第1項第1号)

3216971市道：小田原線
(法第42条第1項第1号)

Bブロック
9街区

今回工事範囲外

| | | | |
|--|--|-----------------------------------|-----------------|
| 株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦 | 株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 平針住宅集会所建設工事 全体配置図、附近見取図 | 図面番号 No. A12 |
| | | 縮尺 A1 : 1/ 500 A3 : 1/1,000 | |
| | | 設計 平成29年 3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |



今回新築建物

| 工事概要 | |
|--------|---|
| 地名・地番 | 名古屋市天白区平針南三丁目201の一部 |
| 用途地域 | 第1種中高層住居専用地域 |
| 防火地域 | 準防火地域 |
| その他 | 15m高度地区、宅地造成工事規制区域、砂防指定地内、平針住宅地区計画、緑化地域、都市機能誘導区域外、居住誘導区域内 |
| 主要用途 | 住宅団地内集会所 |
| 工事種別 | 新築 |
| 構造 | 在来木造平屋建 |
| 耐火建築物等 | 建築基準法施行令第109条の3第1号 [準耐火建築物 (ロ-1)] |
| 防火対象物 | 消防法施行令第1(1)ロ |
| 敷地面積 | 1,890.95㎡ |
| 建築面積 | 348.13㎡ |
| 延床面積 | 338.70㎡ |

① A棟
 ・G.L +50.50
 ・F.L +50.90
 ・居室F.L +51.025

| | | | | |
|------------------|-----|----------------|--|------------------------|
| 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第100527号 | | 配置図、建物概要 | | 縮尺 |
| 代表取締役 黒川 善洋彦 | | | | A1: 1/200 A3: 1/400 |
| No. | A13 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | |

| 外部仕上表 [準耐火建築物(ロ-1)] | | | |
|---------------------|---|------|--|
| 外壁 (屋根下地まで張上げ) | 【構造】木造：耐火構造：法第2条第七号。[H12.5.30]建設省告示第1399号 | 種 | 軒種：塩ビ角種W=150 壁種：カラー塩ビ管 VPφ75 |
| | 【仕上】防火構造用サイディング板(窯業系)7=16 横張(通気工法)塗装品 | | 北3本、西1本、東1本の計5本は、土間天+1,800まで養生管(SUS管)付 |
| | 【外側下地】強化石膏ボードGB-F(V)[ひる石入]防水タイプ 7=21×2 [NM-1498] 【内側下地】強化石膏ボードGB-F(V)[ひる石入] 7=21×2 [NM-8615] | | 襖み金物：ステンレス製(φ1200程度ずれ防止共) |
| 巾木 | モルタル金ゴテ仕上 7=20 | 開口部 | 住宅用アルミサッシ(標準色) Low-E複層ガラス |
| 屋根 | 【構造】木造：不燃材料：法第2条第九項。[H12.5.30]建設省告示第1400号 | 館名文字 | ステンレス箱文字(HL仕上) AR緑書体M |
| | 【仕上】陶器引掛板瓦葺き | | 平針住宅集会所(7文字 200×200×15 PL-0.5加工) 西側壁面設置 |
| | 【下地】耐火野地板：硬質木片セメント板 7=25 アスファルトルーフィング940 | | 平針住宅集会所(7文字 80×80×10 PL-0.5加工) 業務所入口壁面設置 |
| | 【仕上】カラーガルバリウム 7=0.4 タテ置き アスファルトルーフィング940 【下地】耐火野地板：複合板 7=40(木毛/木片板 7=25+木毛/木片吸音板 7=15) | | |
| 軒裏 | 無石棉ケイ酸カルシウム板 7=6 目透かし貼 EP塗装一部有孔板 | | |

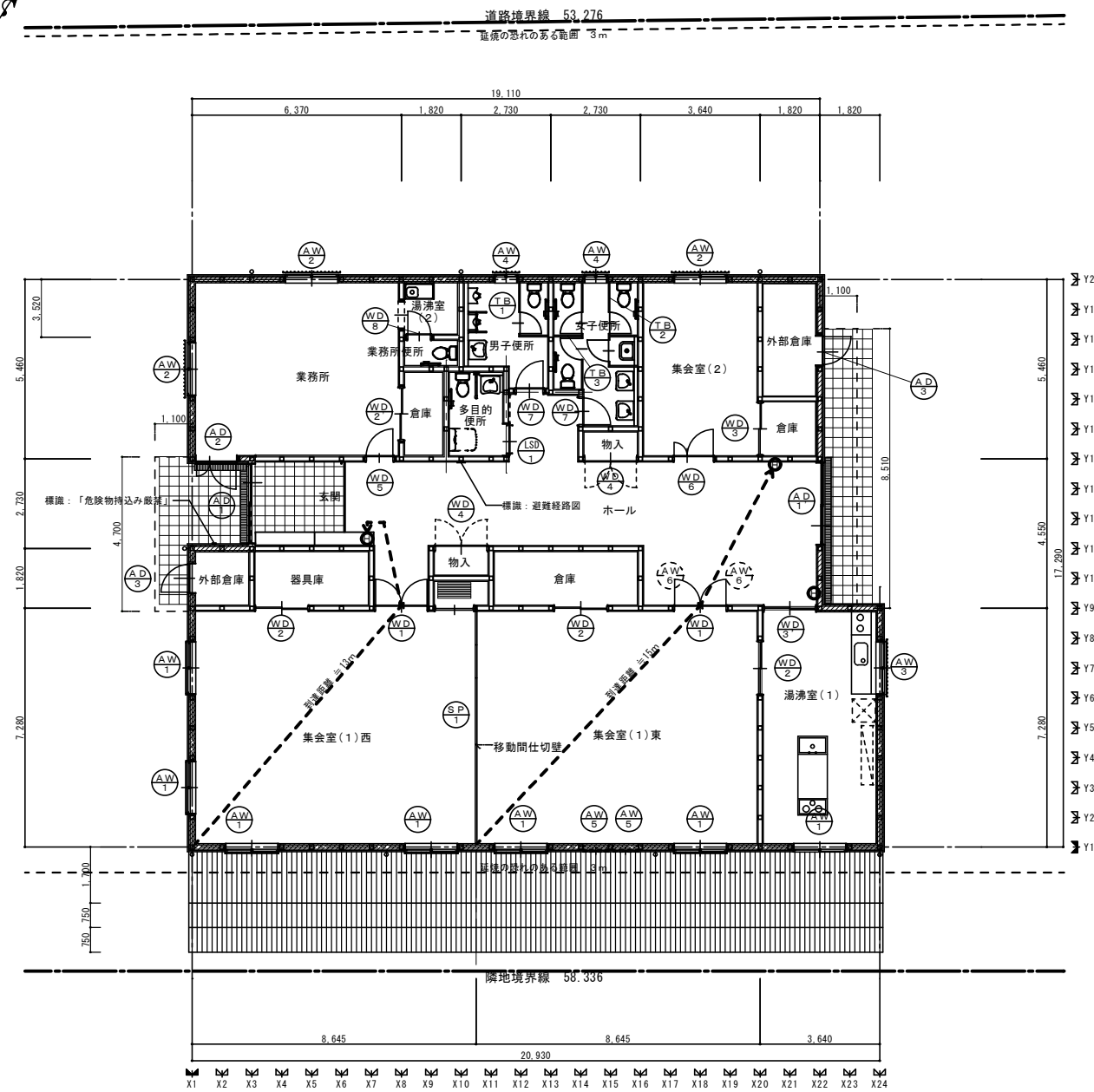
| 内部仕上表 | | | | | | | |
|--------------|--|-------------------|---|--|--|------------------------|---|
| 室名 | 床 | 巾木 | 壁 | | 天井 | 天井高 廻り縁 | 備考 |
| | | | 腰部 | 腰上 | | | |
| 玄関 | 磁器質タイル 300角(屋外用)、床見切：ステンレス W=40 モルタル下地 t=30 | タモ集成材 CL H=100 | 杉集成小巾板張 7=12 CL 本実加工 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 PB 7=12.5 下地 | 岩綿吸音板貼 7=9 PB 7=9.5 捨張下地 | H=2.500 塩ビ見切 | 下駄箱 W3600×H1800×D400 (消火器(ABC10型)置場付) 木製I型手摺 L=600 34φ |
| ホール | ビニル床タイル貼 t=3.0(木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 厚12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | 杉集成小巾板張 7=12 CL 本実加工 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 PB 7=12.5 下地 | 岩綿吸音板貼 7=9 一部化粧梁(構造用集成材) PB 7=9.5 捨張下地 吹抜部 杉径単板合板 7=6 目透し貼 | H=2.500, 3.300 塩ビ見切 | 避難経路図、火気厳禁ステッカー、ピクチャーレール 掲示板：1200×900(マグネット、面紙併用) |
| 集会室(1) | ビニル床タイル貼 t=3.0(木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | 杉集成小巾板張 7=12 CL 本実加工 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 PB 7=12.5 下地 | 岩綿吸音板貼 7=9 一部化粧梁(構造用集成材) PB 7=9.5 捨張下地 | H=2.700 塩ビ見切 | 室名札、約イボド：2100×1200、掲示板：1200×900(マグネット、面紙併用)、ピクチャーレール 木製カーテンボックス(露出)カーテンレール、ACスリーブ・カバープレート(機械) 天井点検口 |
| 器具庫 | ビニル床タイル貼 t=3.0(木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | シナ合板 7=5.5 | ／ | 化粧PB 7=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.700 塩ビ見切 | 天井点検口 |
| 倉庫 | ビニル床タイル貼 t=3.0(木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | シナ合板 7=5.5 | ／ | 化粧PB 7=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.700 塩ビ見切 | |
| 可動間仕切 収納庫 | ビニル床タイル貼 t=3.0(木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 PB 7=12.5 下地 | ／ | 岩綿吸音板貼 7=9 一部化粧梁(構造用集成材) PB 7=9.5 捨張下地 | H=2.700 塩ビ見切 | |
| 集会室(2) | ビニル床タイル貼 t=3.0(木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 PB 7=12.5 下地 | ／ | 岩綿吸音板貼 7=9 PB 7=9.5 捨張下地 | H=2.500 塩ビ見切 | 天井点検口 |
| 倉庫 | ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | シナ合板 7=5.5 | ／ | 化粧PB 7=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.500 塩ビ見切 | |
| 湯沸室(1) | ビニル床タイル貼 t=3.0(木目調) 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 一部不燃物材貼 7=3.0 不燃(個) NM-2183号 耐水PB t=12.5下地 | ／ | 化粧PB 7=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.400 塩ビ見切 | 室名札、流し台(1型L=1800)、コンロ台(L=600、約イボド)付、吊戸棚(1型L=1800)、 スリル製水切棚 W=900、スリル水切、床下点検口 600角、消火器(フックバンド付) 調理実習台(900×2400)、ACスリーブ・カバープレート(機械)、天井点検口 |
| 男子便所 | ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 耐水PB t=12.5下地 | ／ | 化粧PB 7=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.500 塩ビ見切 | ピクトサイン、紙巻器(機械)、L型手摺(700×700)、小便器用手摺、鏡(360×900)、 トイレブース、面台：メラミン、床下点検口 600角 |
| 女子便所 | ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 耐水PB 7=12.5 下地 | ／ | 化粧PB 7=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.500 塩ビ見切 | ピクトサイン、紙巻器(機械)、L型手摺(700×700)、鏡(360×900)、 トイレブース、面台：メラミン、棚板、床下点検口 600角 |
| 多目的便所 | ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 耐水PB 7=12.5 下地 | ／ | 化粧PB 7=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.500 塩ビ見切 | ピクトサイン、紙巻器(機械)、L型手摺(700×700)、可動手摺(跳ね上げ式)、 面台：メラミン、開閉式ペーパーベットの(機械)、呼出ボタン(電気)、床下点検口 600角 |
| 物入 | ビニル床タイル貼 t=3.0(木目調) 構造用合板 厚28 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 PB 7=12.5下地 | ／ | 化粧PB t=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.500 塩ビ見切 | |
| 業務所 | ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 PB 7=12.5下地 ホールに面する壁は、PB 7=12.5+12.5 下地 | ／ | 岩綿吸音板貼 7=9 PB 7=9.5 捨張下地 | H=2.500 塩ビ見切 | 室名札、木製カーテンボックス(埋込)、カーテンレール(W)、ACスリーブ・カバープレート(機械) 室内固定換気レジスター(150φ、スリル防虫網付、屋外スリルロード)(機械)、天井点検口 |
| 湯沸室(2) | ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 耐水PB 7=12.5 下地 男子便所に面する壁は、PB 7=12.5+耐水PB 12.5 下地 | ／ | 化粧PB 7=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.500 塩ビ見切 | ミニキッチン L=900(扉タイプ)、紙巻器(機械)、L型手摺(700×700)、棚板、床下点検口 600角 |
| 倉庫 | ビニル床シート貼 7=2.8 構造用合板 厚28 耐水合板 7=12 下地 | タモ集成材 CL H=100 | ビニルクロス貼【A】 準不燃(個) QM-0803号 PB 7=12.5下地 多目的便所に面する壁は、PB 7=12.5+12.5 下地 | ／ | 化粧PB 7=9.5(ジブトーン) 準不燃(個) QM-0524号 | H=2.500 塩ビ見切 | |
| 外部倉庫 | 防水モルタル金ゴテ仕上 | タモ集成材 CL H=100 | 無石棉ケイ酸カルシウム板 7=6 EP塗装 目透かし張り | ／ | 無石棉ケイ酸カルシウム板 7=6 目透かし貼 EP塗装 | H=2.550 塩ビ見切 | |

| 特記事項 | | | |
|---|--|--|--|
| ・コンクリートに接する木材は防腐剤2回塗とする事。 ・工場処理かつクワロルピリホスの添加されていないものを使用する。 | ・木部見掛面は、CL仕上とする。 ・木材の工事現場運搬時における含水率は、12.2.1表とする。 | ・屋根瓦・磁器質タイルは愛知県産材を使用のこと。 ・特記なき造作材・腰板は集成材とする。 | ・原則として構造材及び内装材(杉、桧他)で扱う無垢材、仕上板等の見掛り部分については愛知県産材(愛知県内で伐採された原木又はその原木を加工した製材等の木材)とする。又、愛知県産材であることを証明する書類として、納入業者から建設業者宛の県産材証明書等を監督職員に提出すること。ただし、構造集成材については、この限りでない。 |
| ・ビニルクロス下地のPBは、テーパーボードとする。 ・吊戸棚、トイレ便座等に涙目戸当り取り付けとする。 | ・壁下地の胴縁は杉21×42 横φ303、縦φ455程度とする。 ・仕上材、塗材、接着材、建具、流し台、吊戸棚は全てF☆☆☆☆とする。 | ・床面から高さ1m以内の外壁の軸組及び土台は防腐・防蟻処理を施すこと。 ・建具UC塗装2回塗りとする。 | ・特に定めのない項目については、「木造建築工事標準仕様書 平成28年版」によるか、監督職員との協議による。 |
| ・特記無き限り、合板はラワン合板I型とする。 ・ビニル床シートはワックス1回塗とする。 | ・小屋裏に用いる合板は全てF☆☆☆☆以上とする。 ・化粧鏡は厚5.0φ1/1付付とする。 | ・木部見え掛り面はかな仕上りとし、仕上げの程度はA種(12.1.1表)とする。 ・ピクチャーレールはフック(2個/m)、チェーン(又はワイヤー)付とする。 | |
| ・本工事は、国土交通大臣官庁「木造建築工事標準仕様書(平成28年版)」を適用する。 | ・ビニル床シートは抗菌性発泡層付複層ビニル床シートとする。 | | |

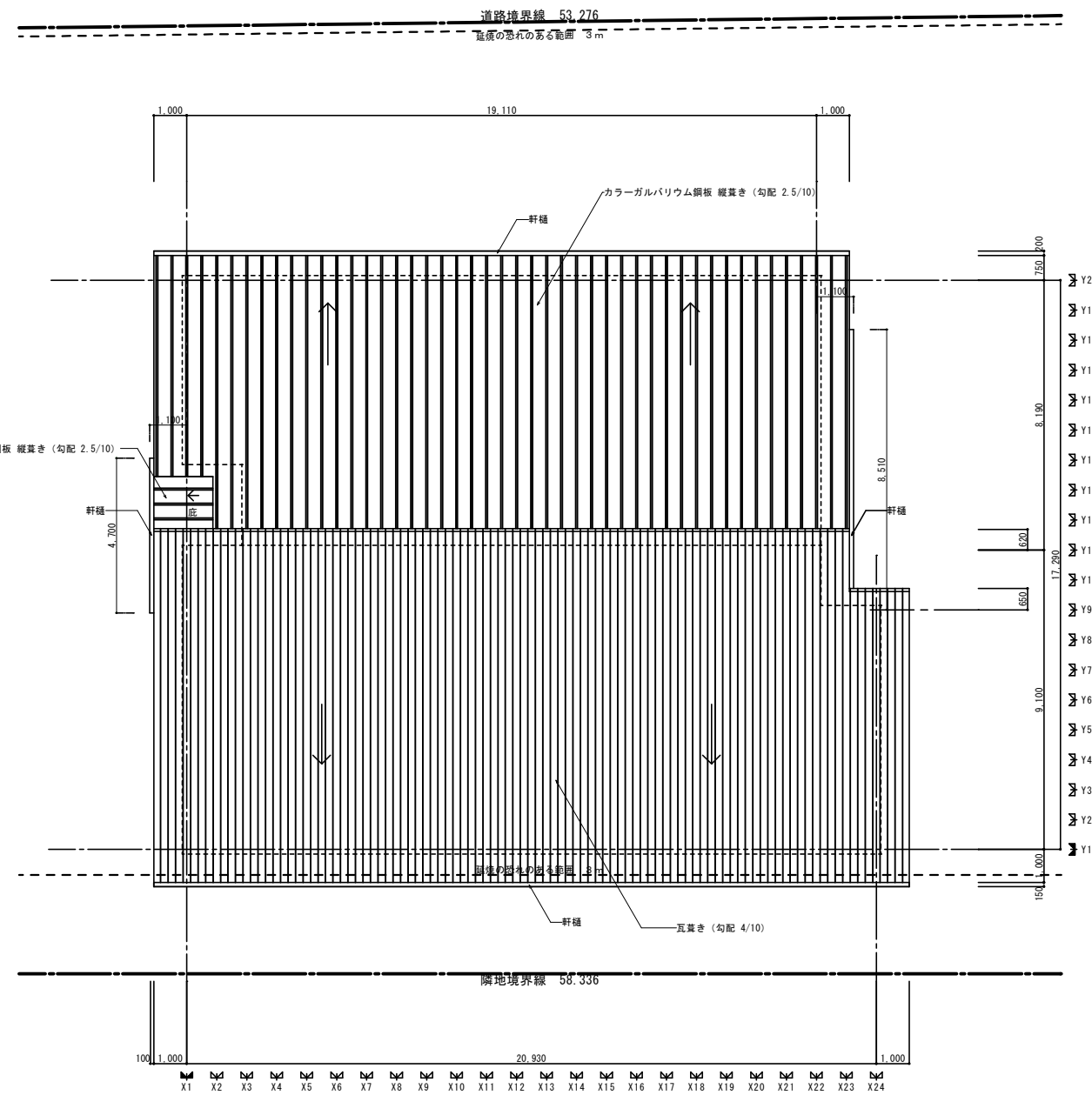
| 凡例 | | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------|--|----------------|-----|--------------|-----|----------------|----|---------|--|-------|-----|----|
| | コンクリート | | 天井点検口 床下点検口 | SOP | 合成樹脂調合ペイント | CB | コンクリートブロック | SD | スチール扉 | | 建具記号 | d・t | 厚さ |
| | 木造 | | 床高さ(各ラインより) | EP | 合成樹脂エポキシ樹脂塗料 | FP板 | 押出法*スリルフォーム保温板 | AW | アルミ製窓 | | | L | 長さ |
| | 断熱材(グラスウール) | | 壁種 | OS | オイルステイン | LGS | 軽量鉄骨下地 | AD | アルミ製扉 | | 展開図案内 | W | 幅 |
| | 断熱材(スリルフォーム) | | ルーフトドレン | CL | クリアラッカー | PS | バイブスペース | AG | アルミ製ガラリ | | | φ | 直径 |
| | 砕石 | | フロアドレン・中継ドレン | UC | ウレタン樹脂ワニス塗 | | | WD | 木製扉 | | | r | 半径 |
| | コンクリートブロック | | | | | | | F | 襖 | | | | |
| | 木造1時間耐火構造(外壁) | | ポリサルファイド系シーリング | | | | | DC | ドアクローザー | | | | |

耐火仕様
法第2条第七号
[H12.5.30]建設省告示第1399号

| | | | | |
|----------------------------------|----|---------------|--|---------|
| 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦 | | 仕上表 | | No. A14 |
| 提出 | 製図 | 設計 平成29年3月 | | |

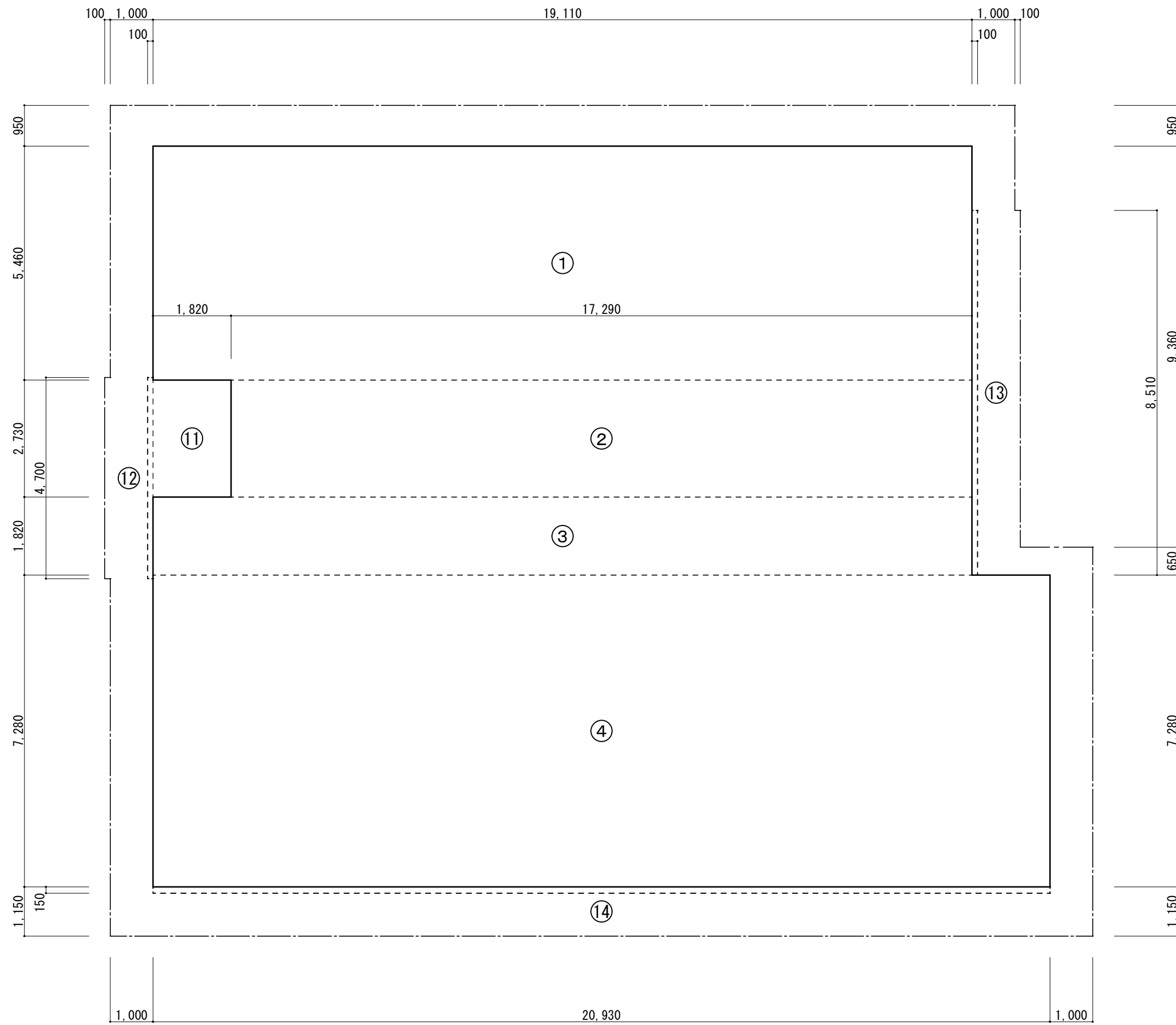


1階平面図 消火器 (ABC-10)



屋根伏図

| | | | | |
|----------------------------------|----|-------------|------------------------------|---------|
| 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | | 平面図、屋根伏図 | 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200 | No. A15 |
| 検出 | 製図 | 設計 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |
| | | 平成29年 3月 | | |



求積計算

- ① : $19.11 \times 5.46 = 104.341$
- ② : $17.29 \times 2.73 = 47.202$
- ③ : $19.11 \times 1.82 = 34.781$
- ④ : $20.93 \times 7.28 = 152.371$
- ⑪ : $1.82 \times 2.73 = 4.969$
- ⑫ : $0.10 \times 4.70 = 0.470$
- ⑬ : $0.10 \times 8.51 = 0.851$
- ⑭ : $20.93 \times 0.15 = 3.140$

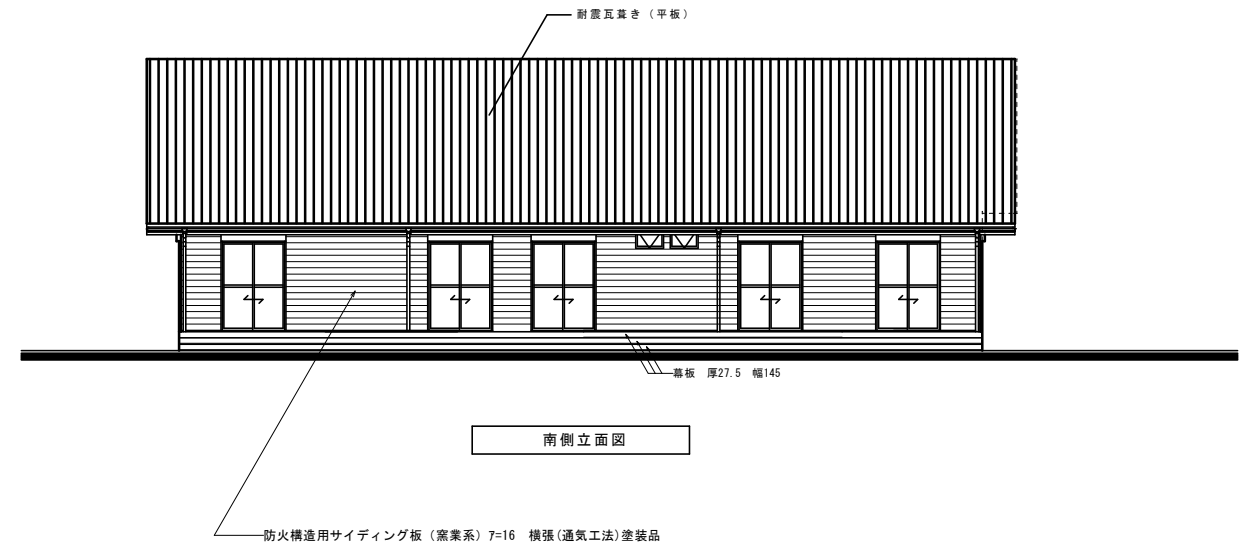
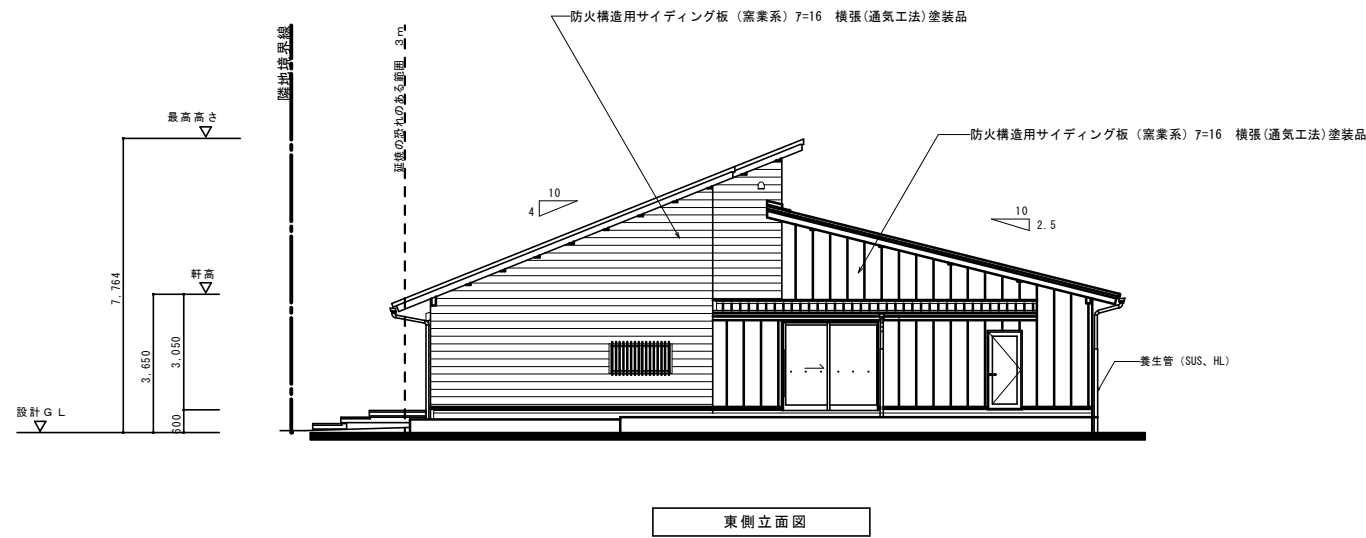
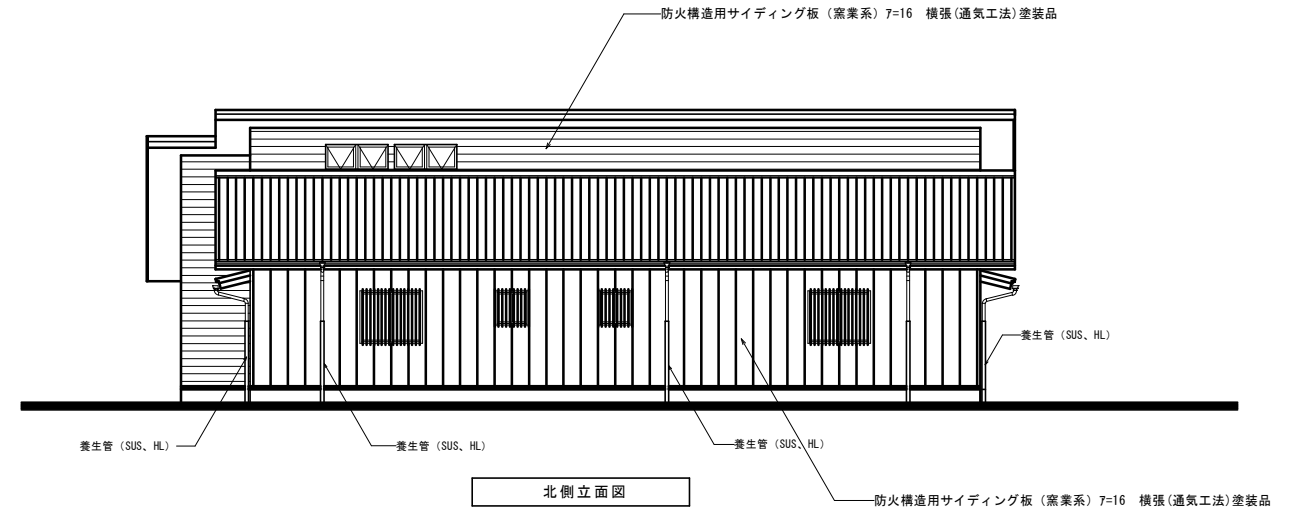
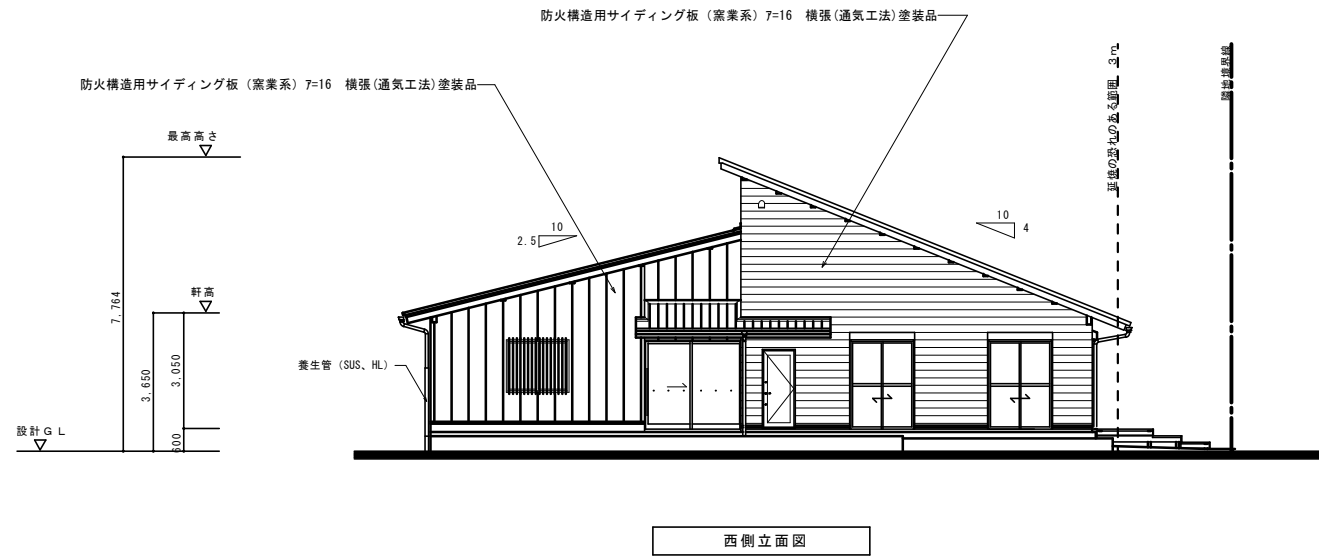
延床面積

①+②+③+④=338.695 → 338.70㎡

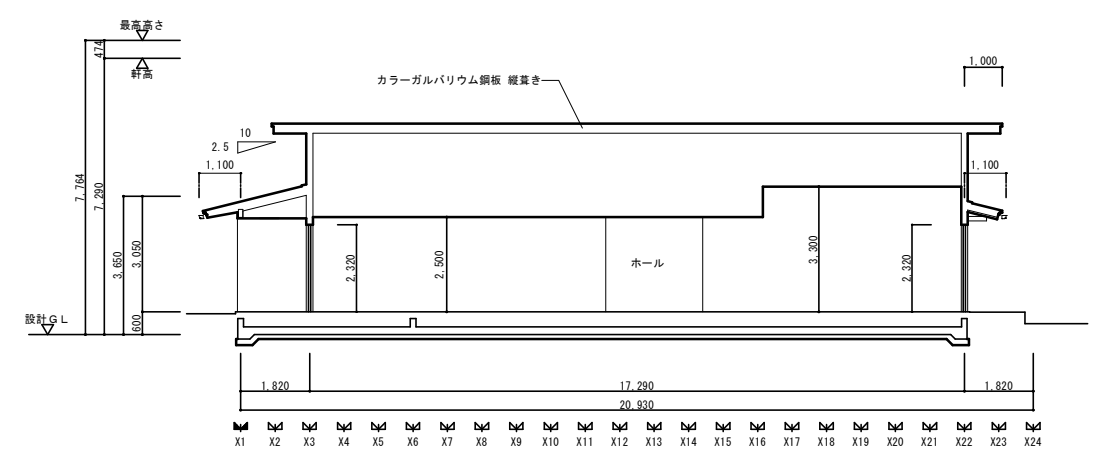
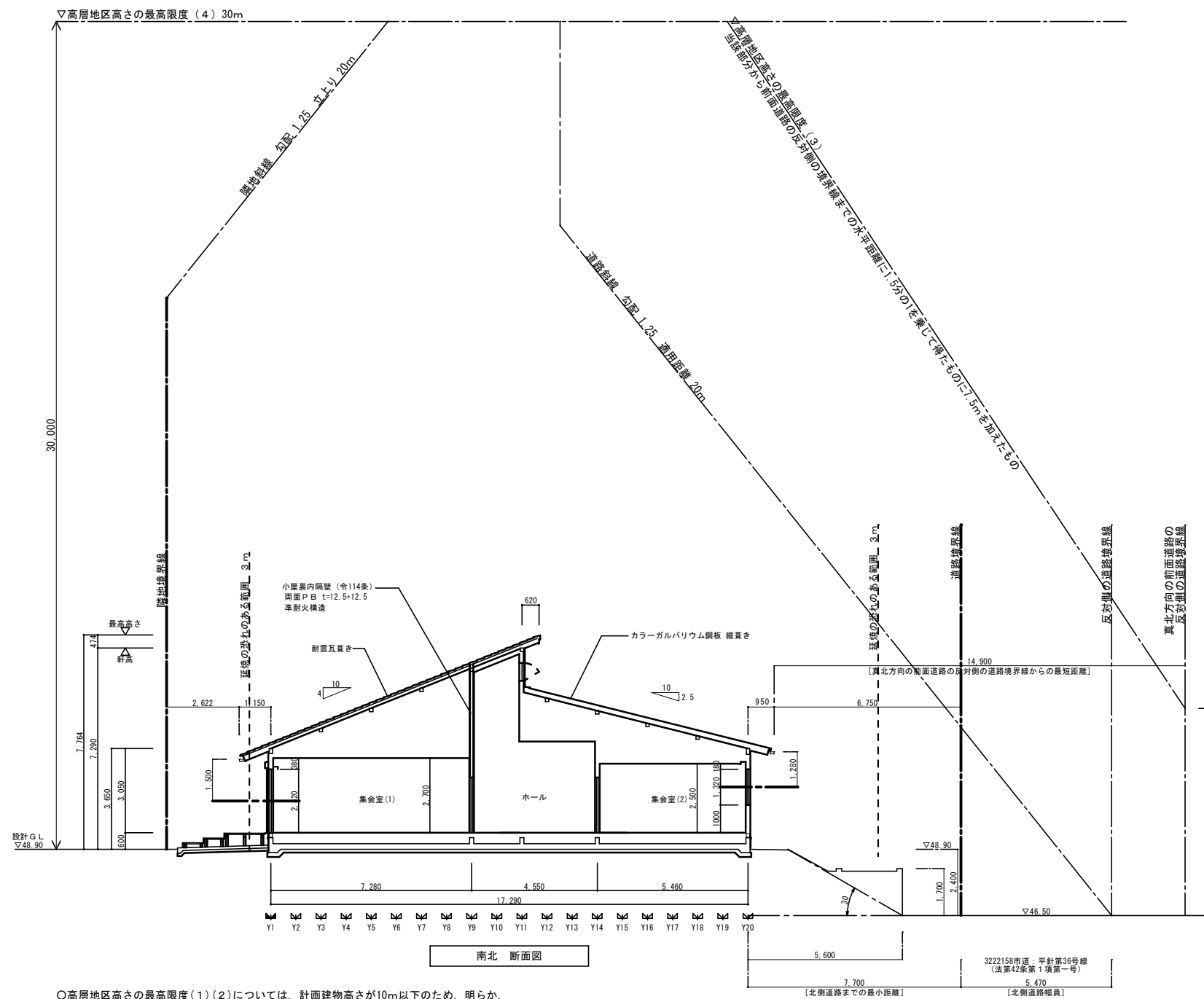
建築面積

[延床面積]+⑪+⑫+⑬+⑭=348.125 → 348.13㎡

| | | | | |
|------------------|--|---------------|--|---------------------------|
| 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第100527号 | | 求積図 | | 編尺 A1:1/50 A3:1/100 |
| 代表取締役 黒川 喜洋彦 | | 設計 平成29年3月 | | No. A16 |
| 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | | | |



| | | | | |
|----------------------------------|--------|-------------|------------------------------|---------|
| 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | | 立面図 | 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200 | No. A17 |
| 検 出 | 製 図 | 設 計 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |
| | | 平成29年 3月 | | |

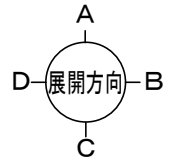
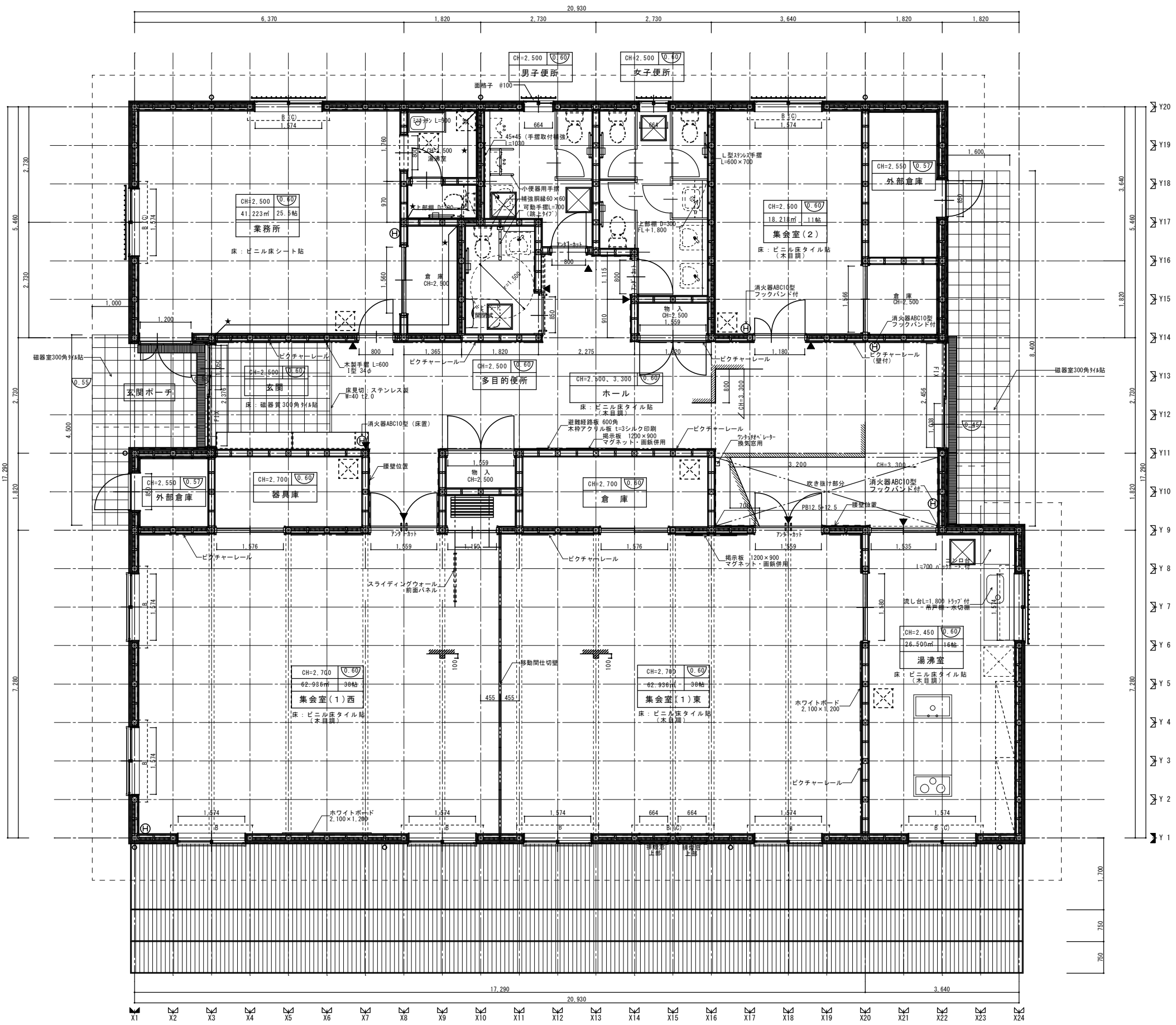


○高層地区高さの最高限度(1)(2)については、計画建物高さが10m以下のため、明らか。

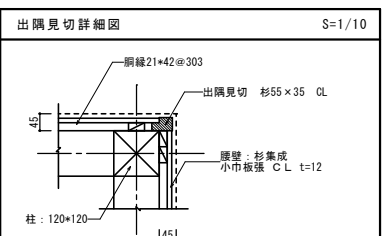
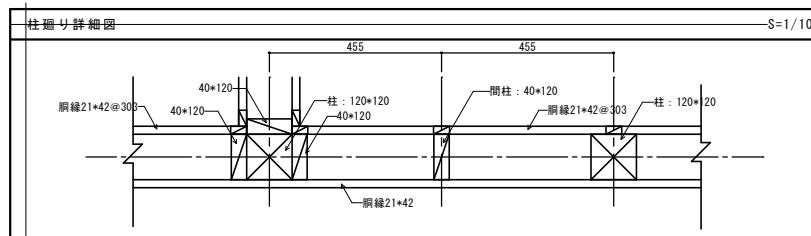
南北 断面図

西東 断面図

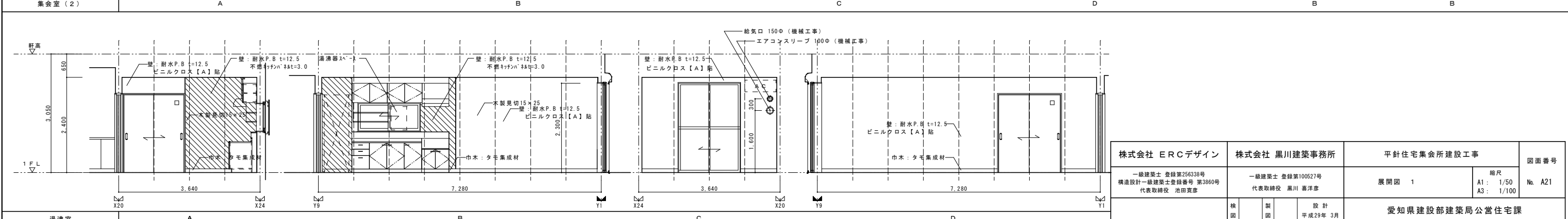
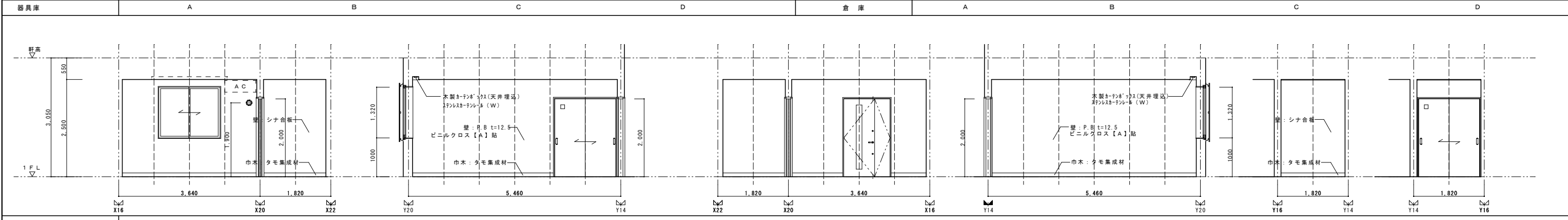
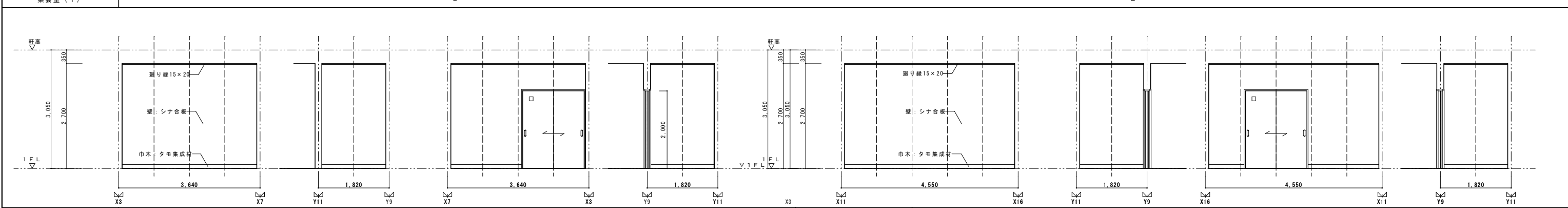
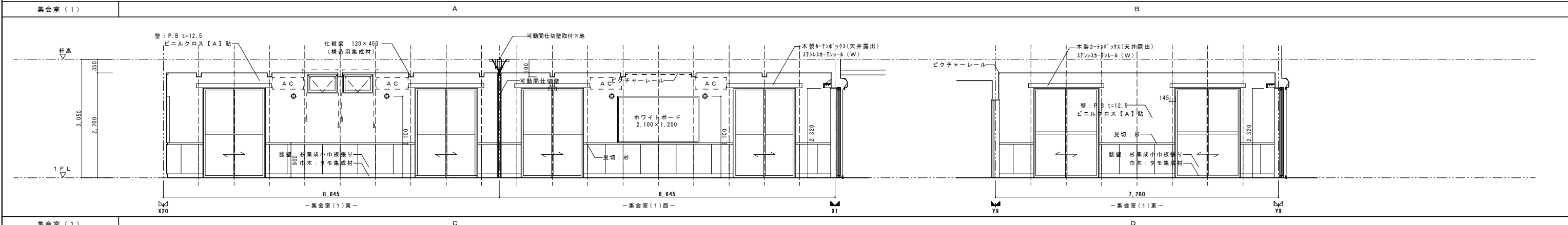
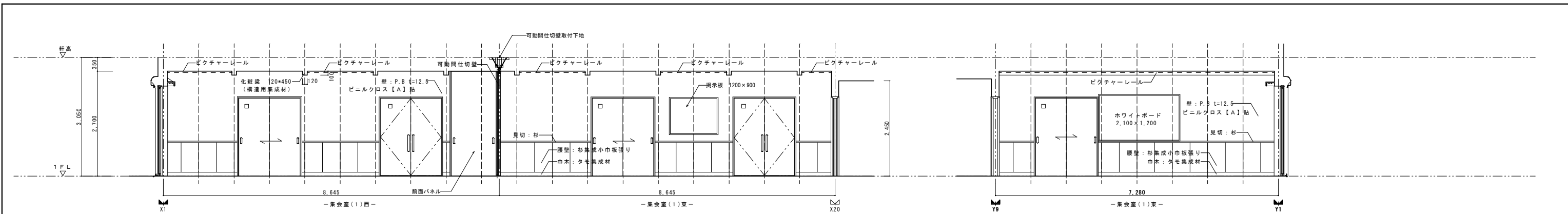
| | | | | |
|----------------------------------|----|-------------|--------------------------------|---------|
| 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | | 断面図 | 縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200 | No. A18 |
| 提出 | 製図 | 設計 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |
| | | 平成29年 3月 | | |



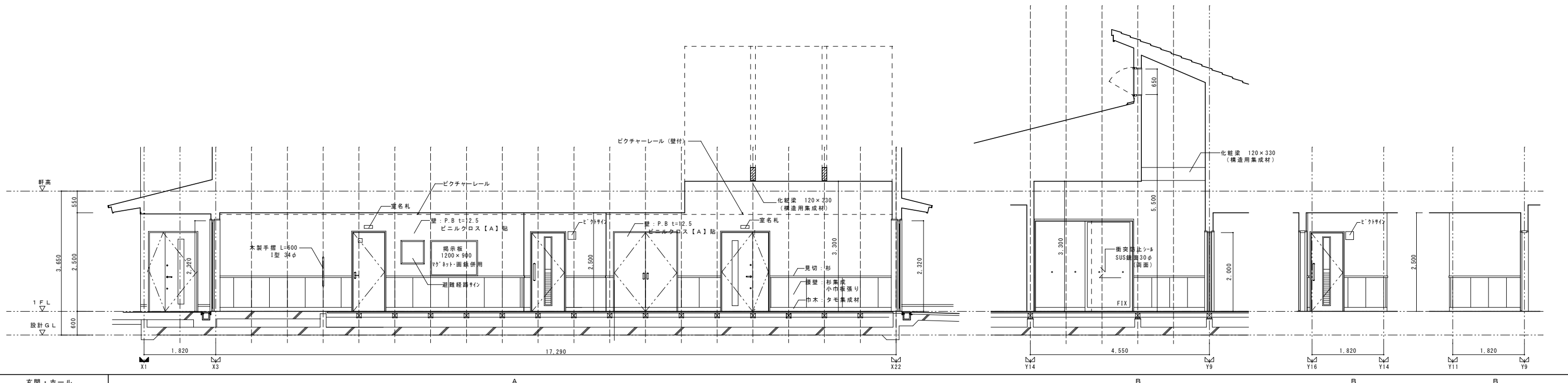
| 凡一例 | | | |
|-----|----------------------|--|---------------------------------|
| | 天井点検口 (アルミ製450×450) | | 遮音壁 (PB12.5+12.5 小屋裏まで PBを貼上げる) |
| | 床下点検口 (アルミ製600×600) | | 産名札(平付) 便所はビクトサイン |
| | 消火器ABC10型 フックバンド付 | | 設計仕からの高さ |
| | 木製カーテンボックス (露出) | | |
| | カーテンレール (W) : ステンレス製 | | |
| | 木製カーテンボックス (露出) | | |
| | カーテンレール (W) : ステンレス製 | | |



| | | | | | | |
|--|---|----------------------------------|---|-------------|--|-----------------------------|
| 株式会社 ERCデザイン | | 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦 | | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦 | | 平面詳細図 | | 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 |
| 検 | 図 | 設 | 計 | 平成29年 3月 | | No. A20 |
| 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | | | | | |



| | | | | |
|---|----------------------------------|-------------|-----------------------------|---------|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 展開図 1 | 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 | No. A21 |
| 機 | 製 | 設 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |
| | | 平成29年 3月 | | |



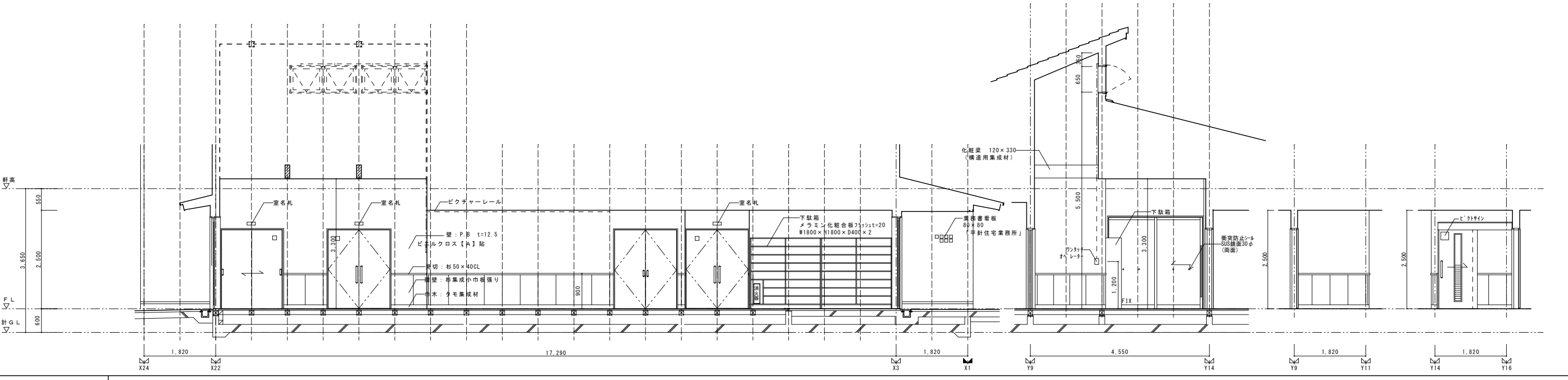
玄関・ホール

A

B

B

B



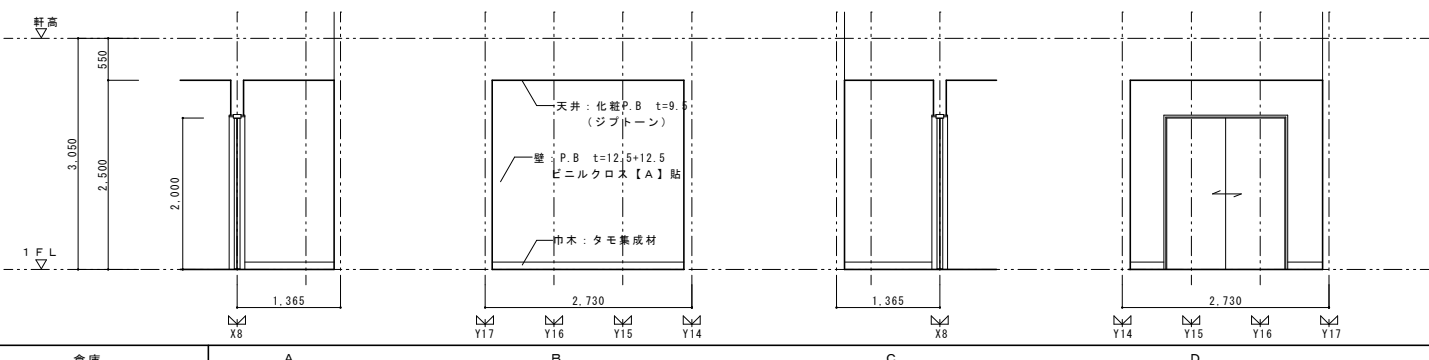
玄関・ホール

C

D

D

D



倉庫

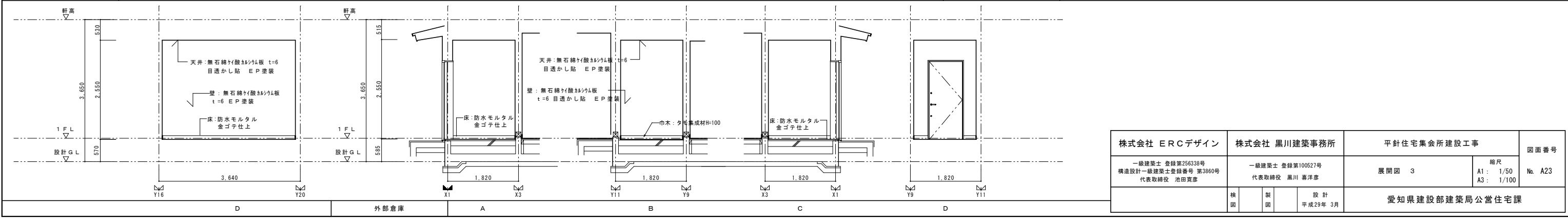
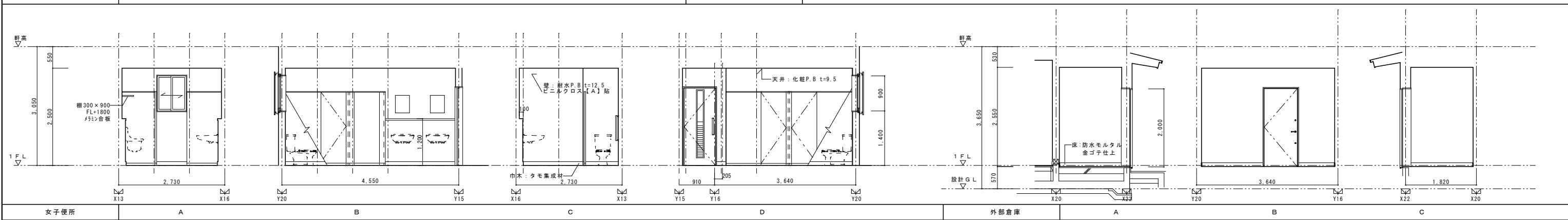
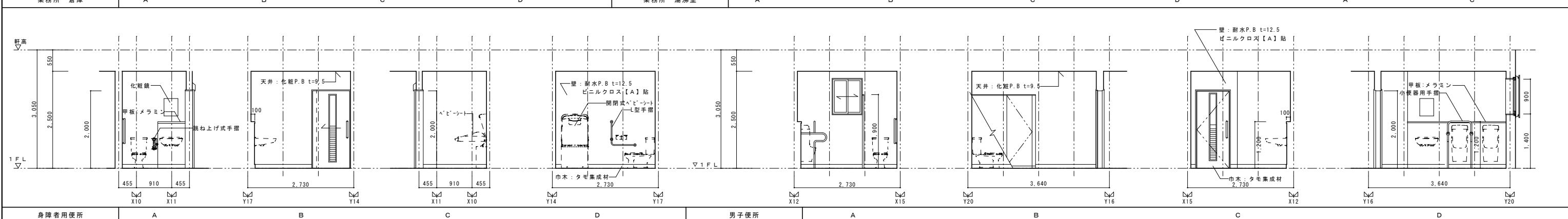
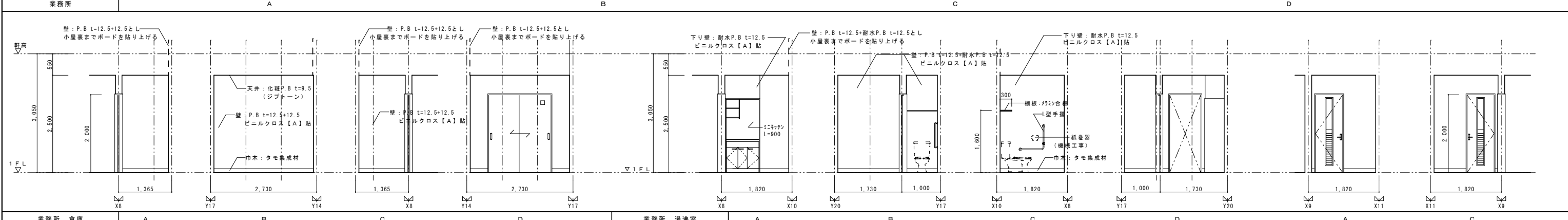
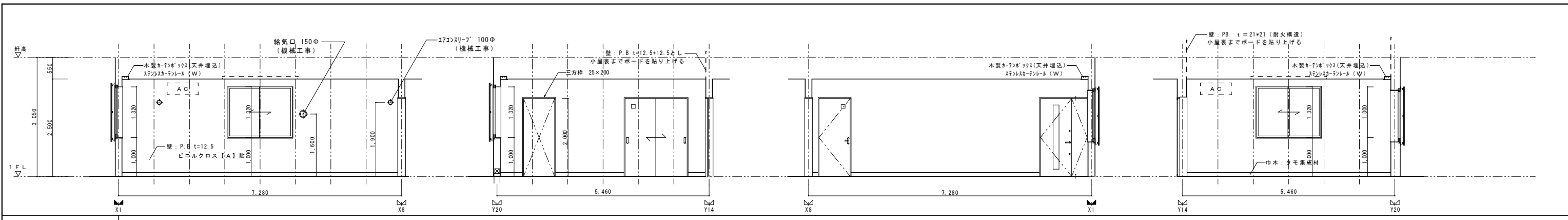
A

B

C

D

| | | | | |
|--|----------------------------------|----------------|-----------------------------|---------|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 展開図 2 | 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 | No. A22 |
| 概図 | 製図 | 設計 平成29年 3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |



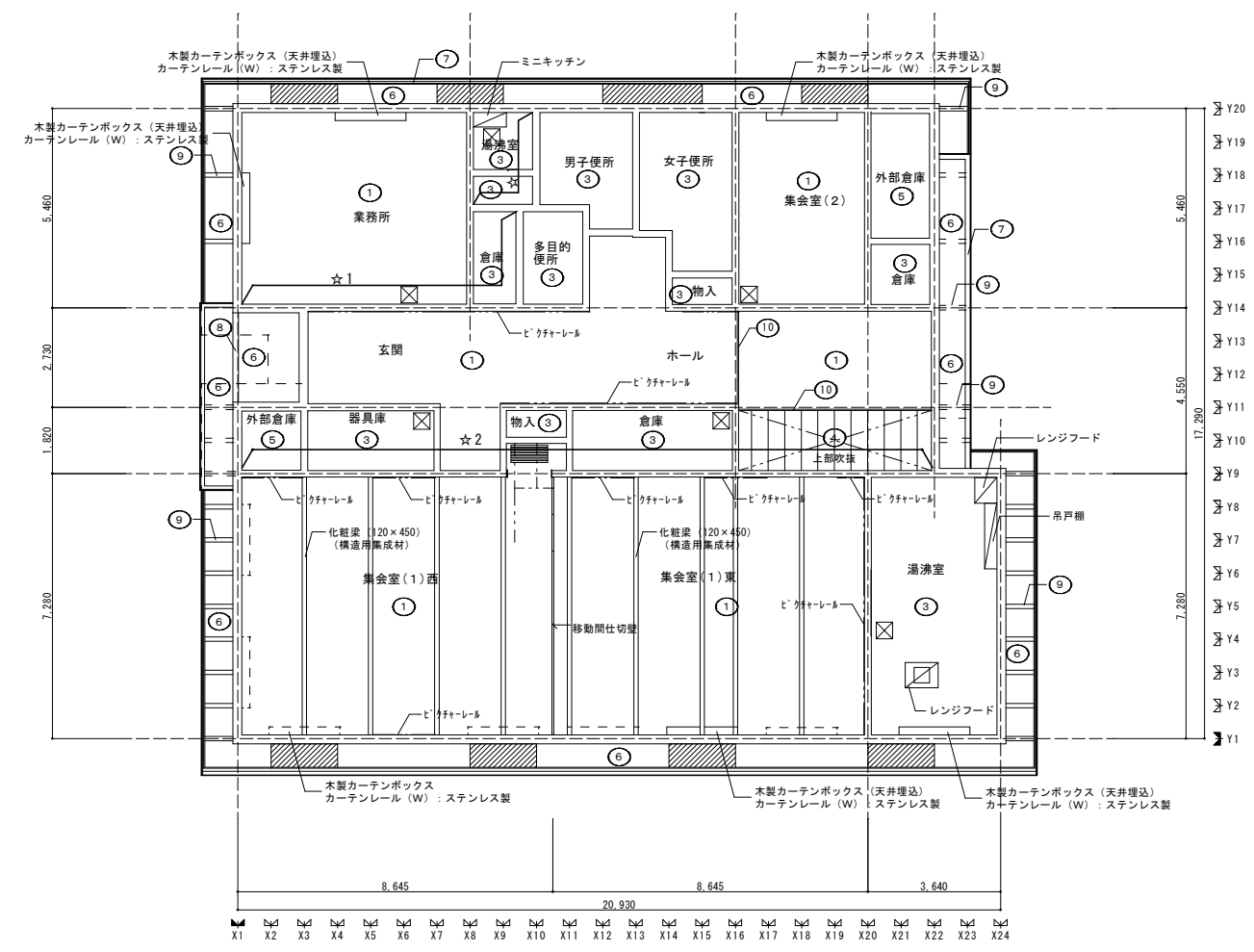
| | | | | | | |
|---|---|----------------------------------|---|-------------|--|-----------------------------|
| 株式会社 ERCデザイン | | 株式会社 黒川建築事務所 | | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田克彦 | | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦 | | 展開図 3 | | 図面番号 No. A23 |
| 機 | 製 | 設 | 計 | 平成29年3月 | | 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 |
| 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | | | | | |

| 符号・形式 | アルミ製引違いサッシ | アルミ製引違いサッシ(外付) | アルミ製引違いサッシ(外付) | アルミ製引違いサッシ(外付) | アルミ製外側サッシ(外付) | アルミ製2連外側サッシ(外付) | アルミ製ハンガー引戸 | アルミ製親子開きドア | |
|-------|---|---|--|---|---|---|---|---|---|
| 性能 | | | | | | | | | |
| 寸法 数量 | 1,574 × 2,300 7 | 1,574 × 1,300 3 | 1,574 × 700 1 | 664 × 900 2 | 664 × 450 2 | 1,574 × 650 2 | 2,376 × 2,300 (2,456 × 2,300) [*] 2 | 1,200 × 2,000 1 | |
| 使用箇所 | 集会所(1)西, 集会所(1)東, 湯沸室(1) | 業務所, 集会所(2) | 湯沸室(1) | 男子便所, 女子便所 | 集会所(1)東 | ホール | 玄関 ホール | 業務所 | |
| 図 | | | | | | | | | |
| 仕様 | 枠: 80 カラーアルミ (標準色) Low-E複層ガラス (3+12+3) クレセント, 標準付属金物一式 網戸(ステンレス), 手動式軽量ハッチ雨戸, バリアフリータイプ | 枠: 80 カラーアルミ (標準色) Low-E複層ガラス (3+12+網入り6.8) クレセント, 附属金物一式 網戸(ステンレス), 面格子 | 枠: 80 カラーアルミ (標準色) Low-E複層ガラス (3+12+網入り6.8) クレセント, 附属金物一式 網戸(ステンレス), 手動式ハッチ雨戸, 面格子 | 枠: 80 カラーアルミ (標準色) Low-E複層ガラス (3+12+網入り6.8) クレセント, 附属金物一式 網戸(ステンレス), 面格子 | 枠: 80 カラーアルミ (標準色) Low-E複層ガラス (3+12+3) 手動式開放用引手, 復旧用引手, 附属金物一式 固定網戸(ステンレス), 60° 開放 | 枠: 80 カラーアルミ (標準色) Low-E複層ガラス (3+12+3) 手動式ファンタッチオペレーターハンドル, 附属金物一式 固定網戸(ステンレス), 角度調整付(15°, 30°) | 枠: 80 カラーアルミ (標準色) 防犯ガラス (透明 t=3+中間膜0.8 (30s8) +透明 t=3) 吊戸車, ロック(シリンダー, サムターン), ガイドレール ドアハンドル (ステンレス, L=1300) 等附属金物一式 衝突防止シールSUS鏡面30φ (両面) | 枠: 70 アルミ押出型材 防犯ガラス (透明 t=3+中間膜0.8 (30s8) +透明 t=3) レバーハンドル, シリンダー錠 (内サムターン), ステンレス丁番 ドアチェック, フランス落し, 附属金物一式 | 枠: 70 アルミ押出型材 防犯ガラス (透明 t=3+中間膜0.8 (30s8) +透明 t=3) レバーハンドル, シリンダー錠 (内サムターン), ステンレス丁番 ドアチェック, フランス落し, 附属金物一式 |
| 符号・形式 | アルミ製片開きドア | 両開きフラッシュドア | 引違いフラッシュドア | 引違いフラッシュドア | 両開きフラッシュドア | 片開きフラッシュドア | 親子扉フラッシュドア | 片開き親子開きフラッシュドア | |
| 性能 | | | | | | | | | |
| 寸法 数量 | 850 × 2,000 2 | 1,559 × 2,000 2 | 1,576 × 2,000 (1,560 × 2,000) [*] 4 | 1,566 × 2,000 2 | 1,559 × 2,000 2 | 800 × 2,000 1 | 1,180 × 2,000 1 | 820 × 2,000 2 | |
| 使用箇所 | 外部倉庫 | 集会所(1)西, 集会所(1)東 | 集会所(1)西内器具庫, 集会所(1)東内倉庫, 湯沸室(1), 業務所内倉庫 | 集会所(2)内物入, 湯沸室(1) | 物入 | 業務所 | 集会所(2) | 男子便所, 女子便所 | |
| 図 | | | | | | | | | |
| 仕様 | 枠: 70 カラーアルミ (標準色) タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 型板ガラス t=4.0 レバーハンドル, シリンダー錠, 附属金物一式 | 扉: 36 タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 型板ガラス t=4.0 押引棒, ステンレス丁番, ドアチェック, フランス落し, 他一式 棒状戸当り | 扉: 36 タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 型板ガラス t=4.0 真鍮製M型レール, 戸車, 引手 (金属製), 他一式 ゴム戸当り | 扉: 36 タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 型板ガラス t=4.0 取手, ステンレス丁番, フランス落し, 上枠付ハッチ付, 他一式 真鍮製M型レール, 戸車, 引手 (金属製), 他一式 ゴム戸当り | 扉: 36 タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 型板ガラス t=4.0 取手, ステンレス丁番, フランス落し, 上枠付ハッチ付, 他一式 真鍮製M型レール, 戸車, 引手 (金属製), 他一式 ゴム戸当り | 扉: 36 タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 型板ガラス t=4.0 レバーハンドル, ロック(シリンダー, サムターン), ステンレス丁番, ドアチェック, 他一式 棒状戸当り | 扉: 36 タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 型板ガラス t=2.0 レバーハンドル, ロック(シリンダー, サムターン), ステンレス丁番, ドアチェック, フランス落し, 他一式 棒状戸当り | 扉: 36 タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 型板ガラス t=2.0 スチール丁番, ドアチェック, フランス落し, 他一式 レバーハンドル, 他一式 | 扉: 36 タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 型板ガラス t=2.0 スチール丁番, ドアチェック, フランス落し, 他一式 レバーハンドル, 他一式 |
| 符号・形式 | 片引き親子開きフラッシュドア | 片引き親子開きフラッシュドア | 可動間仕切 | 可動間仕切 | 可動間仕切 | トイレブース | トイレブース | トイレブース | |
| 性能 | | | | | | | | | |
| 寸法 数量 | 700 × 2,000 1 | 950 × 2,000 1 | 7,093 × 2,700 1 | 7,093 × 2,700 1 | 7,093 × 2,700 1 | 下記による 1 | 下記による 1 | 下記による 1 | |
| 使用箇所 | 業務所便所 | 多目的便所 | 集会所(1) | 集会所(1) | 集会所(1) | 男子便所 | 女子便所 | 女子便所 | |
| 図 | | | | | | | | | |
| 仕様 | 扉: 36 タモ縁付合板 t=5.5 ウレタン樹脂WNIS塗 樹脂ガラス t=2.0 レバーハンドル, ステンレス丁番, 木製ガラリ, 他一式 非常時解錠大型表示錠, 他一式 | 扉: 40 メラミン焼付け塗装仕上げ (SPCC) 樹脂ガラス t=2.0 ハンガーレール, 樹脂製棒取手 (L=400), アルミガラリ 非常時解錠大型表示錠, 他一式 | 扉: 50 MDF下地クロス貼り ハンガーレール, 棒取手, 振り込み引手, 附属品一式 スライディングウォール50 (NSW-50W-L 同等) | 扉: 50 MDF下地クロス貼り ハンガーレール, 棒取手, 振り込み引手, 附属品一式 スライディングウォール50 (NSW-50W-L 同等) | 扉: 50 MDF下地クロス貼り ハンガーレール, 棒取手, 振り込み引手, 附属品一式 スライディングウォール50 (NSW-50W-L 同等) | 扉: 40 メラミン化粧合板 50°ハッチ付(表示付), スチール木, 7ö頭付 ラバトリーヒンジ, 上部戸当り, 他一式 | 扉: 40 メラミン化粧合板 取手, 50°ハッチ付(表示付), スチール木, 7ö頭付 ラバトリーヒンジ, 上部戸当り, 他一式 | 扉: 40 メラミン化粧合板 取手, 50°ハッチ付(表示付), スチール木, 7ö頭付 ラバトリーヒンジ, 上部戸当り, 他一式 | 扉: 40 メラミン化粧合板 取手, 50°ハッチ付(表示付), スチール木, 7ö頭付 ラバトリーヒンジ, 上部戸当り, 他一式 |

特 記

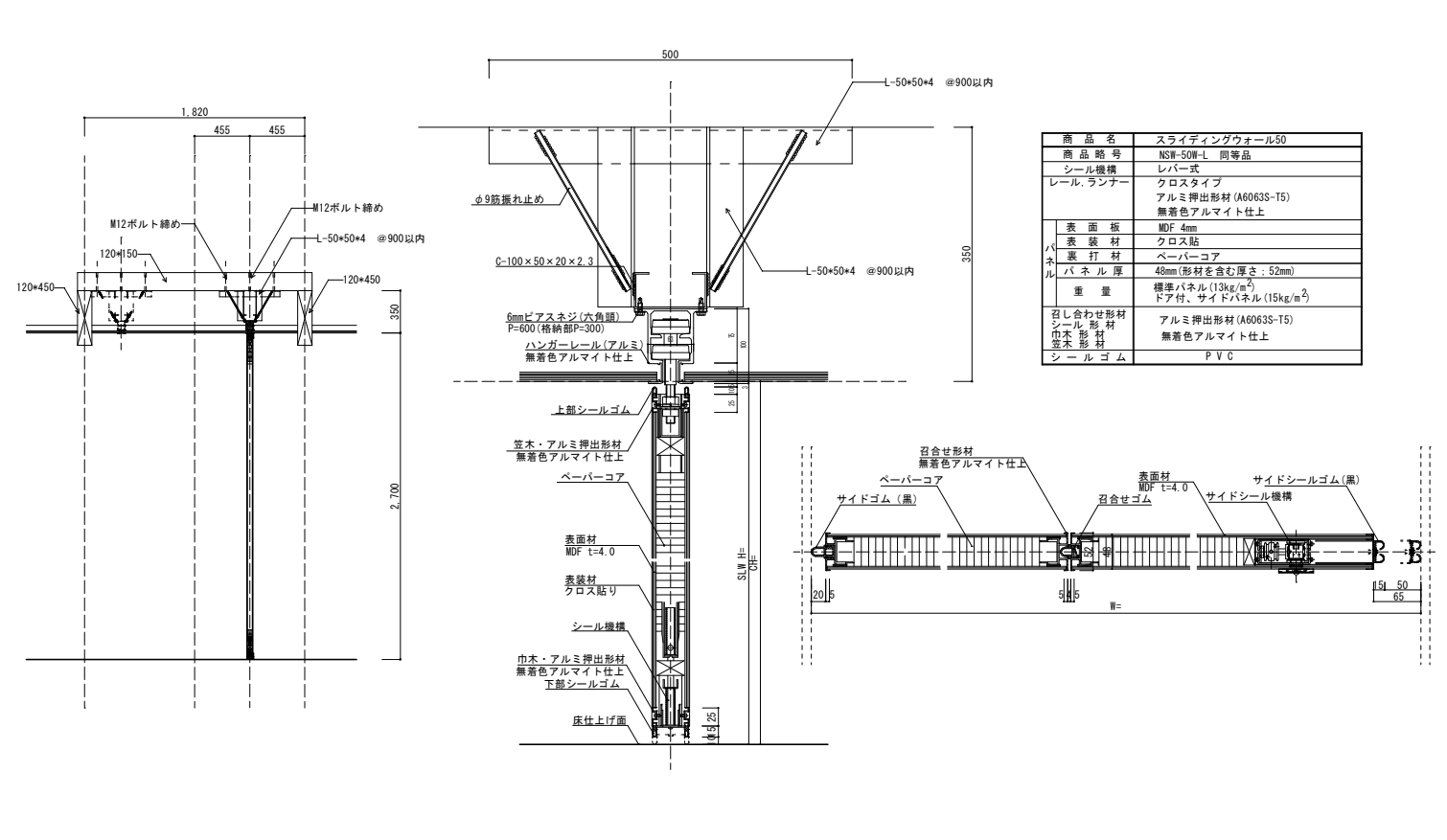
- ① 建具寸法 (W×H) は、開口内法有効寸法とする。
- ② アルミサッシはカラーアルミとする。(シルバーは不可)
- ③ ステンレス丁番は3ヶ所止めとする。

| 凡例 | | | |
|-----------------|--|---|----------------------|
| ① | P.B t=9.5 拵貼下地 岩綿吸音板貼 t=9 | ⑥ | ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP塗装 |
| ② | シナ合板 t=5.5 | ⑦ | 鼻隠：押出成形板 H=210 |
| ③ | 化粧P.B t=9.5 (ジブトーン) | ⑧ | SUS見切25×100×1.2 |
| ④ | 杉葺単板合板 t=6 目透かし貼 | ⑨ | 母屋：SOP.3 回塗り |
| ⑤ | 無石棉ケイ酸カルシウム板 t=6 目透かし貼 EP塗装 | ⑩ | 見切縁35×20(35×45) CL |
| 有孔材'ト'貼 EP塗装を承す | | | |
| ☆1 | P.B t=12.5+12.5とし、小屋裏まで張り延ばしとする。(業務所側) | | |
| ☆2 | 小屋裏内隔壁：両面P.B t=12.5+12.5張り 準耐火構造 | | |
| --- | ピクチャーレール | | |
| ⊗ | 天井点検口 (アルミ製450×450) | | |

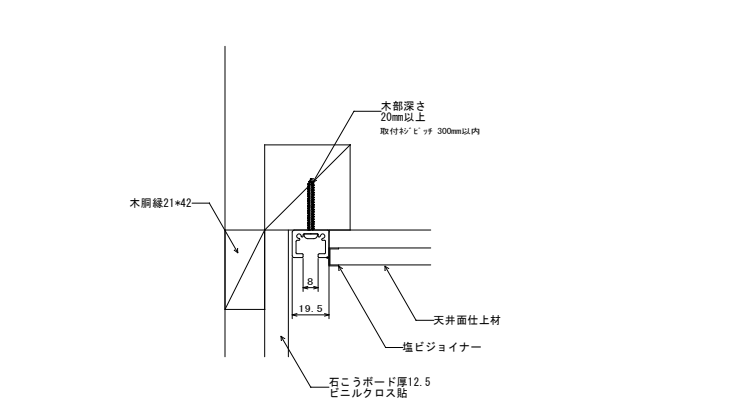


1階 天井伏図 S=1/100

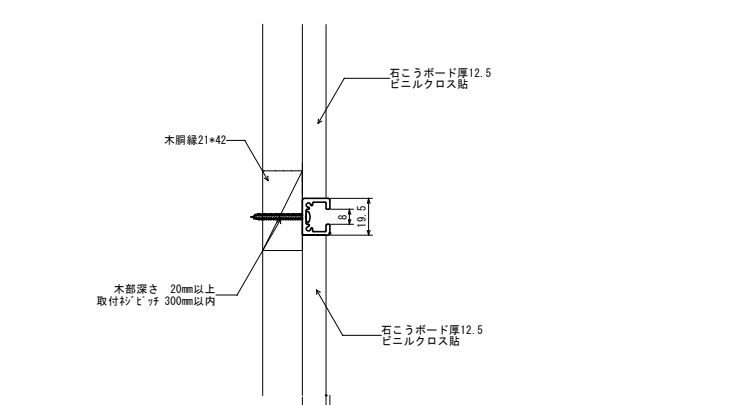
スライディングウォール詳細図



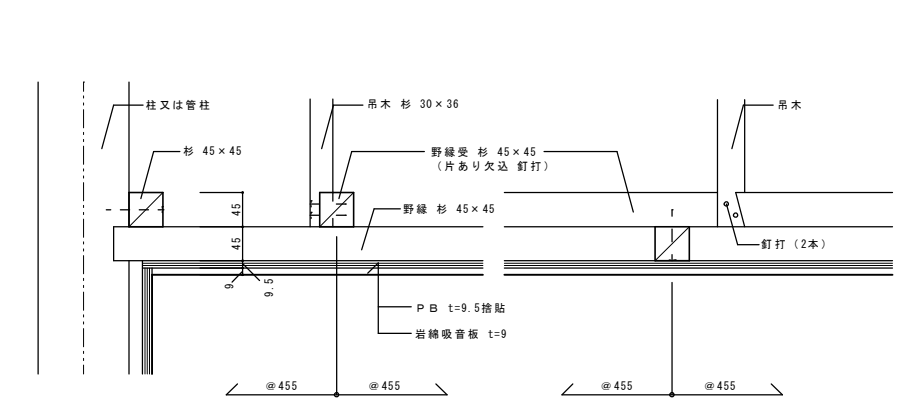
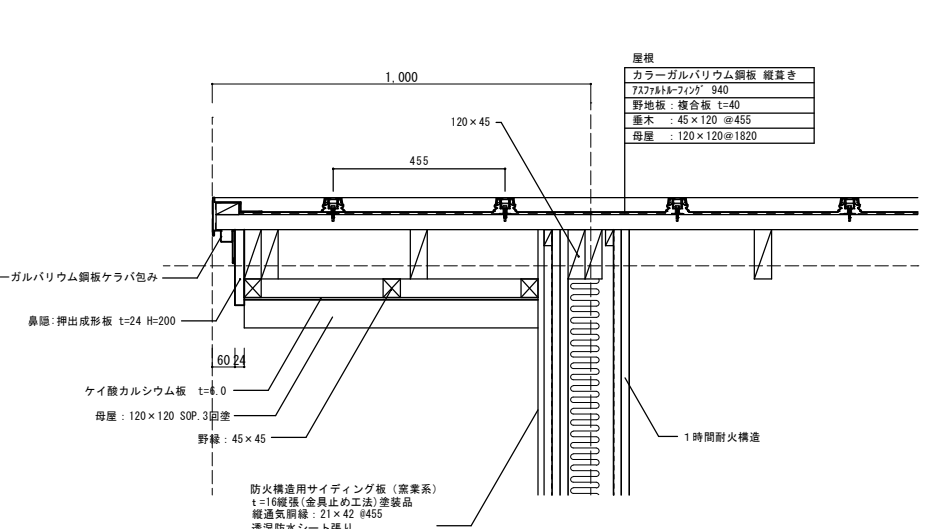
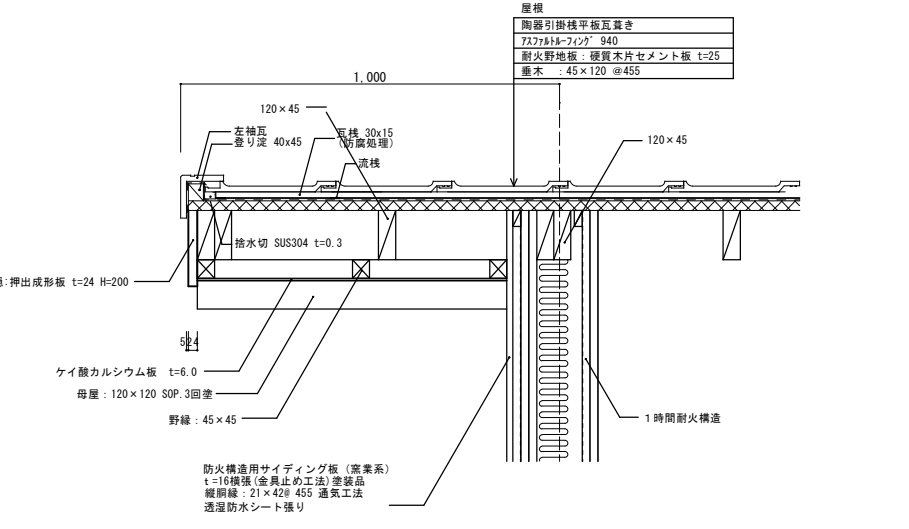
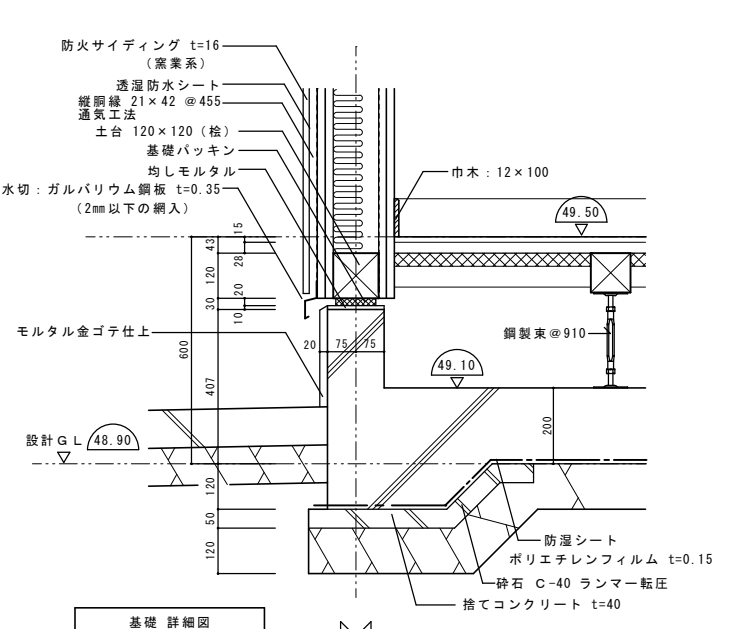
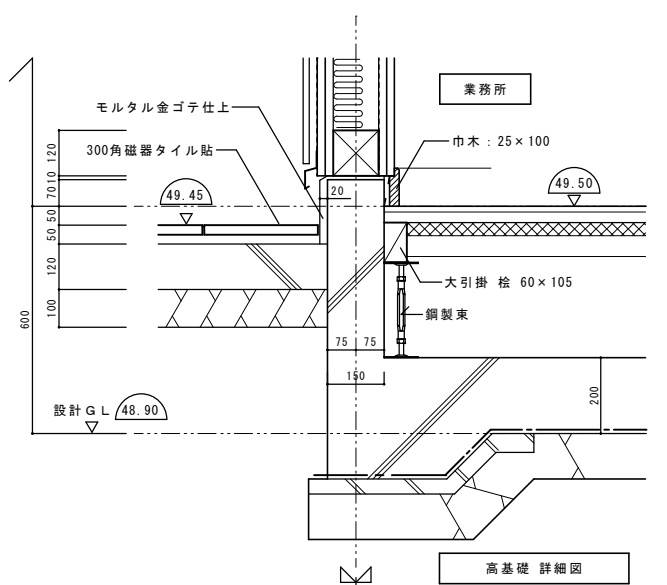
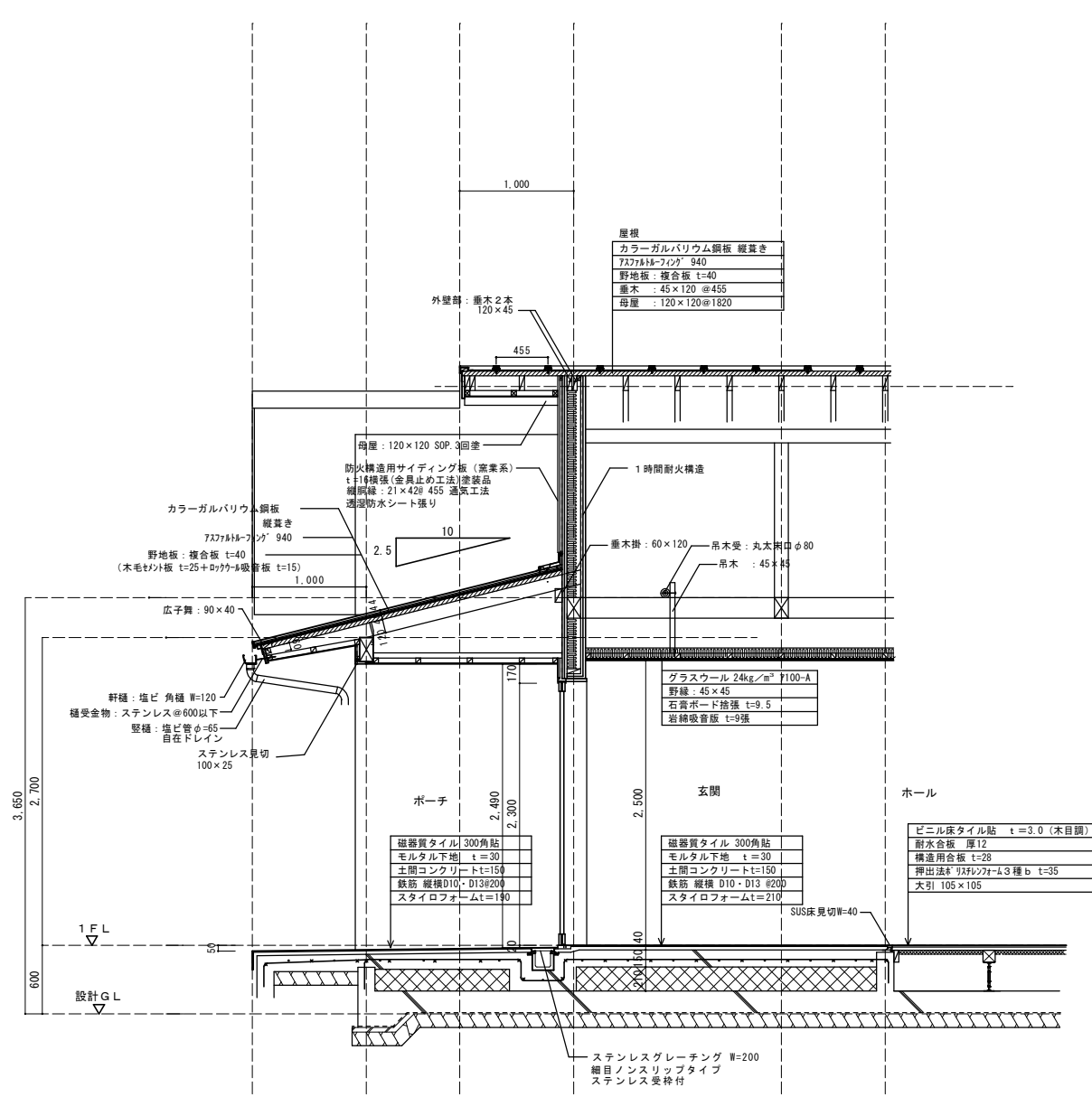
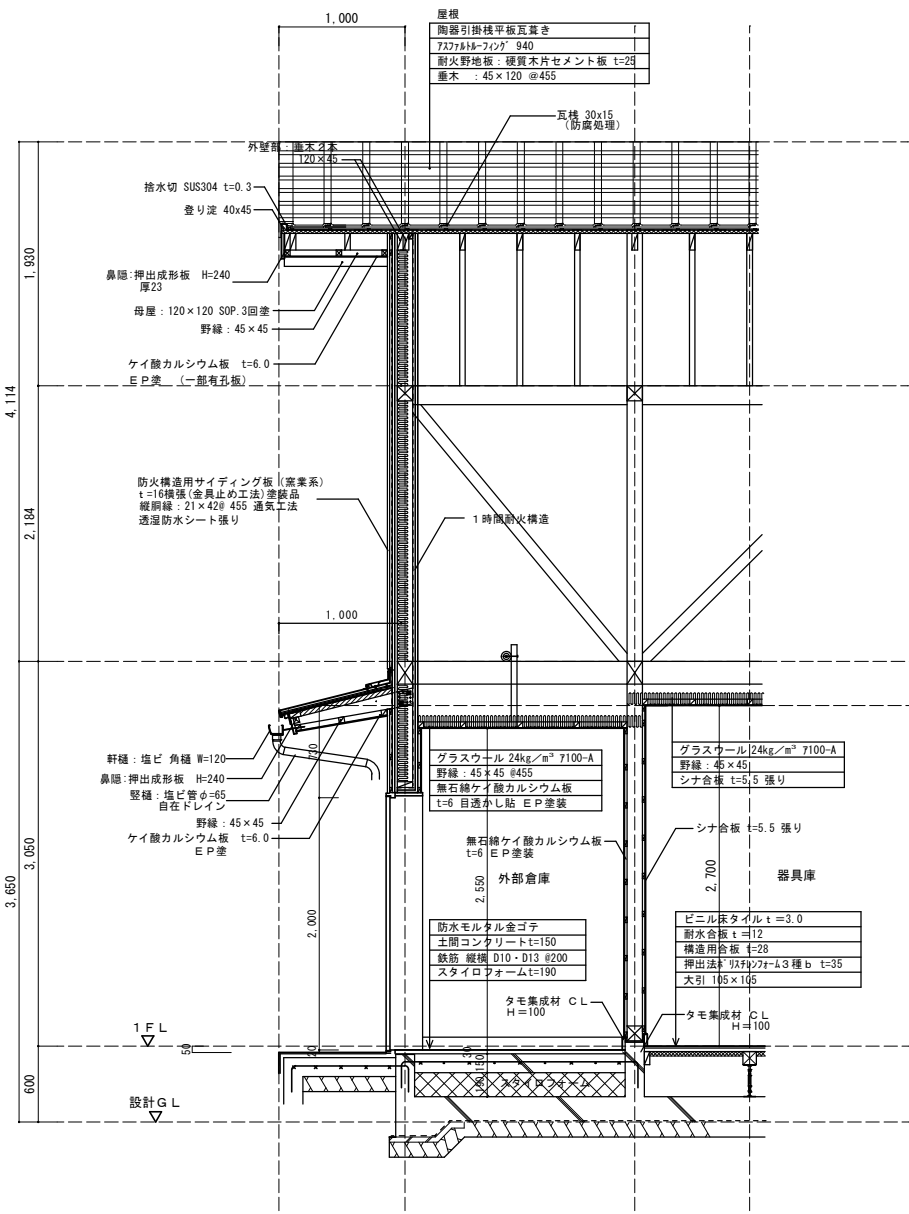
ピクチャーレール詳細図 S=1/2



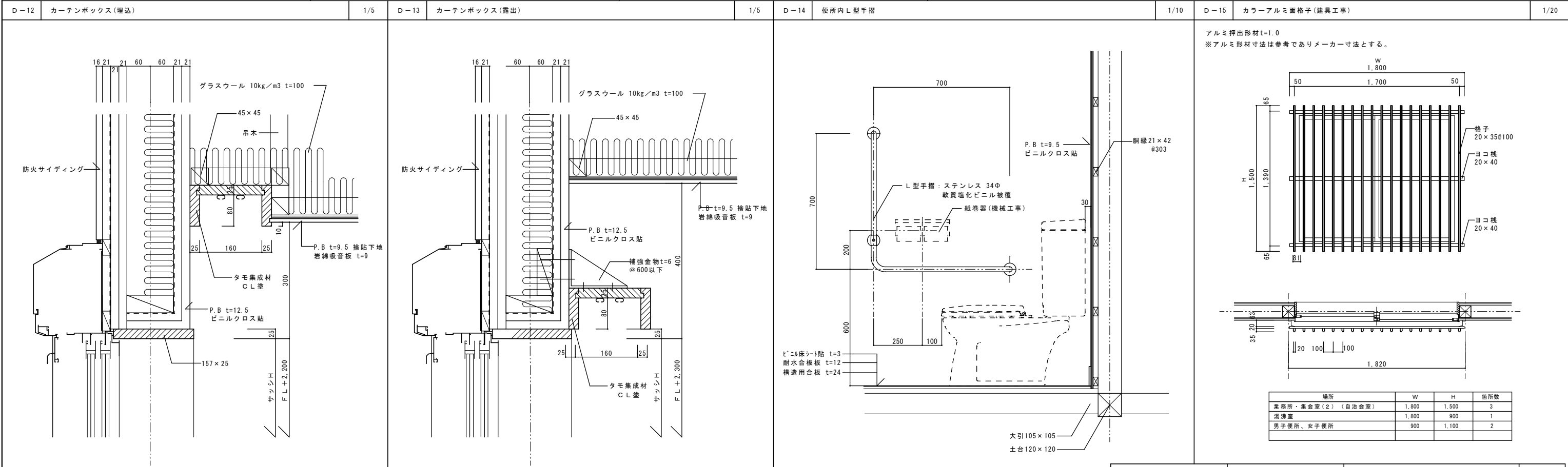
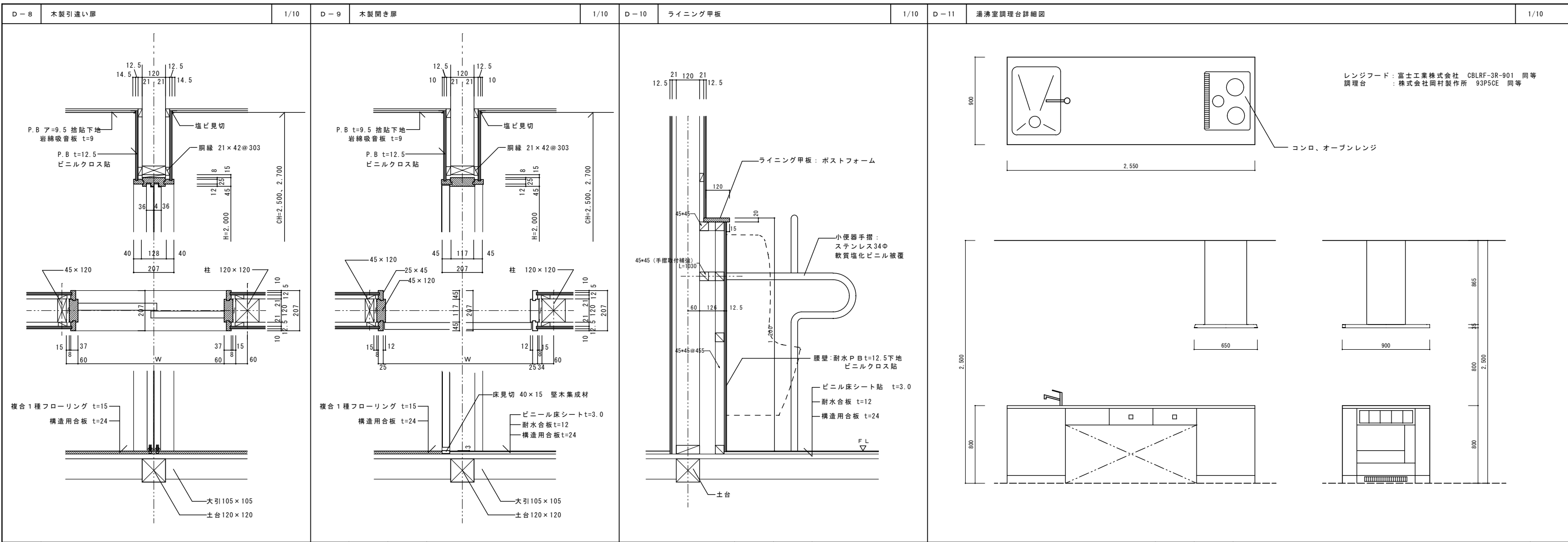
ピクチャーレール (壁付) 詳細図 S=1/2



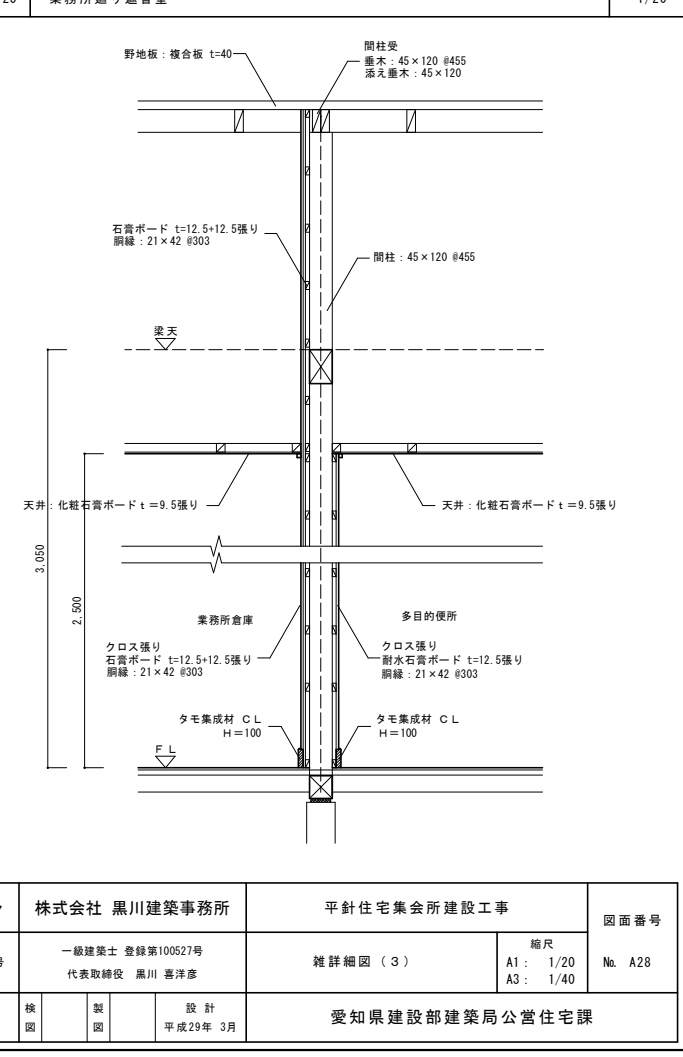
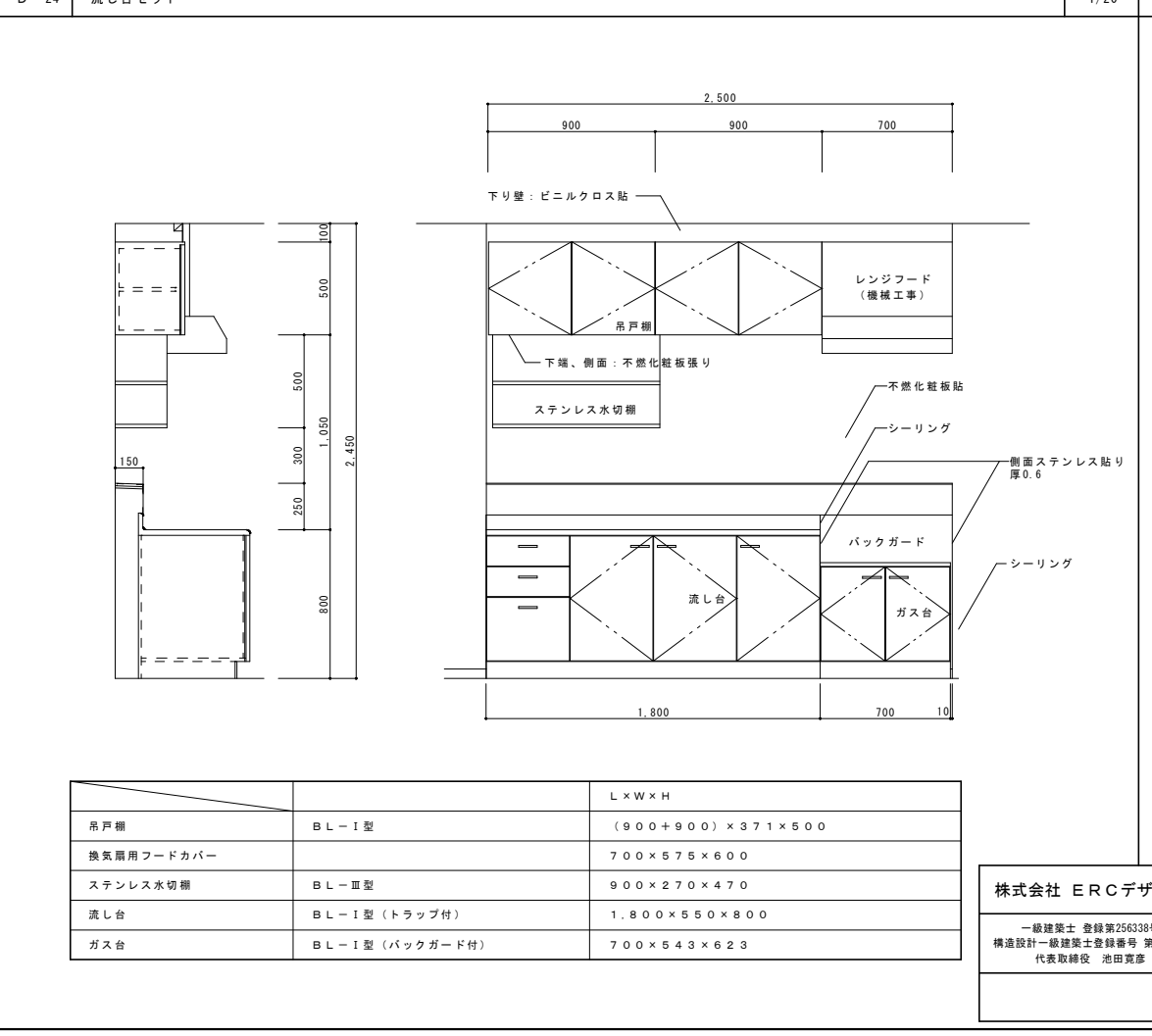
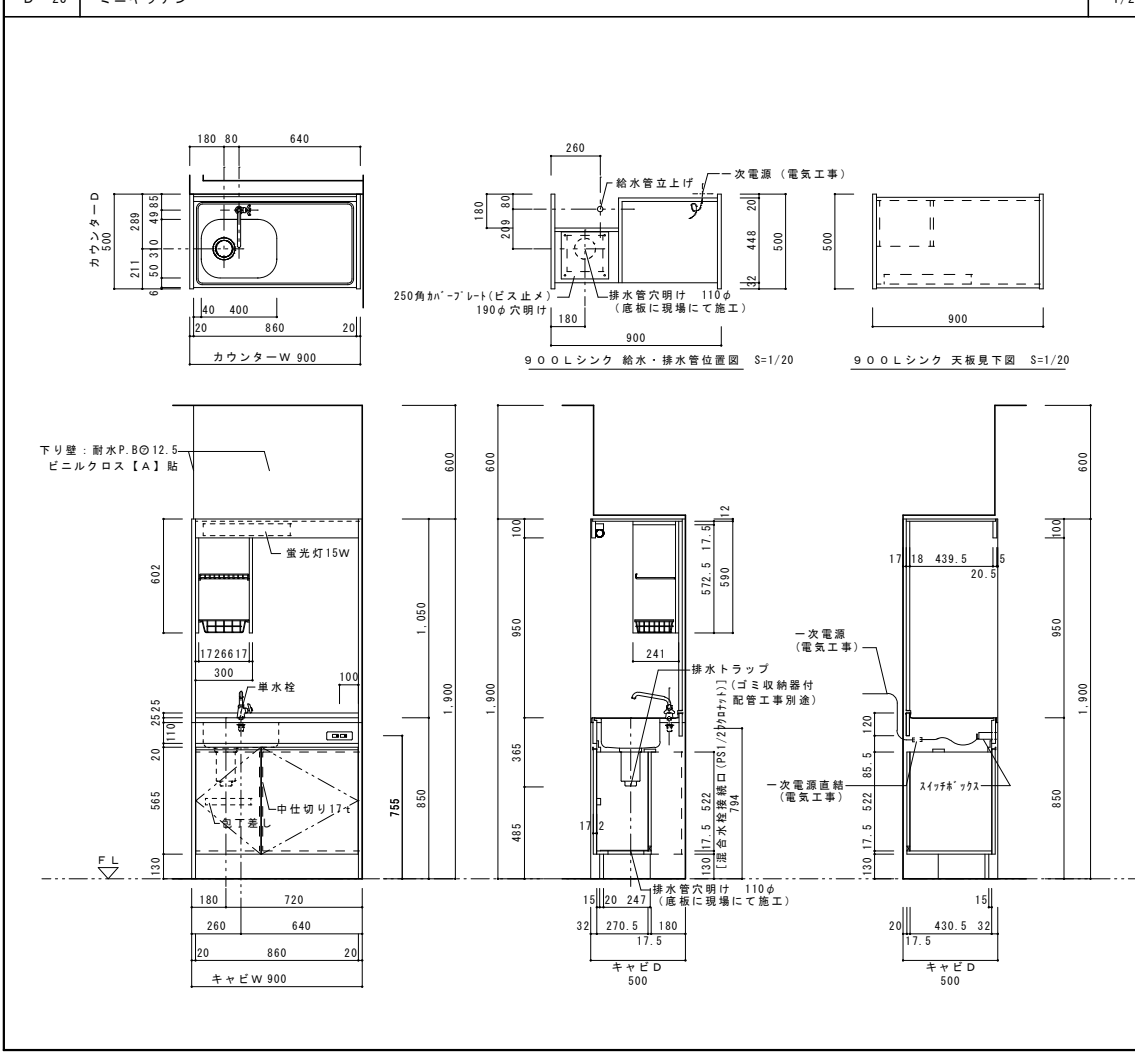
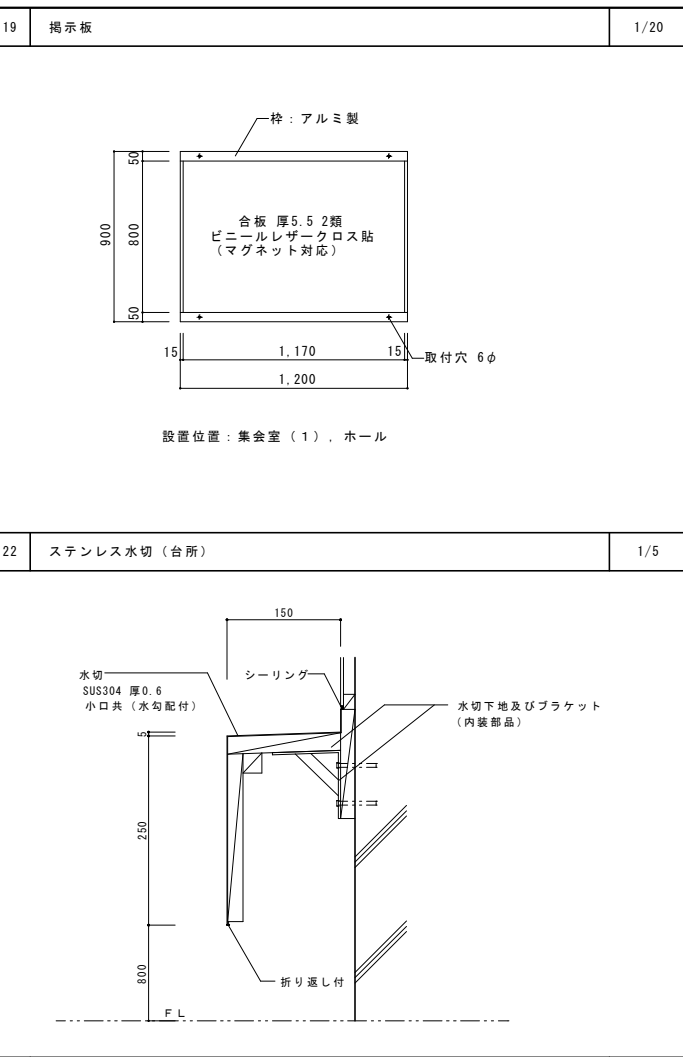
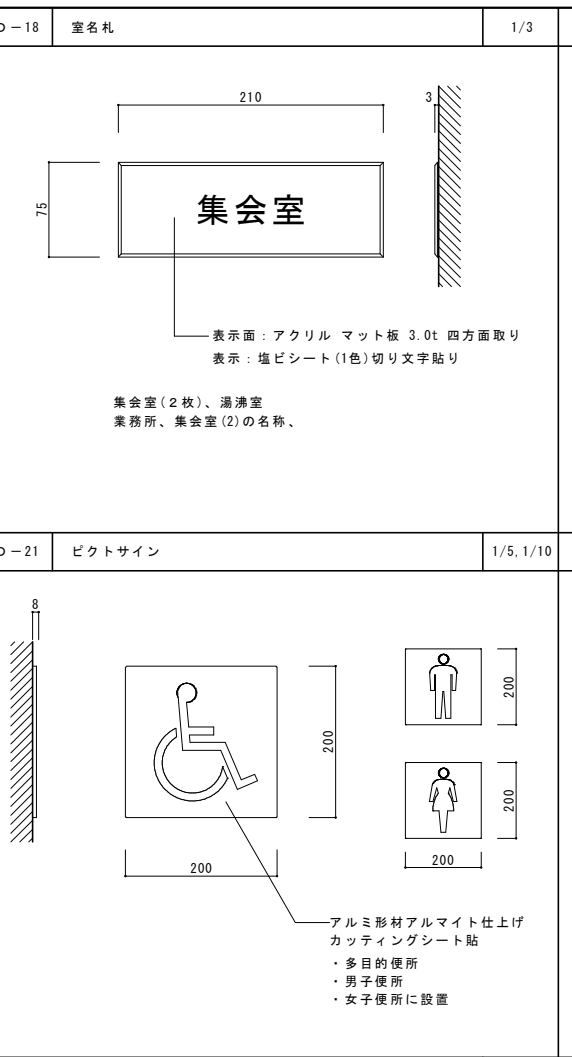
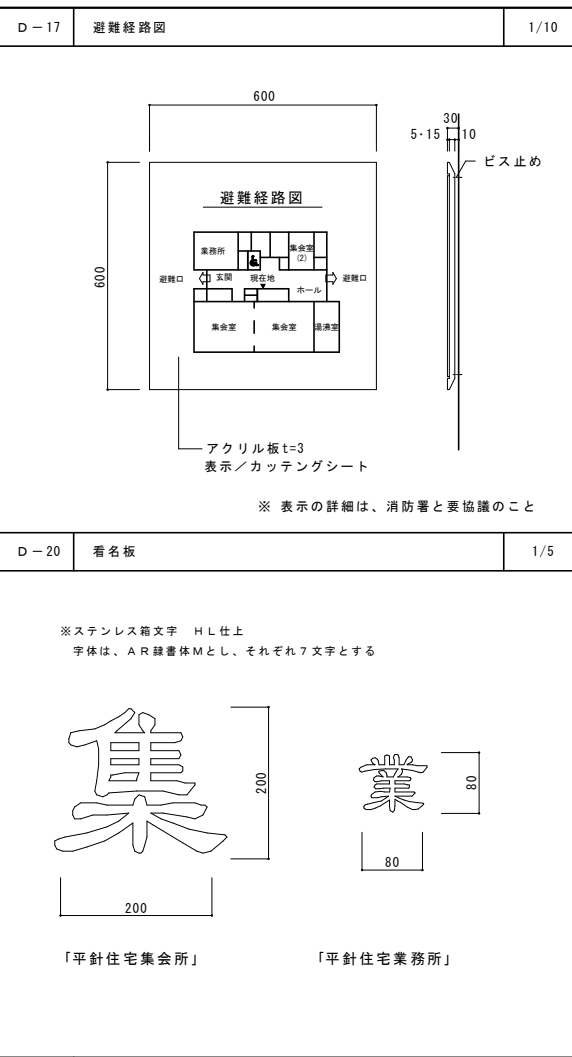
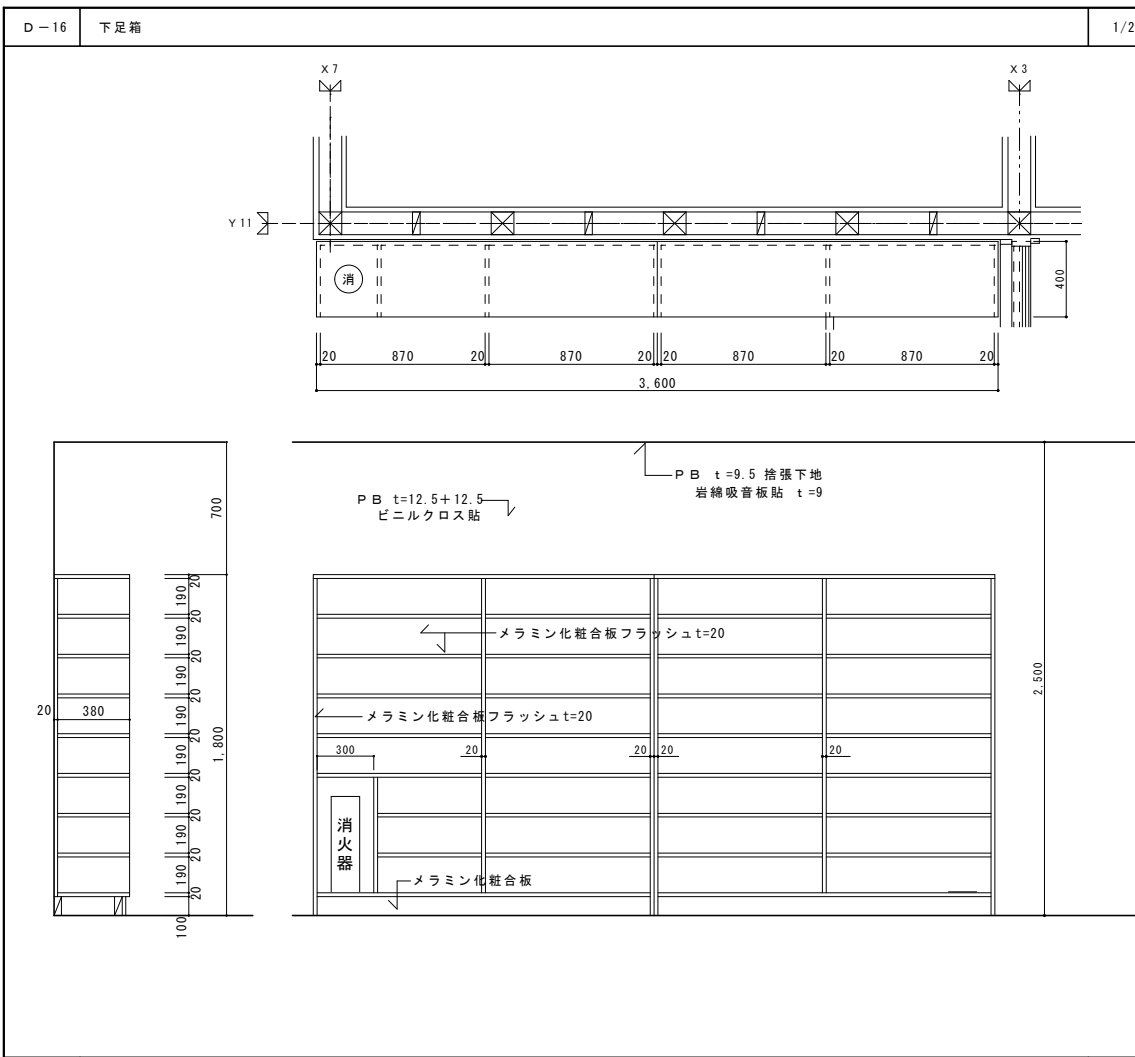
| | | | | |
|--|----------------------------------|----------------|------------------------------|---------|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田克彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 天井伏図_雑詳細図 | 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200 | No. A25 |
| 機 | 製 | 設計 平成29年 3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |



| | | | | |
|--|----------------------------------|----------------|----------------------------|---------|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 雑詳細図 (1) | 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60 | No. A26 |
| 機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | |



| | | | | |
|---|----------------------------------|----------------|----------------------------|---------|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦 | 雑詳細図 (2) | 縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20 | No. A27 |
| 機 | 製 | 設計 平成29年 3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |



| | | L x W x H |
|------------|-----------------|-----------------------|
| 吊戸棚 | BL-I型 | (900+900) x 371 x 500 |
| 換気扇用フードカバー | | 700 x 575 x 600 |
| ステンレス水切棚 | BL-II型 | 900 x 270 x 470 |
| 流し台 | BL-I型 (トラップ付) | 1,800 x 550 x 800 |
| ガス台 | BL-I型 (バックガード付) | 700 x 543 x 623 |

| | | | | |
|---|---|--------------------|----------------------------|-----------------|
| 株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦 | 株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 No. A28 |
| | | 雑詳細図 (3) | 縮尺 A1: 1/20 A3: 1/40 | 設計 平成29年 3月 |

木工事軸組工法 特記仕様書(1)

一般事項 本工事における構造の骨組(架構体)、下地骨組、造作、仕上げの木工事に適用する。
特記事項は ■印の付いたものを適用する。

木材の品質 1. 素材及び製材の品質は、日本農林規格(JAS)の規定がある場合は、すべてこの規格に適合したものとす。
2. 構造用パネルの品質は、構造用製材のJASに適合したもまたは製材のJASで定める1等以上とする。
3. 見掛りの造作用柱、板用製材の品質は、製材のJASで定める上小節以上のものとし、心持材の場合は骨割りを行ったものとする。
4. 目視等検区分の針葉樹構造用製材規格については以下の通りJASによる。

| | | |
|------------------------------|------------------------------|-----------------|
| 甲種構造材(構造用Ⅰ) (短辺が9cm未満の積物) | 甲種構造材(構造用Ⅱ) (短辺が9cm以上の積物) | 乙種構造材 (柱材など) |
| ■一級 □二級 □三級 | ■一級 □二級 □三級 | ■一級 □二級 □三級 |

5. 仕口を固める椧、椧は堅木とする。又、扉材は骨組材と同材以上または堅木とする。
6. 構造用パネルの製材の品質は、構造用製材のJASに適合若しくは化粧板製材のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
7. 各種ボード類
(1) 合板の品質は、構造用合板若しくは普通合板等のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
(2) 構造用パネルの品質は、構造用パネルのJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
(3) ハードボード、硬質木片セメント板、シーディングボード、石膏ボード、及びラスシートの品質はそれぞれの日本工業規格(JIS)に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
(4) パーティクルボード、MDF(ミディアム・デンシティ・ファイバーボード)の品質はそれぞれの日本工業規格(JIS)に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

乾燥 1. 木材の工事現場搬入時の含水率は下記による。
2. 針葉樹材についてはJAS区分に準じ、以下の通りとする。
□ 乾燥材 D25 ■ 乾燥材 D20 □ 乾燥材 D15
※ 特記なき場合は乾燥材D25(含水率2.5%)とする。
3. 天然乾燥材については、乾燥材D25(含水率2.5%)を目標とし、係員の承諾を得る。

指定寸法 1. 木材の寸法については、JASに準じて、材長の不足は認めない。断面寸法については下記による。

| 材の短辺及び長辺 | JASによる乾燥材 | | 未乾燥材 | | |
|-----------|-----------|--------|----------|--------------|----------|
| | 90mm以上 | 90mm未満 | 90mm以上 | 36mm以上90mm未満 | 36mm未満 |
| 表示寸法と許容誤差 | ±1.5mm | ±1.0mm | +3.0~0mm | +2.0~0mm | +1.0~0mm |

材料検査 1. 構造材については、係員の検査を受けた後施工するものとする。
2. その他の材についてはその都度係員の承諾を得るものとする。

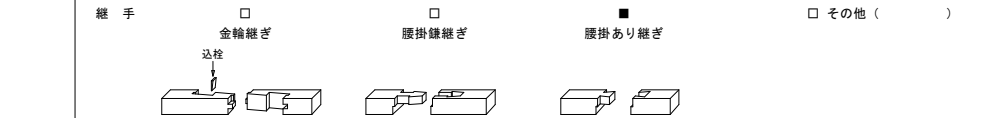
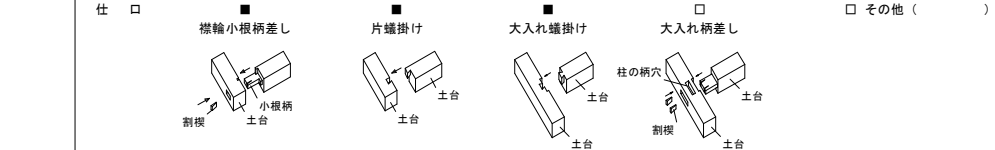
諸金物 土台と基礎や軸組相互の端部などの構造耐力上主要な部分である継手・仕口などは接合金物等を使用し効率よく繋結する。
接合金物は品質及び耐力等の性能が明らかで良質なものを選択する。(Zマーク表示金物)及びZマーク表示金物同等認定品以上とする。

防蟻、防虫処理 1. 防蟻剤は、天然防蟻防蟻剤とする。
2. 外部モルタル塗となる下地板等の面は地盤面より高さ1.0mまでと、台所、浴室等、湿気のある場所の軸組及び下地板が木質の場合も防蟻剤塗とする。

防蟻処理 部 位 土台 □ 行わない ■ 行ない ()

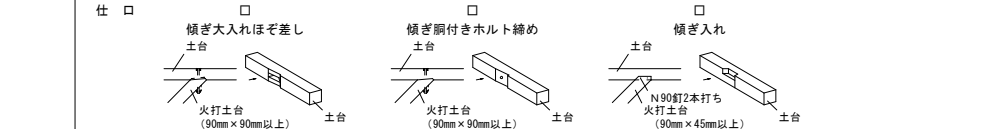
材種 ■ ひのき □ べいひのき □ たいわんひのき □ ひば □ べいひば □ こやうまき □ くり □ けやき □ からまつ □ 保存処理製材 □ 土台用加圧防蟻処理木材 □ その他 ()

工 法 1. 断面寸法は柱と同じ寸法以上とし120mm×120mmを標準とする。
ただし、多雪区域内(『建築基準法施行令第96条第2項ただし書の規定より特定行政庁が指定する区域』以下同じ)においては、10.5mm×10.5mm以上とする。
2. 継手は、柱及び床下換気孔の位置は避ける。



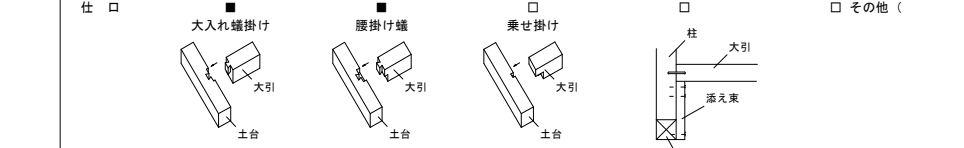
火打土台 材種 □ ひのき □ べいひのき □ たいわんひのき □ ひば □ べいひば □ からまつ □ べいまつ □ 火打金物

工 法 火打土台は次のいずれかによる。
1. 木材の火打土台とする場合は、次による。
イ. 断面寸法は45mm×90mm以上とする。
2. 鋼製火打とする場合は、特記による。
3. 火打土台を省略する場合は、下記による。
イ. 床下地板の品質は、構造用合板のJASに適合するもので種類は1類とし厚さ12mm以上、パーティクルボードのJISに適合するもので種類は13Pまたは13M以上とし厚さ15mm以上、又は構造用パネルのJASに適合するものとする。
ロ. 床下地板の張り方は、床下地板の長手方向を根太と直交させ、且つ千鳥張りとし土台及び大引に20mm以上をせて釘打ちとする。床下地板は根太等の受け材上で突付け継ぎとする。
ハ. 床下地材の釘打ちは床下地材の4周辺をN50釘を用い釘打ち間隔150mm以下で、根太、大引、土台及び受け材に平打ちして固定する。

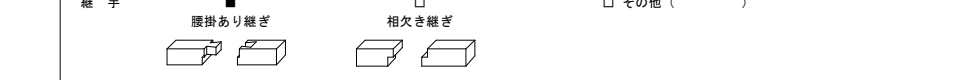


床 組 大 引 材種 ■ ひのき □ べいひのき □ たいわんひのき □ すぎ □ べいまつ □ あかまつ □ ころまつ □ からまつ □ べいつが □ その他 ()

工 法 1. 断面寸法は105mm×105mmを標準とし、他は設計図による。
2. 継手は、床束芯から150mm内外持ち出し、N75釘2本打ちとする。

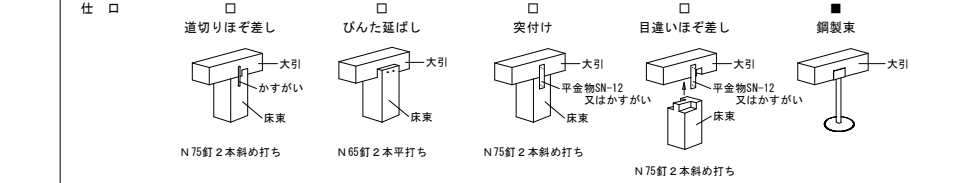


註 上記仕口はいずれもN75釘2本斜め打ちとする。



床 束 材種 □ ひのき □ べいひのき □ たいわんひのき □ すぎ □ べいまつ □ あかまつ □ ころまつ □ からまつ □ べいつが ■ 鋼製束 □ 合成樹脂製束

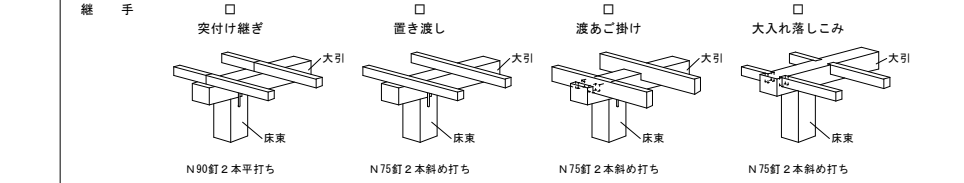
工 法 1. 断面寸法は90mm×90mmを標準とする。
2. 継手は、上部仕口は、補強金物にて繋結する。
3. 鋼製・合成樹脂製束束とする場合は、各製造所の仕様による。



註.) 根がらみ貫の樹種は杉とし、大引きと直角方向の根がらみは束ごと、大引きと平行の根がらみ感覚は2m内外とする。但し、床高1m以下の場合は大引き平行の根がらみを省略できるものとする。

根 太 材種 □ すぎ □ ひのき □ べいまつ □ あかまつ □ ころまつ □ からまつ □ べいつが □ その他 ()

工 法 1. 断面寸法は45mm×45mmを標準とする。
ただし、2階床の床束間隔が900mm内外の場合は45mm×60mm以上とし、また2階床間隔又は1階大引間隔がそれぞれ1,800mm内外の場合は45mm×105mm間隔を標準とする。
2. 根太間隔は、床束の場合は450mm内外とし、その他の場合は300mm内外とする。



根太受け金物

材種 □ すぎ □ べいまつ □ あかまつ □ ころまつ □ からまつ □ べいつが □ その他 ()

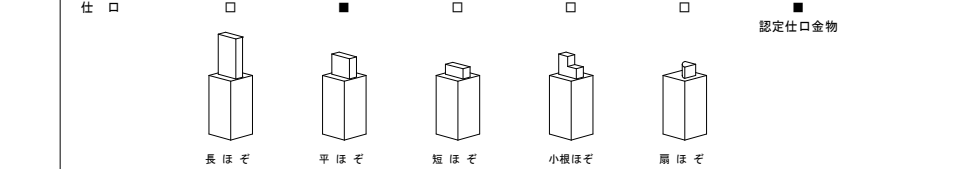
工 法 1. 断面寸法は30mm×90mmを標準とする。
2. 継手は、柱芯で突付け継ぎとし、N75釘2本を平打ちとする。
3. 留めつけは、柱、間柱ごとにN75釘2本を平打ちとする。

柱 (見えがかり) 材種 □ すぎ ■ ひのき □ べいつが □ 化粧貼構造用集成材 □ □ (見え隠れ) ■ ひのき □ べいつが □ □ □ □ □

工 法 1. 柱の断面寸法は120mm×120mmを標準とする。
2. 通し柱の断面寸法は、120mm×120mmを標準とする。
3. 横架材との仕口は、特記なき限り上下とも長柄差し込み釘打ちとする。
4. 隅柱の下部は、特記なき限り短ほぞ差しとし、かど金物(OP-L)当て釘打ちとする。
5. 筋かいの下端部が取り付け柱と横架材との仕口は柱の上下とも長ほぞ差しとし、込み釘打ちとする。
6. 隅柱と土台との仕口は特記による。ただし、筋かいの取付隅柱については別に特記する。

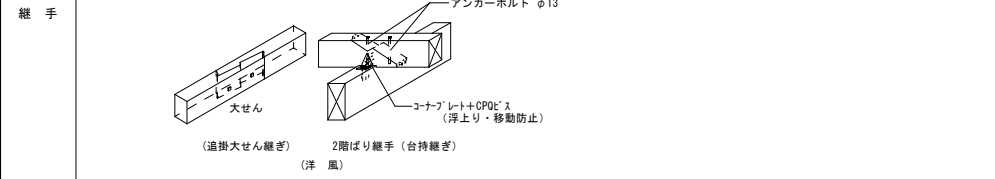
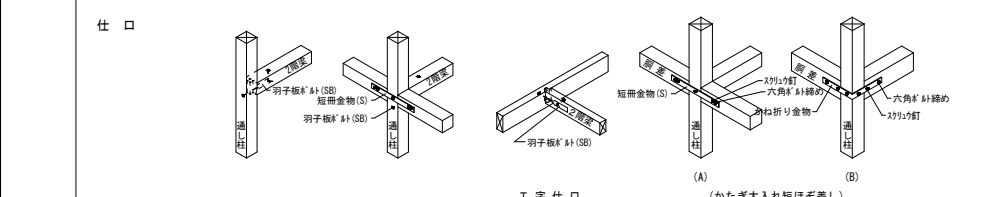
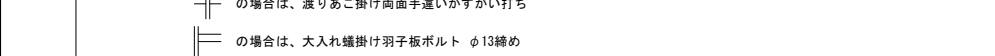
間 柱 材種 ■ すぎ □ ひのき □ べいまつ □ あかまつ □ ころまつ □ からまつ □ べいつが □ その他 ()

工 法 1. 横架材との仕口は、上部ほぞ差し下部突付けとし、下部はN75釘2本を斜め打ちとする。
2. 筋かい当りたりは、間柱を欠き、N75釘2本を平打ちする。
3. 通し貫当りたりは、添付でN65釘2本を平打ちする。



2階床梁脚差けた 材種 ■ ひのき □ べいひのき □ たいわんひのき □ あかまつ □ ころまつ □ からまつ □ べいまつ □ べいつが □ □

工 法 1. 断面寸法は、荷重の状態、スパン、梁間隔等を勘案して構造計算等により適切なもの特記する。
2. 継手は梁を受ける柱間を避け、柱より150mm内外持ち出した位置に設ける。
3. 横架材の中央部分付近の下側に耐力上支障のある欠込みをしてはならない。
4. 柱又は、横架材との仕口部分は補強金物にて繋結する。
・床梁・脚差：すべりあご掛け両面手遣いかすがいい打ち
・床梁・間仕切桁、床梁、大梁、敷束：



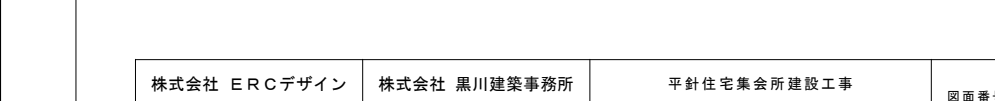
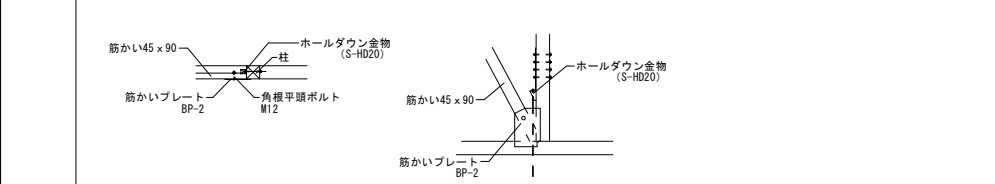
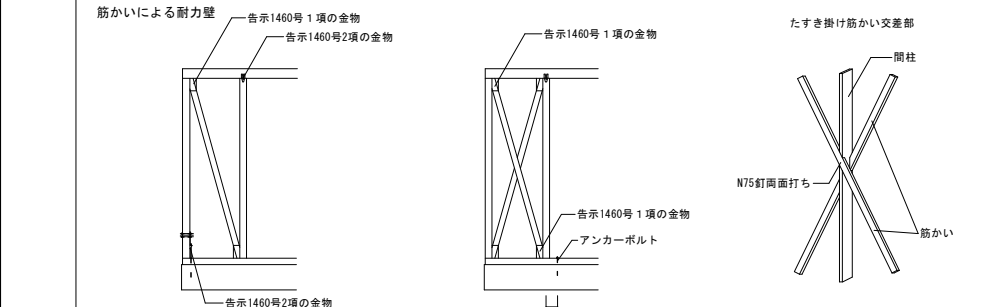
材種 ■ ひのき □ べいひのき □ たいわんひのき □ ひば □ べいひば □ からまつ □ べいまつ □ 火打金物

工 法 火打梁は次のいずれかによる。
1. 木材の火打梁とする場合は、次による。
イ. 断面寸法は90mm×90mm以上とする。
ロ. 梁・脚差・桁等との仕口は、傾ぎ大入れとし、六角ボルト閉めとする。但し、梁・脚差・桁等の上端又は下端に取付ける場合は、渡りあご又はすべりあごとし、いずれも六角ボルト締めとする。
2. 鋼製火打とする場合は、特記による。
3. 火打梁を省略する場合は、火打土台の項に準じる。

筋かい耐力壁 材種 ■ すぎ □ べいつが □ 構造用合板 7.5mm以上 □ 構造用パネルパーティクルボード 12mm以上 □ ハードボード 5mm以上 □ その他 ()

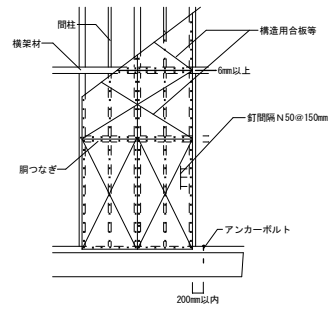
筋かいによる耐力壁 木造筋かい 1. 断面寸法は30mm×90mm以上とする。(本計画は45mm×90mmを使用)
2. 見つけやすいとし、上下端部の仕口は告示1460号に適合した方法とする。
3. 筋かいが間柱と取り合う部分は、間柱を筋かいの厚さだけ欠き通して筋かいを通す。

大壁造の耐力耐力壁 1. 耐力壁は、耐力壁の種類により筋かいの種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。
2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。
3. 構造用耐力壁は横張り又は縦張りとする場合で、やむをえず、梁、柱等以外で継ぐ場合は、断面は45mm×100mm以上とする。
4. 構造用合板については、屋外に面する壁、及び常時湿潤状態になる恐れのある壁には「特記」を使用し、「1類」は室内に使用する。
5. 1階及び2階の上下同位置に構造用耐力壁を設ける場合は、脚差部において、構造用耐力壁相互間に6mm以上のあきを設ける。

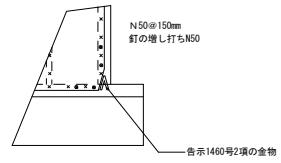


| | | | | |
|--|--|----------------|----------------------------|-----------------|
| 株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦 | 株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 No. S01 |
| | | 木工事標準仕様書 1 | 縮尺 A1 : N,S A3 : N,S | |
| 機 製 設 計 図 図 平成29年 3月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | |

大壁造の面材耐力壁



大壁造の面材耐力壁において、面材の四隅を切り欠いて山形プレートに柱と横架材に直接釘打ちする場合は、下面のように近傍に釘の増し打ちをする。



耐力壁

真壁造の面材耐力壁

1. 面材による耐力壁は、面材の種類により釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。
2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。

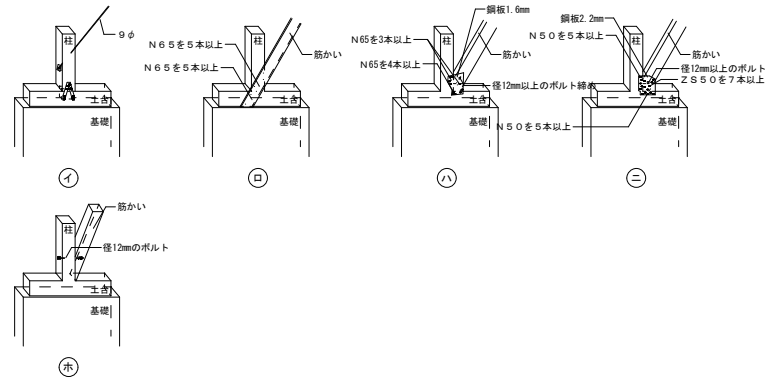
(受材タイプ)

1. 受材は30mm×40mm以上とする。
2. 受材は、柱及び梁、桁、土台、その他の横架材にN75以上の釘を30cm以下の間隔で平打ちとする。
3. 構造用面材は、受材材並びに間柱及び胴つなぎ等に留めつける。
4. 構造用面材を受材以外で継ぐ場合は、間柱又は胴つなぎ等の断面は45mm×65mm以上とする。

(貫タイプ)

1. 貫は15mm×90mm以上とする。
2. 貫は5本以上設ける。
3. 最上段の貫とその直上の横架材との間隔及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔は、おおむね30cm以下とし、その他の貫の間隔は61cm以下とする。
4. 貫を柱に差し通す場合は、両面からくさび締め又は釘打ちとする。
5. 貫の継手は、おおむね柱心で突付けとする。
6. 柱との仕口は、柱の径の1/2程度差し込みくさび締め又は釘打ちとする。
7. 構造用面材は、貫に確実に留めつける。
8. 構造用面材を継ぐ場合は、貫上で行なう。

接合金物

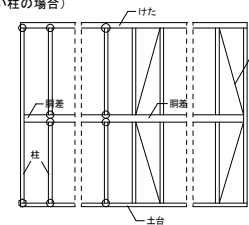


接合金物使用条件

接合金物の取付・施工は、平成12年建設省告示代1460号を順守施工する。
接合金物は、Zマーク表示金物、又はZマーク表示金物同等認定品とする。
筋かい接合金物は、建設省告示1460号対応金物の内より筋かい寸法に合わせ、納まりを考慮し最良のものを使用する。

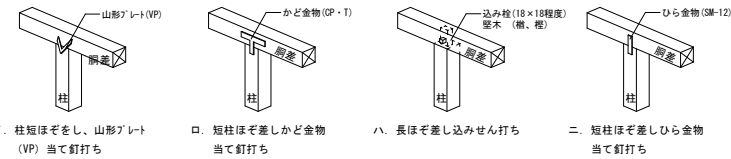
柱と横架材

仕口の分類 (筋かいが取り付かない柱の場合)

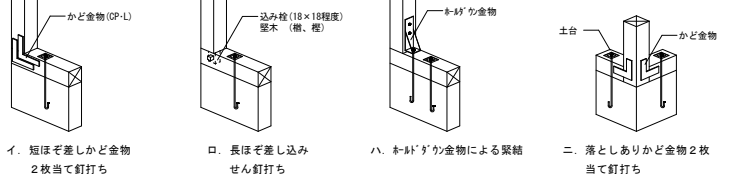


- : 筋かいの取り付かない柱と横架材の仕口位置
- : 筋かいの取り付かない隅柱と横架材の仕口位置

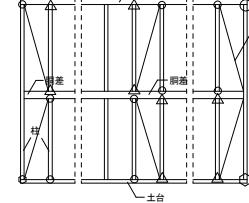
柱の端部と横架材の仕口の施工例 (筋かいの取り付く柱は除く)



隅柱と土台の仕口の施工例 (筋かいの取り付く柱は除く)



仕口の分類 (筋かいが取り付く柱の場合)

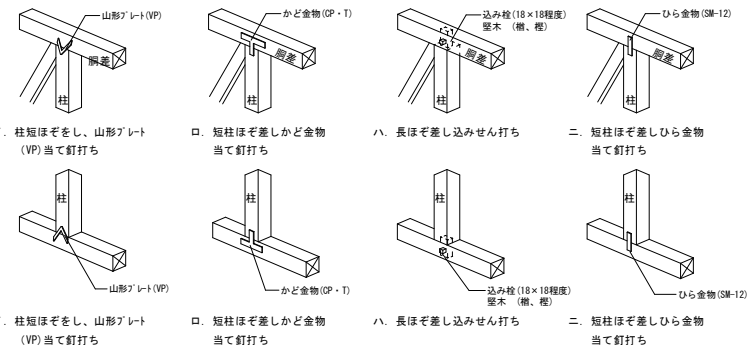


- : 筋かいの上端部が取り付く柱と横架材の仕口位置
- △ : 筋かいの下端部が取り付く柱と横架材の仕口位置
- : 筋かいの取り付く隅柱と土台の仕口位置

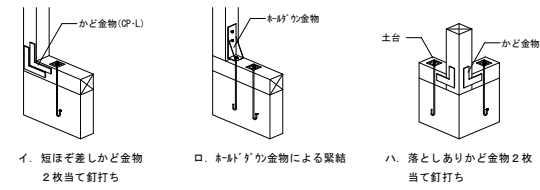
1階管柱と2階の柱の緊結

外周部の主要な隅角部の柱及び構造計算による引き抜き応力大きい2階の柱は、1階の管柱と接合金物(ホールダウン金物)で緊結する。

柱の両端部と横架材の仕口の施工例 (筋かいの取り付く柱)

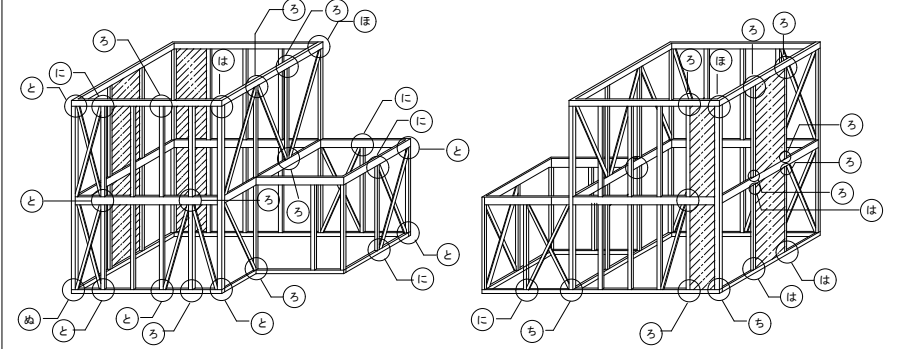


隅柱と土台の仕口の施工例 (筋かいの取り付く柱)



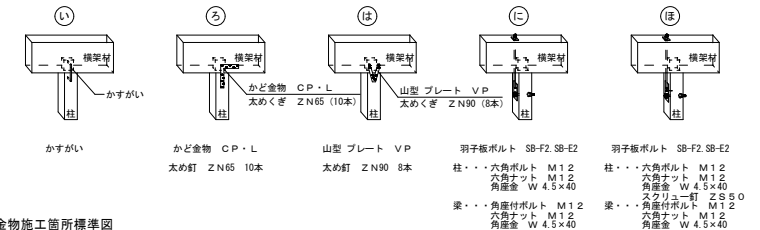
接合金物

柱頭・柱脚の仕口の接合 (告示1460号2項)

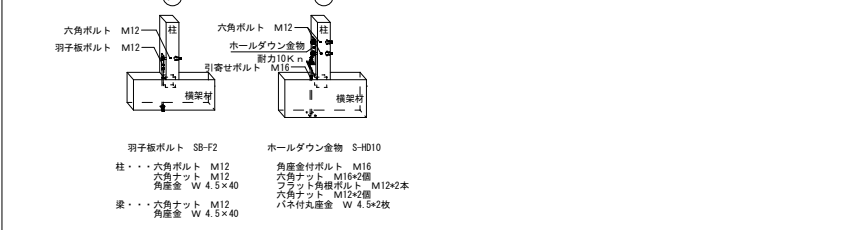


金物

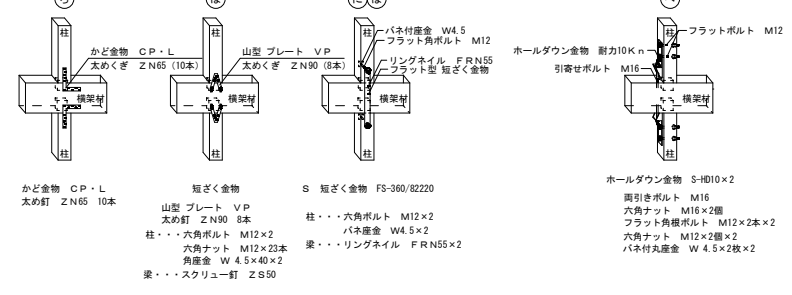
上端箇所金物施工箇所標準図



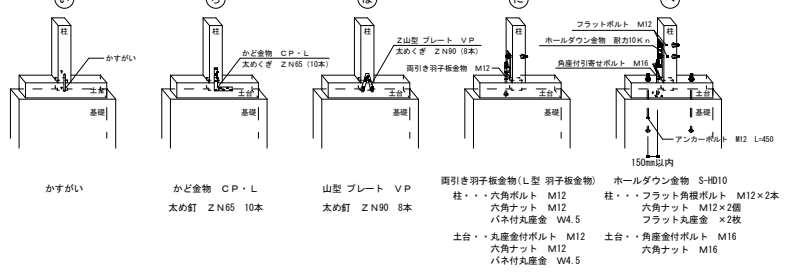
2階隅柱緊結金物施工箇所標準図



中間箇所金物施工箇所標準図

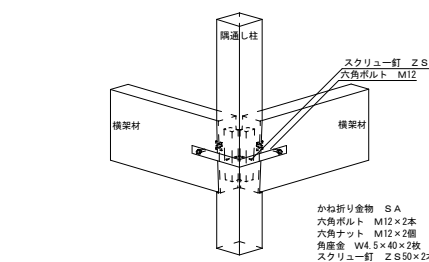


基礎・土台部分金物施工箇所標準図

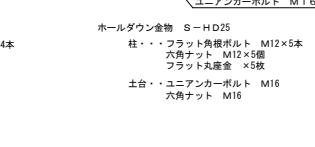
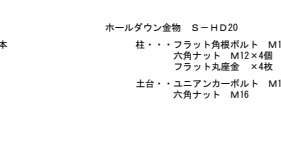
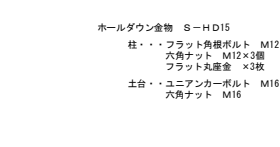
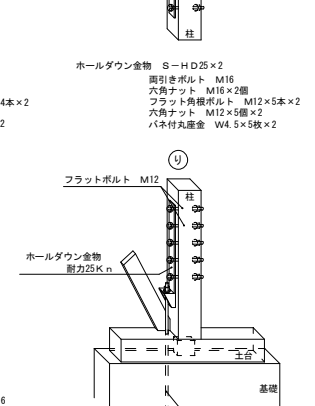
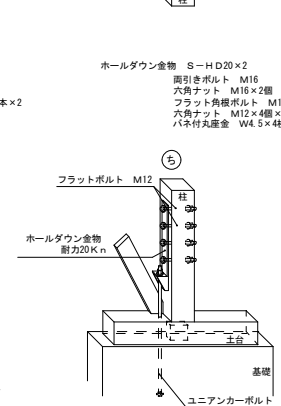
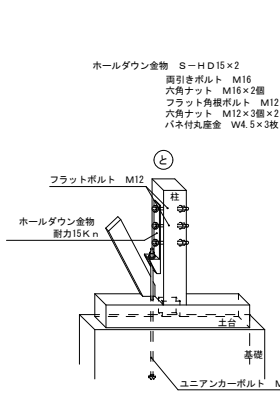
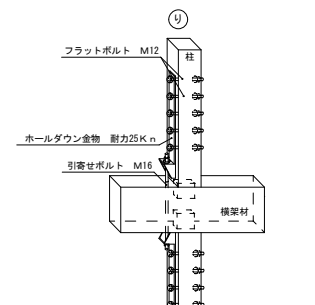
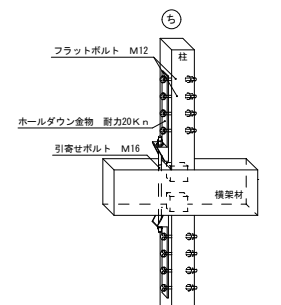
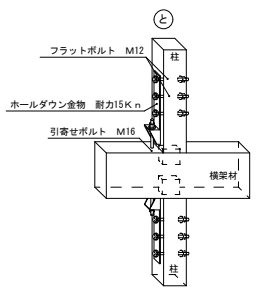
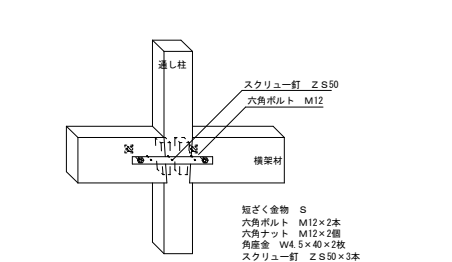


| | | | | |
|---|----------------------------------|----------------|----------------------------|---------|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦 | 木工事標準仕様書 2 | 縮尺 A1 : N.S A3 : N.S | No. S02 |
| 機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | |

2階隔通し柱・胴差緊結金物施工前標準図



通し柱・胴差緊結金物施工前標準図

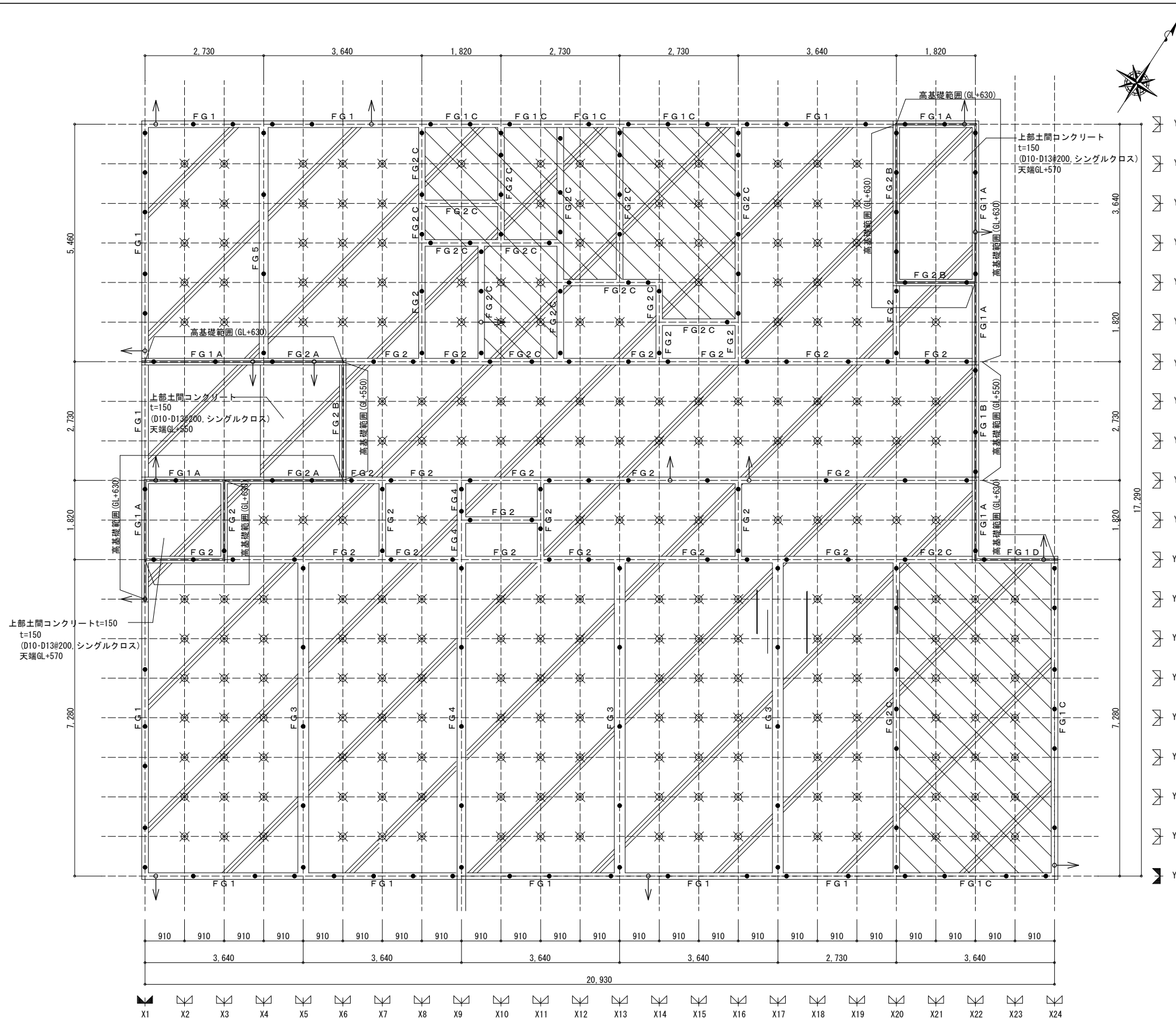


| 金物 | 種類・記号 | 接合金物 |
|---------------------------------|---|-------------------------------|
| 羽子板ボルト SB・E | 【寸法・形状】 M12 L t3.2 | ◎用途 小屋ばりや軒桁、軒桁と柱、胴差と通し柱の連結 |
| かね折り金物 SA | 【寸法・形状】 L t3.2 | ◎用途 通し柱と胴差の取合 |
| ひねり金物 ST (右ひねりのみ) | 【寸法・形状】 t1.6 90 120 150 20 | ◎用途 たるきと軒げた、または、もやとの接合 |
| ひねり金物 ST (右ひねりのみ) | ◎使用接合部 太めくぎ ZN40 | ◎使用接合部 太めくぎ ZN40 |
| 折曲げ金物 SF (右ひねり及び 左ひねり) | 【寸法・形状】 t1.6 40 20 | ◎用途 ひねり金物と同様の用途 |
| くら金物 SS | 【寸法・形状】 t1.2 18 15 100 175 | ◎用途 ひねり金物と同様の用途 |
| かど金物 CP・L CP・T | 【寸法・形状】 25 12.3 150 25 | ◎用途 引張りをつける柱と土台・横架材の接合 |
| | ◎使用接合部 太めくぎ ZN65 | ◎使用接合部 太めくぎ ZN65 |

| 小屋梁 | 材種 |
|-------------------|--|
| | はり(丸太) □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ ■ その他(ひのき) はり(その他) □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ ■ その他(ひのき) |
| | 工法 1. 末口135mm以上の丸太の継手は、受材上で台持継ぎとし、下木に太柄2本を控え込み。 2. 六角ボルト(M12)2本締めとする。受け材当りは渡りあごとし、手違いかすがい打ちとする。 3. 末口135mm以下の丸太の継手は、受け材上でやりちがしとし、六角ボルト(M12)2本締めとする。 4. 受け材当りは渡りあごとし、手違いかすがい打ちとする。 5. 軒桁又は敷桁との仕口は、かぶと継ぎ又は渡りあごとし、羽子板ボルト締めとする。 |
| 小屋束 | 材種 □ すぎ □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ □ べいつが ■ その他(ひのき) |
| | 工法 上部の仕口は長柄・下部の仕口は短柄差しとし、かど金物留めもしくはかすがい両面打ちとする。 |
| 棟木・母屋 | 材種 □ すぎ □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ □ べいつが ■ その他(ひのき) |
| | 工法 垂木当たりの欠き込みを考慮して適切な断面寸法とし、継手は束の位置を避け、持ち出し腰掛け継ぎとする。 |
| 桁行すじかい (くも筋かい) | 材種 ■ すぎ □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ □ べいつが □ その他() |
| | 工法 束に添えつけ、N50釘2本打ちとする。 振れ止めの断面寸法は真程度とする。 |
| 垂木 | 材種 ■ すぎ □ ひのき □ あかまつ □ くらまつ □ べいまつ □ からまつ □ べいつが □ その他() |
| | 工法 1. 継手は乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、釘2本打ちとする。 2. 受け材当りN75釘で両面を斜め打ちとする。ただし、垂木のせいが45mm程度の場合は、N100釘を脇天打ちとすることができる。 3. 軒先部の留め付けは、桁へひねり金物(ST)、折曲げ金物(SF)、又はくら金物(SS)を当て釘打ちとする。 4. 互棒置き屋根根の場合の垂木間隔は、互棒の留め付け幅と同一とする。 |
| 小屋組 | 継手及び仕口の参考例 小屋ばりの継手(台持継ぎ) 小屋ばりと軒げたとの仕口(渡りあご) |
| | |
| | (注) 羽子板ボルトについては、施工性を考えて、軒げたとはり、軒げたと柱を一定間隔ごとに交互に緊結する。 |
| 垂木 | たる木とひねり金物の施工例 |

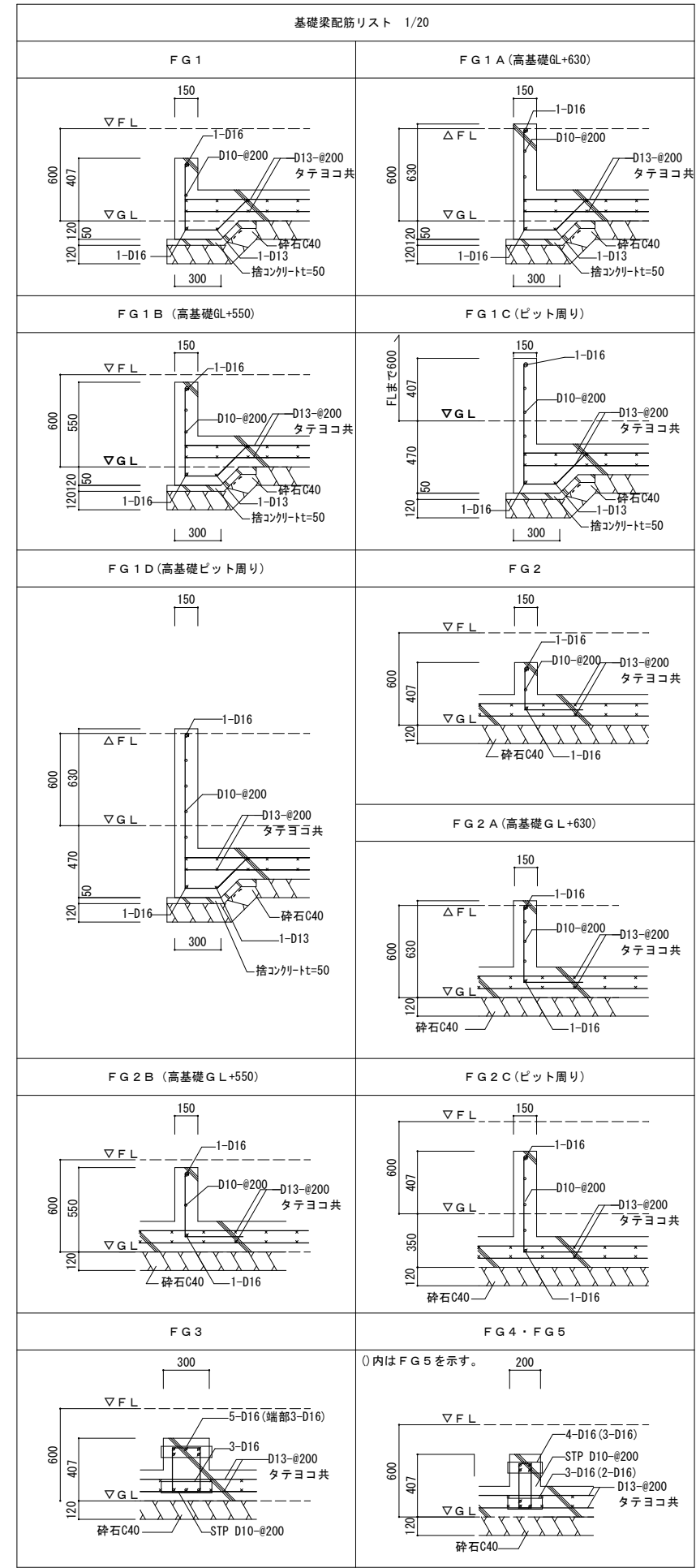
| 金物 | 種類・記号 | 接合金物 |
|---------------|--|--|
| 火打金物 HB | 【寸法・形状】 ◎使用接合具 平くぎZF55 小型角座金W2.3×30 六角ボルトM12 六角ナットM12 角座金W4.5×40 | ◎用途 床組及び小屋組の隅角部の補強 |
| ひら金物 SM-12 | 【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65 | ◎用途 かすがいと同様の用途 |
| ひら金物 SM-40 | 【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65 | ◎用途 管柱の連結等 |
| 筋かいプレート BP | 【寸法・形状】 ◎使用接合具 角根平頭ボルトM12 小型角座金W2.3×30 六角ナットM12 太めくぎZN65 | ◎用途 筋かいを柱と横架材に同時に接合 角根平頭ボルトM12 |

| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | 図面番号 |
|---|----------------------------------|----------------|-------------------------------------|
| 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田克彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦 | 木工事標準仕様書 3 | 縮尺 A1: N.S A3: N.S No. S03 |
| 製 図 | 設計 平成29年3月 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |

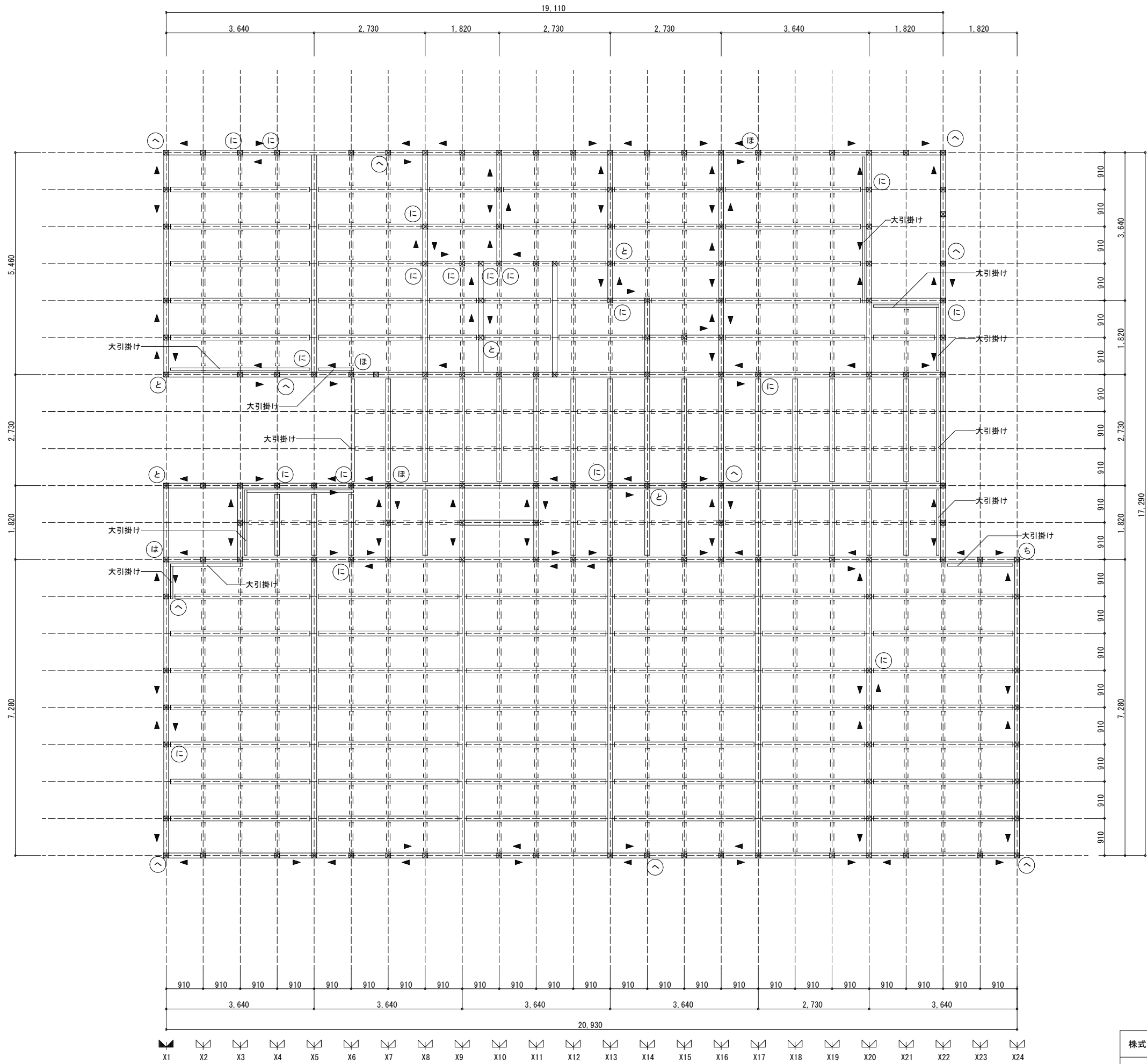


| 凡例 | |
|----|--|
| | べた基礎コンクリート FS1 t=200 D13@200 ³ ・30(ダブル) 天端: GL+200(特記なき限り) |
| | ピット範囲 べた基礎天端: GL-150 |
| | A-BOLT M12 L=450 @2000以内 角座金 4.5×40×40 特記なき限り、柱芯より200ずらしとし、アンボルトの出は、ねじ3山以上とする 土台上部端部(オス)側にアンカーを設けること |
| | A-BOLT A90 M16 ネルが金物及び基礎に緊結 特記なき限り、柱芯より120ずらしとする |
| | 束(鋼製) |

| 基礎伏図 | |
|-----------|--|
| 使用材料 | |
| 1. コンクリート | 躯体 Fc= 24N/mm ² 土間 Fc= 18N/mm ² 捨てコン Fc= 18N/mm ² |
| 2. 鉄筋 | D16以下 SD295A 重ね継ぎ手 |
| 3. 地耐力 | 20kN/m ² 平板載荷試験実施。位置は建物中央(1ヶ所)とし、詳細は監督職員指示による。 |
| 4. 砕石 | 基礎、基礎梁下 C-40 土間下 RC-40 |
| 水セメント比 | 50%以下 スランプ 18cm以下 |
| 単位水量 | 185kg/m ³ 以下 |
| 単位セメント量 | 270kg/m ³ 以上 |
| 空気量 | 4~6% |



| | | | |
|--|----------------------------------|----------------|---|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善彦彦 | 基礎伏図 | 縮尺 A1: 1/20, 1/50 A3: 1/40, 1/100 |
| 機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | No. S04 |



| 凡 例 | |
|-----|---------------------------------------|
| | 管 柱 (檜 KD) 120×120 JAS構造用製材 |
| | 土 台 (檜 KD) 120×120 (防蟻処理) JAS構造用製材 |
| | 大引 105×105 @910 (檜 KD) JAS構造用製材 |
| | 大引掛 60×105 (檜 KD) JAS構造用製材 |
| | 90×90 (檜 1等) JAS構造用製材 |
| | 床下地 構造用合板 t=28 N50@150以内 |
| | 間柱 (杉 1等) 45×120 設置位置は平面詳細図参照 |
| | 筋かい 45×90 (杉 1等) 筋かいプレートBP同等取付 |
| | 山形プレート (同等品) |
| | 羽子板ボルトまたは短冊金物 (同等品) |
| | 羽子板ボルト+スクリーナ釘 (同等品) |
| | ホールド金物 S-HD10 (同等品) 基礎緊結 1-M 16 |
| | ホールド金物 S-HD15 (同等品) 基礎緊結 1-M 16 |
| | ホールド金物 S-HD20 (同等品) 基礎緊結 1-M 16 |

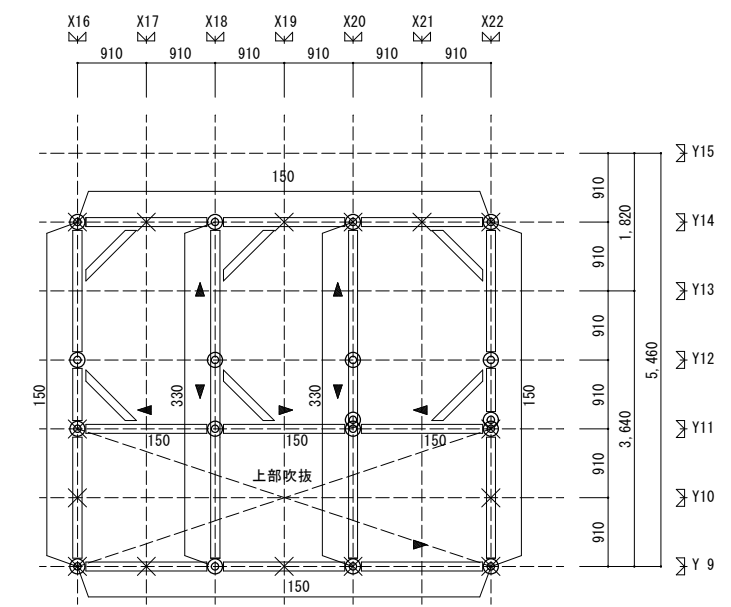
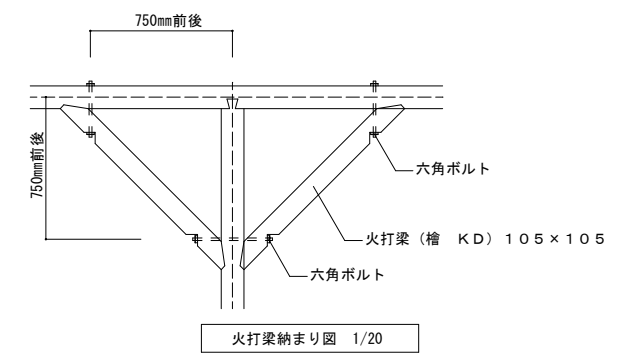
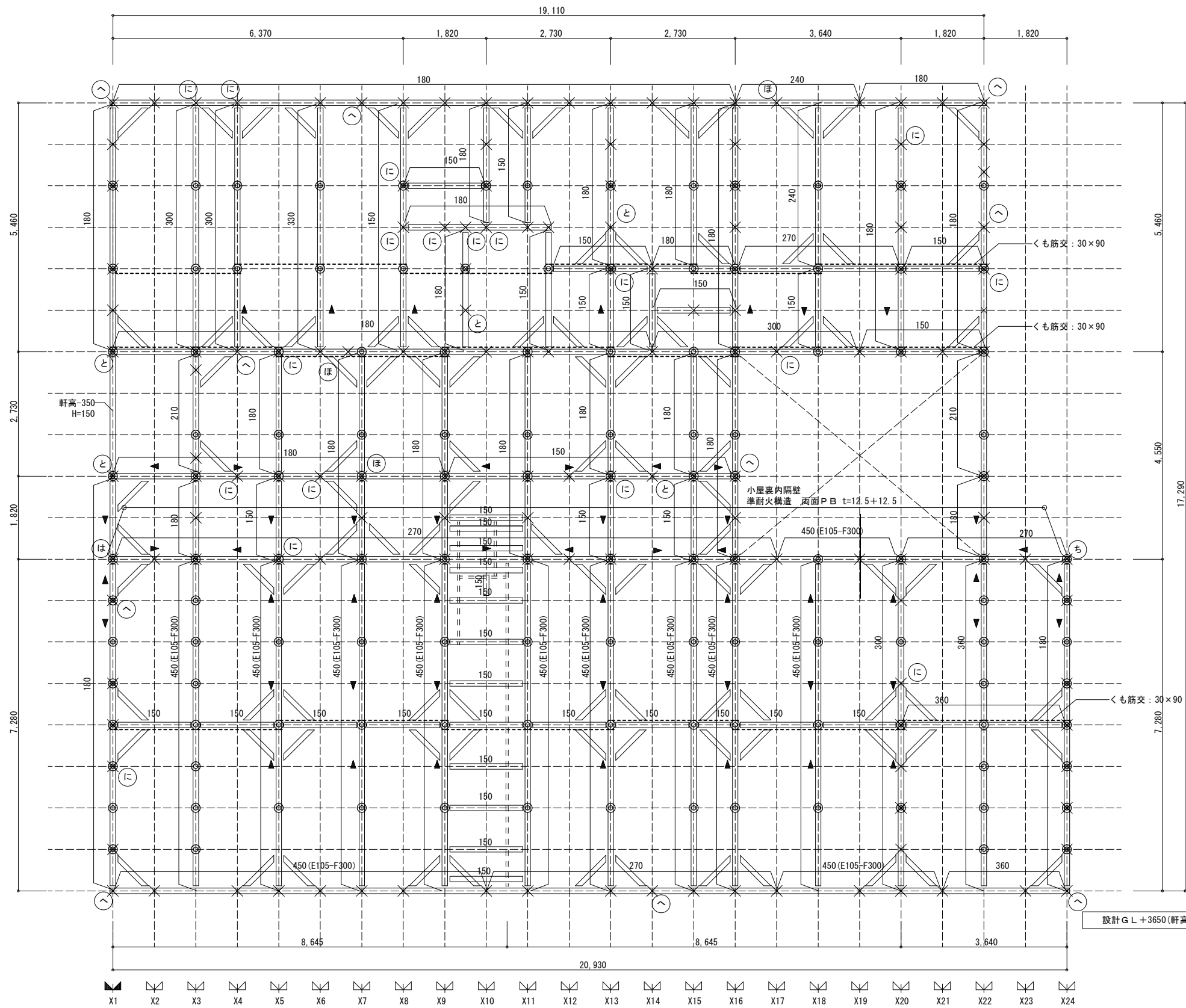
・特記なき柱仕口部はかど金物 (T型) 同等金物
 ・筋かい (小屋共) は筋かいプレートBP同等又は
 ボルト締めM12 (見掛部は垂鉛ひき) とする

地面から高さが1m以内の外壁の軸組及び土台は
 防蟻・防蟻処理を施すこと。
 床下換気は、土台ハッチ20による。
 敷き込み間隔は、@900以内とする。

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18 X19 X20 X21 X22 X23 X24

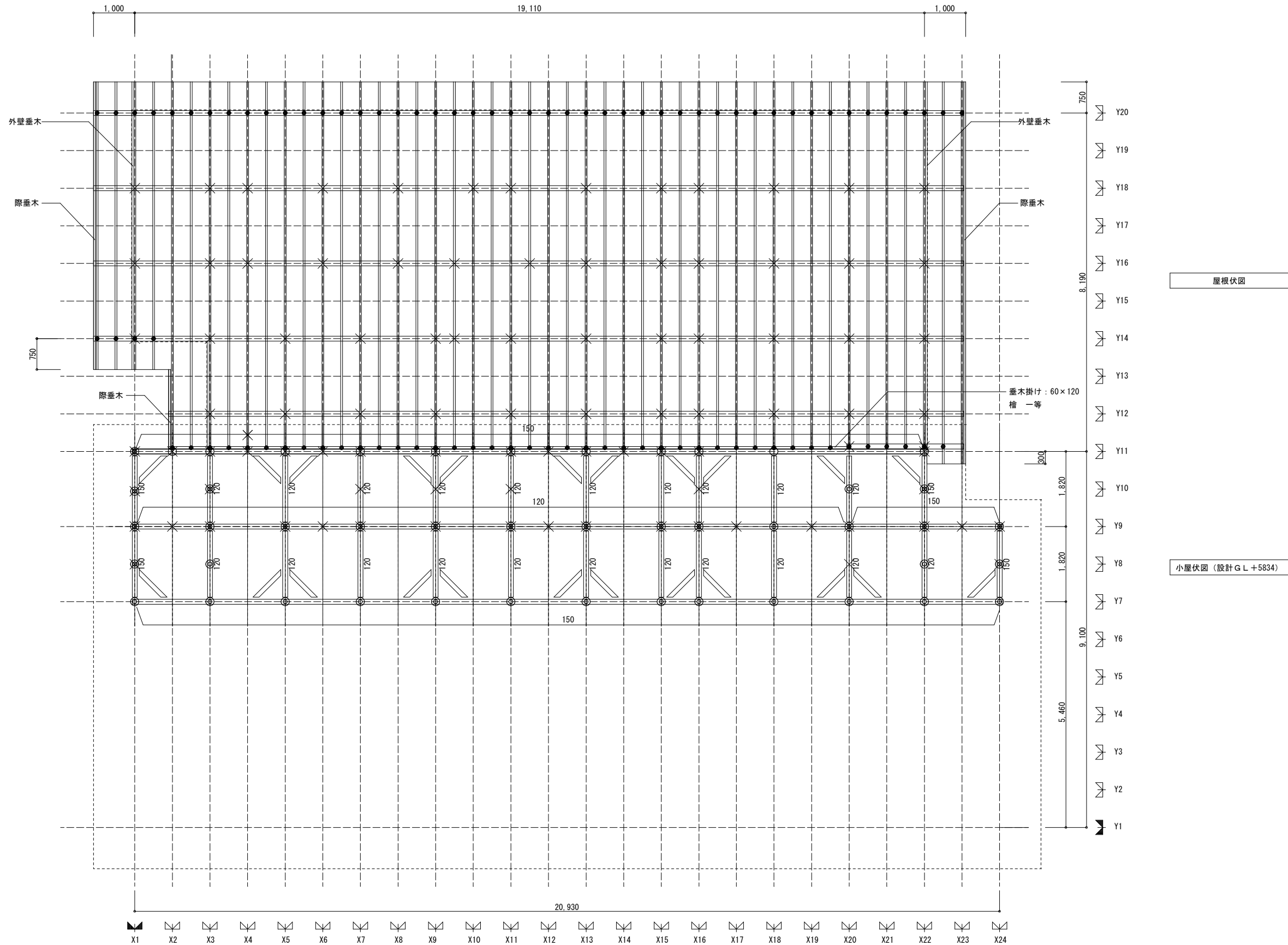
土台伏図

| | | | |
|---|----------------------------------|----------------|--|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 土台伏図 | 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 No. S05 |
| 機 製 設 計 図 図 図 平成29年 3月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |



| 凡例 | |
|--|---|
| 150 | 梁、桁 (檜 KD) 梁幅 120 JAS構造用製材 構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す |
| ⊙ | 束 (檜 KD) 120×120 |
| × | 下階柱を示す |
| ▽ | 火打梁 (檜 KD) 105×105 |
| ---- | くも筋交 (杉 1等) 30×90 |
| は | かど金物 CP-T (同等品) |
| に | 羽子板ボルトまたは短冊金物 (同等品) |
| ほ | 羽子板ボルト+スクリュー釘 (同等品) |
| へ | ホ-ル'の金物 S-HD10 (同等品) 基礎緊結 1-M16 |
| と | ホ-ル'の金物 S-HD15 (同等品) 基礎緊結 1-M16 |
| ち | ホ-ル'の金物 S-HD20 (同等品) 基礎緊結 1-M16 |
| (上側) (下側) | 方づえ 45×90 (杉 1等) 仕口金物はBP同等品以上とする |
| ・特記なき柱仕口部はかど金物 (T型) 同等金物 ・筋かい (小屋共) は筋かいプレートBP同等又は ボルト締めM12 (見掛部は垂鉛ワキ) とする | |

| | | | |
|---|----------------------------------|-------------|--|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 小屋伏図 | 縮尺 A1 : 1/20, 1/50 A3 : 1/40, 1/100 No. S06 |
| 機 | 製 | 設計 | 愛知県建設部建築局公営住宅課 |
| 図 | 図 | 平成29年 3月 | |

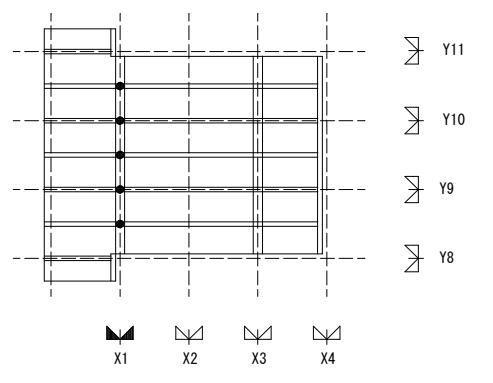
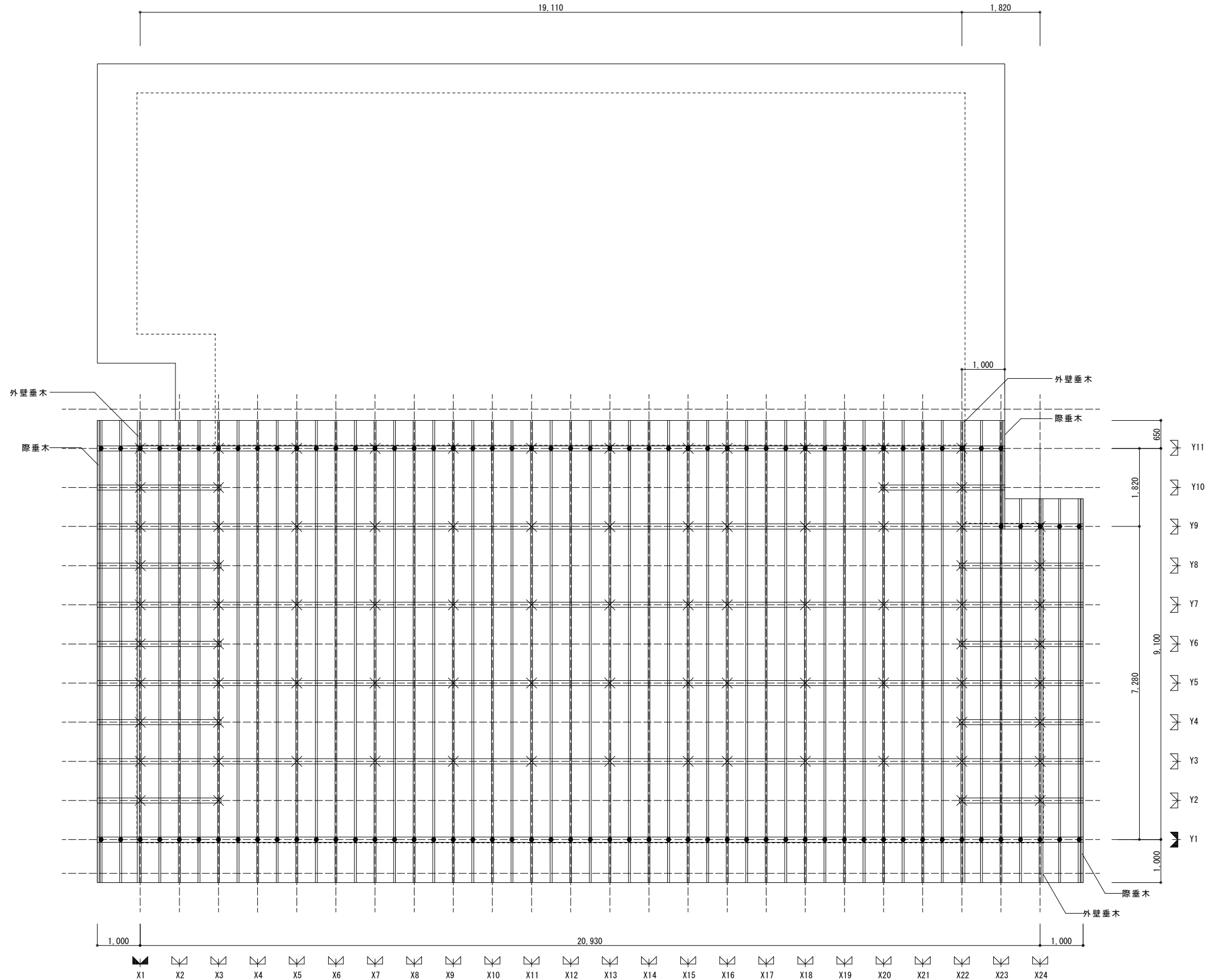


屋根伏図

小屋伏図 (設計 G.L.+5834)

| 凡 例 | |
|-----|--|
| | 母屋 (檜 KD) 特記なき限り 120×120 @1.820 一部@910 JAS構造用製材 |
| | 垂木 (杉 特1等) 45×120@455 |
| | クラ金物 (SS) によるタル木固定 を示し、表示のないタル木は、 ひねり金物 (ST) 固定とする。 |
| | 下階束を示す 小屋束 (檜 KD) 120×120 |
| | 梁、桁 (檜 KD) 梁幅120 JAS構造用製材 構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す |
| | 束 (檜 KD) 120×120 |
| | 下階柱を示す |
| | 火打梁 (檜 KD) 105×105 |

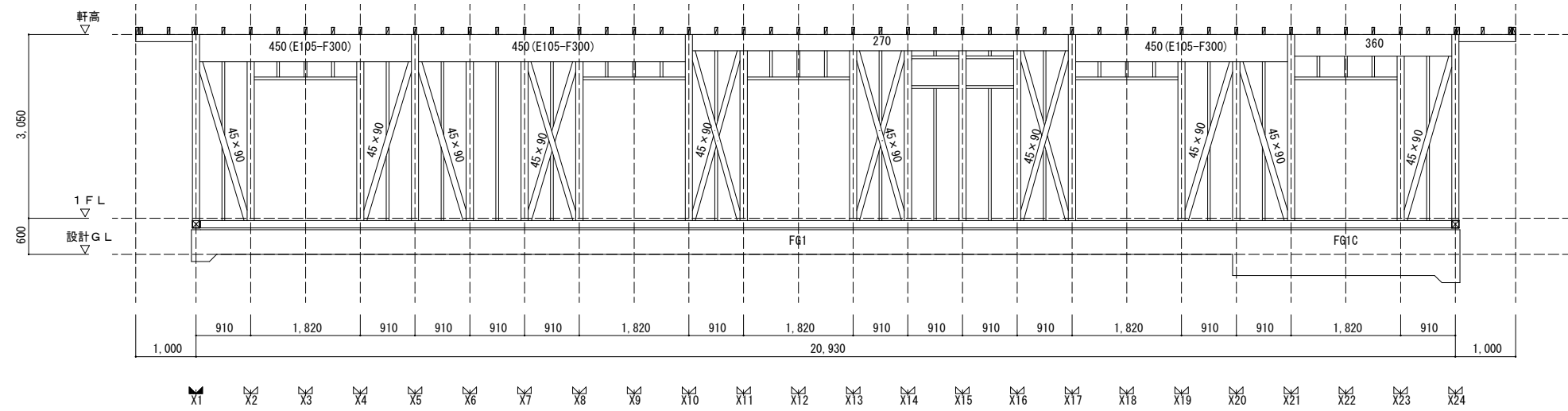
| | | | |
|--|--|--|-----------------|
| 株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦 | 株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦 | 平針住宅集会所建設工事 屋根伏図, 小屋伏図 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 | 図面番号 No. S07 |
| 検 査 製 図 設 計 平成29年 3月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |



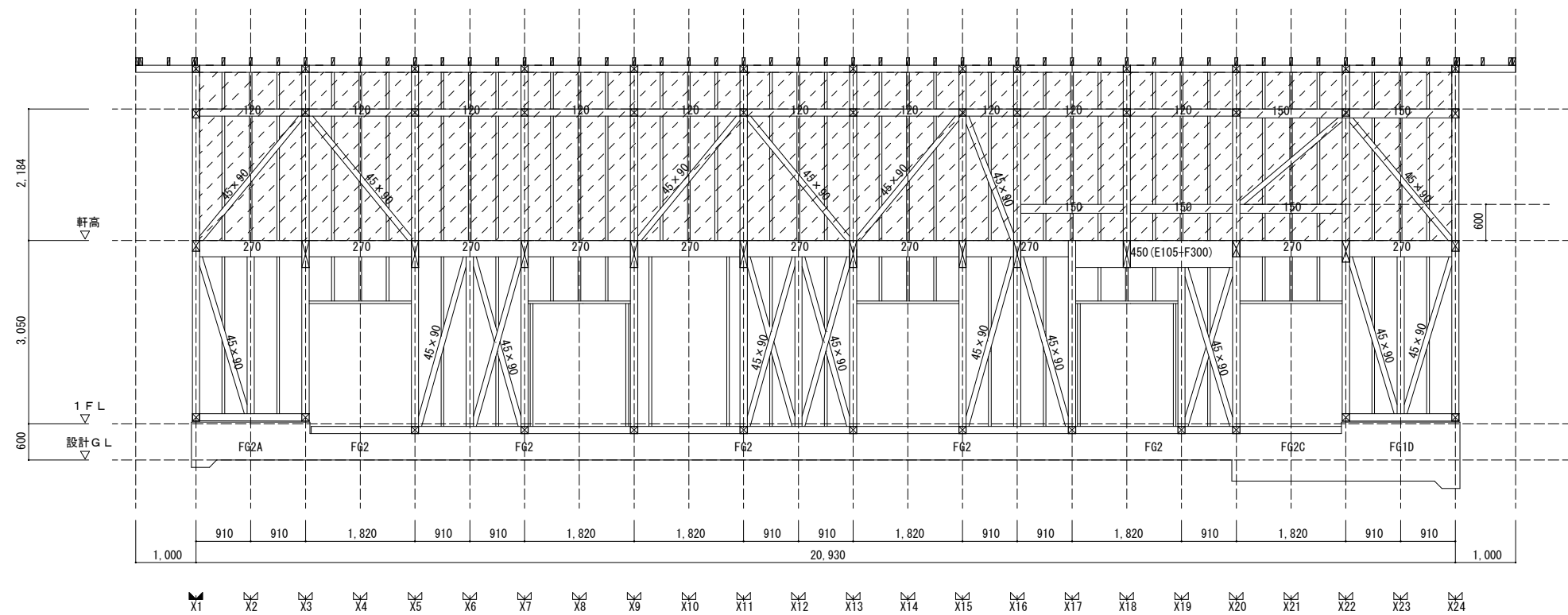
| 凡 例 | |
|-----|--|
| | 母屋 (檜 KD) 特記なき限り 120×120 @1,820 一部@910 JAS構造用製材 |
| | 垂木 (杉 特1等) 45×120@455 |
| | クラ金物 (SS) によるタル木固定を示し、表示のないタル木は、ひねり金物 (ST) 固定とする。 |
| | 下階束を示す 小屋束 (檜 KD) 120×120 |

屋根伏図

| | | | |
|--|--|--|-----------------|
| 株式会社 ERCデザイン 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田克彦 | 株式会社 黒川建築事務所 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 善洋彦 | 平針住宅集会所建設工事 屋根伏図 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 | 図面番号 No. S08 |
| 検 査 製 図 図 設計 平成29年 3月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | |



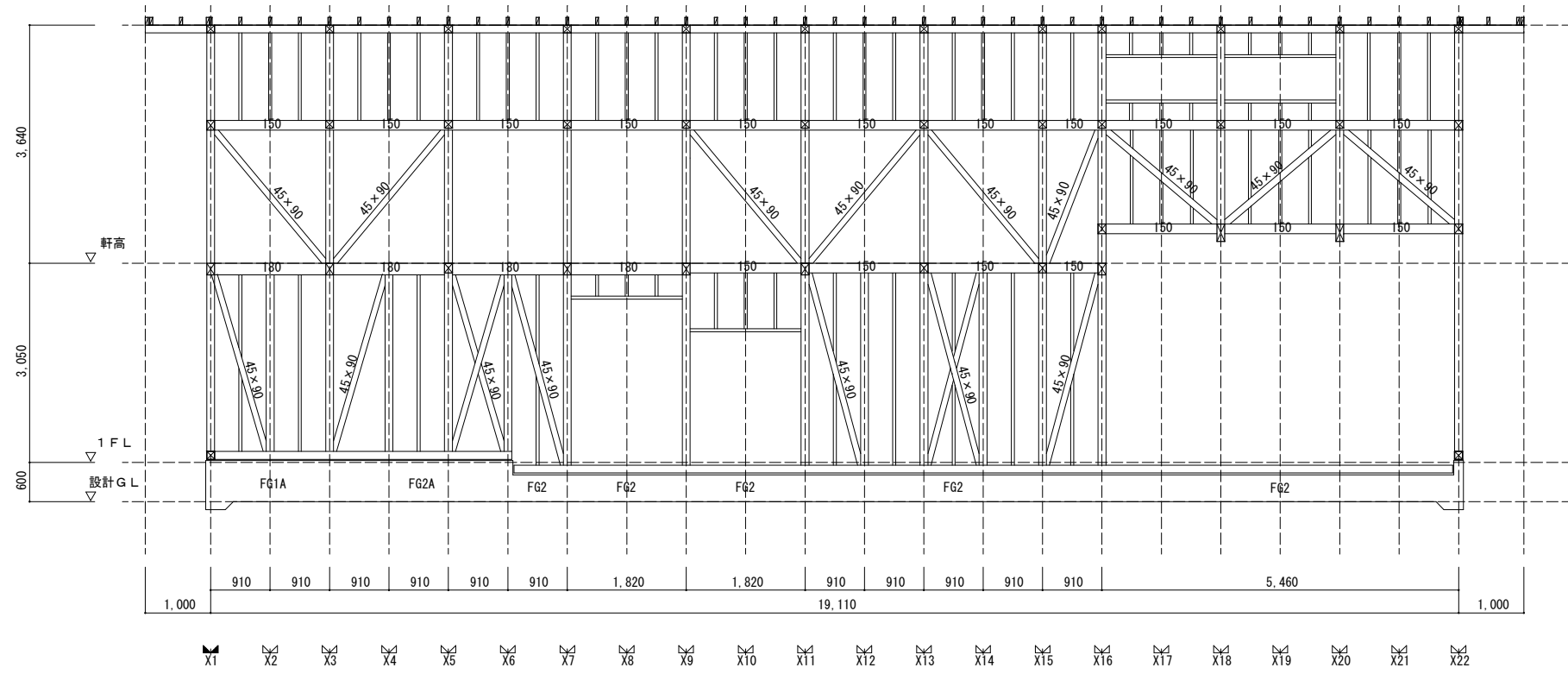
Y1通り



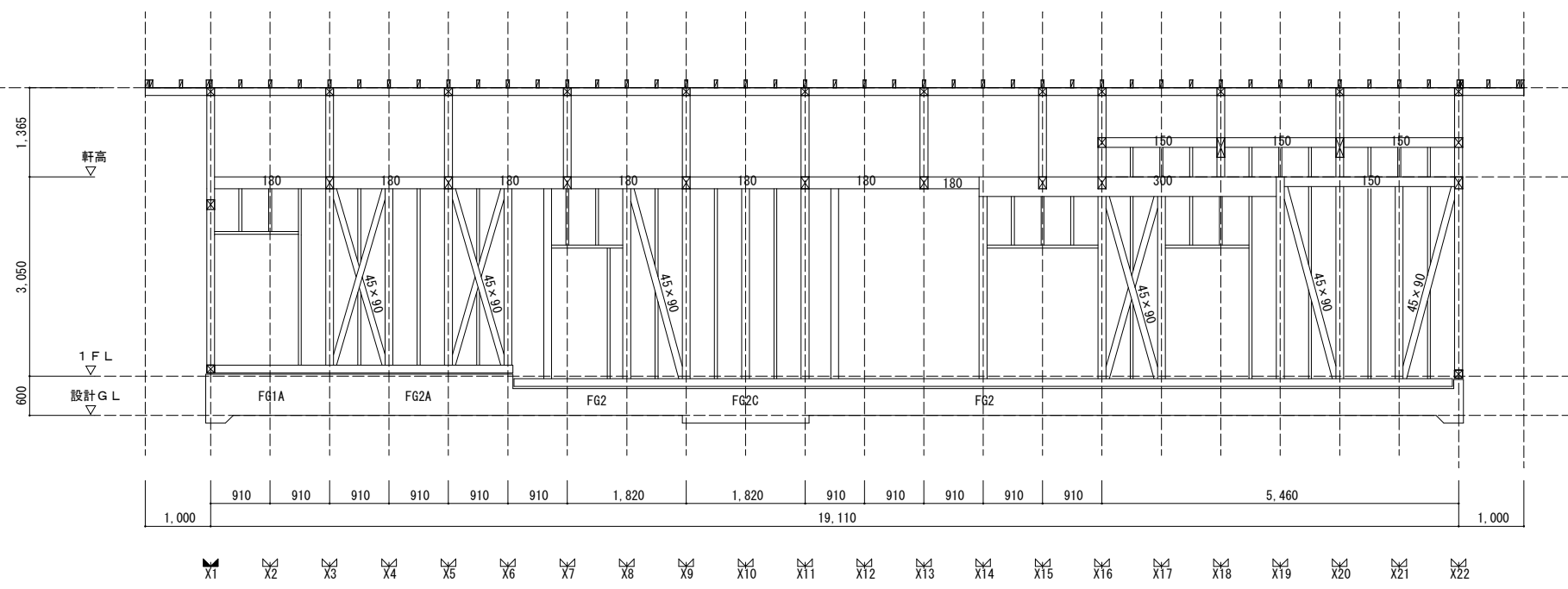
Y9通り

| 凡 例 | |
|-----|--|
| 150 | 梁、桁 (檜 KD) 梁幅120 JAS構造用製材 構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す |
| | 間柱 (杉 1等) 45 x 120 |
| | 筋かい 45 x 90 (杉1等) 筋かいプレートBP同等取付 |
| | 方づえ (杉 1等) 45 x 90 |
| | タル木 45 x 120 @ 455 (杉1等) 棟・軒先部は、クラ金物 (SS) による固定、 上記以外は、ひねり金物 (ST) 固定とする |
| | 準耐火構造 両面P B t=12.5+12.5 |
| | ・特記なき柱及び小屋束の仕口部は、 かど金物 (T型) 同等金物とする。 ・筋かい (小屋束) は筋かいプレートBP同等又は ボルト締めM12 (見掛部は垂鉛丸) とする |

| | | | | |
|--|----------------------------------|----------------|-------------------------------|---------|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田寛彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 軸組図 (1) | 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 | No. S09 |
| 機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | |



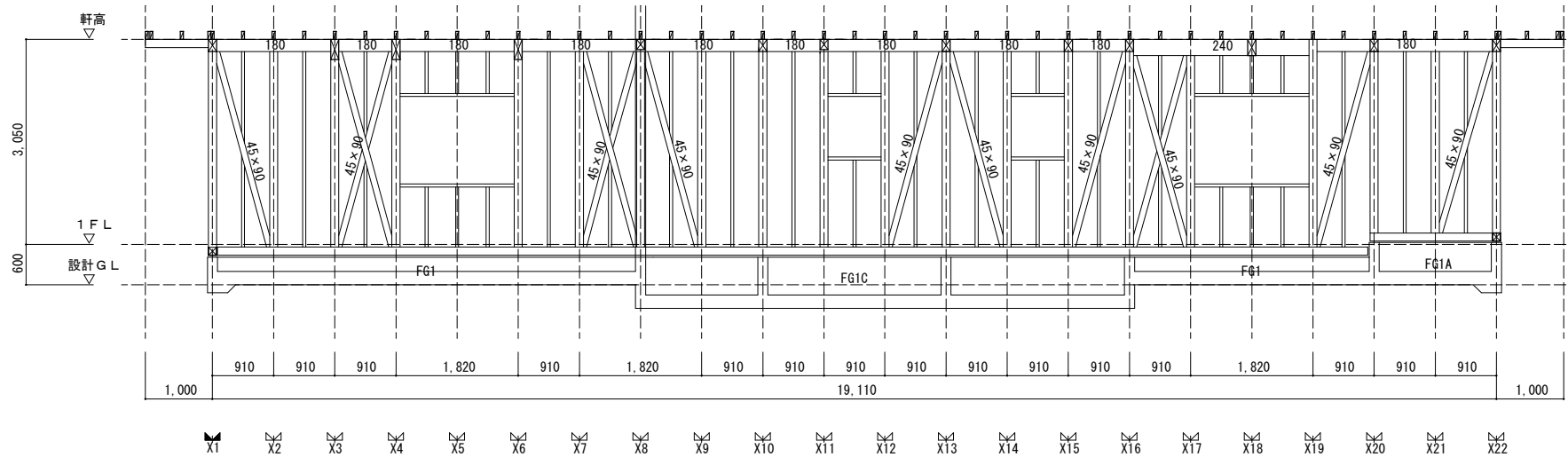
Y11通り



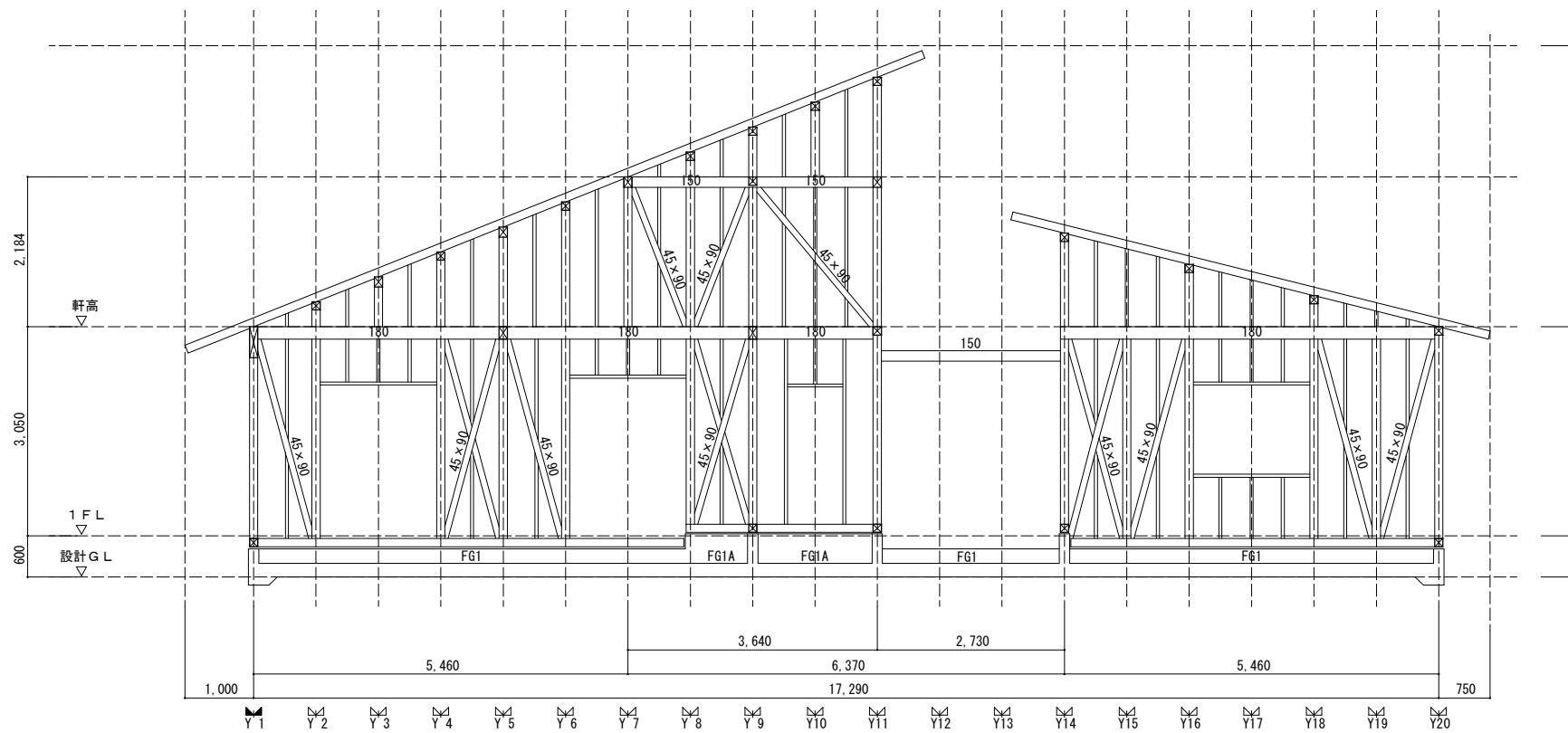
Y14通り

| 凡 例 | |
|-----|---|
| 150 | 梁、桁 (檜 KD) 梁幅120 JAS構造用製材 構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す |
| | 間柱 (杉 1等) 45×120 |
| | 筋かい 45×90 (杉1等) 筋かいプレートBP同等取付 |
| | 方づえ (杉 1等) 45×90 |
| | タル木 45×120@455 (杉1等) 棟・軒先部は、クラ金物 (SS) による固定、 上記以外は、ひねり金物 (ST) 固定とする |
| | ・特記なき柱及び小屋束の仕口部は、 かど金物 (T型) 同等金物とする。 ・筋かい (小屋共) は筋かいプレートBP同等又は ボルト締めM12 (見掛部は垂鉛) とする |

| | | | | |
|--|----------------------------------|----------------|-------------------------------|---------|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 軸組図 (2) | 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 | No. S10 |
| 機 製 設 計 図 図 平 成 29 年 3 月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | |



Y20通り



X1通り

| 凡 例 | |
|---|--|
| 150 | 梁、桁 (檜 KD) 梁幅120 JAS構造用製材 構造用集成材 (E105-F300) 仕上用 ※数字は梁せいを示す |
| | 間柱 (杉 1等) 45×120 |
| | 筋かい 45×90 (杉1等) 筋かいプレートBP同等取付 |
| | 方づえ (杉 1等) 45×90 |
| | タル木 45×120@455 (杉1等) 棟・軒先部は、クラ金物 (SS) による固定 上記以外は、ひねり金物 (ST) 固定とする |
| <ul style="list-style-type: none"> ・特記なき柱及び小屋束の仕口部は、かど金物 (T型) 同等金物とする。 ・筋かい (小屋共) は筋かいプレートBP同等又はボルト締めM12 (見掛部は垂鉛ノリ) とする | |

| | | | | |
|---|----------------------------------|----------------|-------------------------------|---------|
| 株式会社 ERCデザイン | 株式会社 黒川建築事務所 | 平針住宅集会所建設工事 | | 図面番号 |
| 一級建築士 登録第25638号 構造設計一級建築士登録番号 第3660号 代表取締役 池田寛彦 | 一級建築士 登録第100527号 代表取締役 黒川 喜洋彦 | 軸組図 (3) | 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 | No. S11 |
| 機 製 設 計 図 図 平成29年 3月 | | 愛知県建設部建築局公営住宅課 | | |